

8 月 2 9 日 ( 第 2 号 )

# 平成28年第4回豊能町議会定例会会議録目次

平成28年8月29日（第2号）

出席議員	.....	1
議事日程	.....	2
開議の宣告	.....	3
( 一般質問 )		
無所属の会	福岡邦彬	..... 3
イノベーションとよの	永並啓	..... 16
	橋本謙司	..... 44
緑豊クラブ	竹谷勝	..... 59
	西岡義克	..... 70
豊能第一クラブ	川上勲	..... 81
散会の宣告	.....	91

## 平成28年第4回豊能町議会定例会会議録（第2号）

年 月 日 平成28年8月29日（月）

場 所 豊 能 町 役 場 議 場

出席議員 13名

1 番 野村 剛志	2 番 管野英美子
3 番 永谷 幸弘	4 番 橋本 謙司
5 番 井川 佳子	6 番 高橋 充徳
	8 番 小寺 正人
9 番 永並 啓	10 番 竹谷 勝
11 番 福岡 邦彬	12 番 高尾 靖子
13 番 西岡 義克	14 番 川上 勲

欠席議員 1名

地方自治法第121条の規定により、議会に出席を求めた者は、次のとおりである。

町 長 田中 龍一	教 育 長 石塚 謙二
総 務 部 長 内田 敬	生活福祉部長 木田 正裕
建設環境部長 南 正好	上下水道部長 高 秀雄
教 育 次 長 板倉 忠	会 計 管 理 者 今中 泰行

本会議に職務のため出席した者は、次のとおりである。

議会事務局長 東浦 進	書 記 吉澤 亘
書 記 増田 稔	

議事日程

平成28年8月29日（月）午前9時30分開議

日程第 1 一般質問

開議 午前9時30分

○副議長（高橋充徳君）

おはようございます。

お諮りをいたします。

報道関係者から撮影の申し出がございます。一般質問部分まで発言について許可したいと思いますけれども、御異議ございませんか。

（「異議あり」の声あり）

○副議長（高橋充徳君）

今、異議ありとの言葉がございました。

どこまで許せばいいでしょうか。

（発言する者あり）

○副議長（高橋充徳君）

わかりました。

ただいま、議員のほうから提案がありました、冒頭のみ撮影の許可を許すということでございます。それに異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○副議長（高橋充徳君）

異議なしと認めます。

それでは、暫時休憩をいたします。

（午前9時31分 休憩）

（午前9時31分 再開）

○副議長（高橋充徳君）

ただいまの出席議員は13名であります。定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりでございます。

暫時休憩をいたします。

（午前9時32分 休憩）

（午前9時33分 再開）

○副議長（高橋充徳君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第1「一般質問」を行います。

順次発言を許します。

質問者は質問者席に登壇して、質問を行ってください。

無所属の会の一般質問を行います。

持ち時間は、質問及び答弁を合わせて50分とします。

福岡邦彬議員を指名いたします。

福岡邦彬議員。

○11番（福岡邦彬君）

無所属の会、福岡邦彬、一般質問を行います。

はじめに、少し、このダイオキシン問題についてのこれまでの議会の取り組んできたことなどを交えて、失われた豊能町の評判に対する、豊能町はいいところですよというような形を前文として発言し、順次一般質問に入っていきたいと考えております。

現在の町長は議会のことをどのように考えているか、4年経過しても私にはわかりません。しかしながら、今般のダイオキシンの処理をめぐっての現状を見ると、情けない気持ちで豊能町の住民は日々過ごしています。議会も反省しております。議会ができる役割が首長に比べてはるかに低いからであります。少なくとも民主主義の弊害を感じる毎日でございます。1人の首長が常識外れなことをしたら民主主義は高くつくという意味でございます。

私が議員になって12年の時が過ぎますが、豊能町議会は絶え間なく努力してきたと思います。議員定数20人を現在14人にしております。さらに議員報酬等の委員会もつくり、さらにさらなる努力をするかというような命題も抱えながら、今、委員会も立ち上げております。議会に出席するたんびに手当2,500円が出ていましたが、それも全廃しました。議員のお茶代も各議員で負担するようになりました。議員年金の、世間で大きく話題になったときにも、私ども豊能町議会は全国に先駆けて廃止に

向けての決議を行いました。報酬も5から10%カットの幅はありますが、今でも続いております。この10月に5%カットが切れますが、これも1年間、議員の任期中継続する考えが先週、全員協議会で議題となり、その方向でいくというような方向性も決まっております。さらに、議会の見える化という提案に対して、これまでの議会の音声だけだったのに対して、議会放映も実施してまいりました。このため、町当局から、見込みより予算が大きいという形で、議長交際費も大幅に削減しました。そのほか、議長公用車の廃止等、絶え間ない議会改革に取り組んでまいりました。しかし、今回のダイオキシンの処理をめぐって議会の無力を議員全員が感じていると思っておりますが、これでは豊能町の失った損失を取り返すのは到底かなわないことを議員全員が感じていることと考えます。しかし、失われた豊能町の再生に向かって、これから豊能町のために全力で、ダイオキシンの処理をはじめとする諸課題に向かって議員一致団結して取り組みたいと思っております。御理解をお願いいたします。

今、ことしの夏は例年にないほど暑い夏でした。豊能町には緑と風があります。朝夕の涼しさは何物にもかえがたい環境にあふれています。そして文化もあります。能勢電車に乗って終点は妙見口駅です。花折街道、能勢妙見山の玄関口です。春には終点の吉川を中心としたおひなまつりのイベントが村いっばいに展開されます。さらに足を伸ばせば、能勢電ケーブル駅からケーブル山上駅までの桜が見事に咲き誇ります。豊能町周辺のシバザクラも有名でございます。

次に、歴史的秘話もあります。豊能郡の高山地区は、戦国キリシタン大名高山右近の生誕地でもあります。高山右近は、こと

し初め、バチカンの福者に認定されました。毎年秋には右近フェスタまつりが開かれております。ことしは10月9日に、日曜日に開催されます。ことしはこれを記念して花嫁行列が行われます。そして最大のイベントは、秋の夕暮れに広がる高山の棚田いっばいに広がるキャンドルライトです。2,000個以上のプラスチック廃ボトルを利用したともしびは、人々の心を圧倒する幻想の世界に引き込みます。ぜひ必見です。今年は豊能町の能勢電車の停車駅、光風台駅、ときわ台駅、妙見口駅の各駅から高山までのバス配車があるということです。ぜひ能勢電に乗って豊能町にお越しくください。豊能町はダイオキシンの風評被害に負けず頑張っています。応援よろしく願いいたします。

それでは一般質問に入ります。

町長にお聞きします。今般のダイオキシン処理に関して、特別管理一般廃棄物を産業廃棄物（総体産廃）と組合の中で決めたことですが、いつ議論されて結論を出されたかお聞かせください。

○副議長（高橋充徳君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

皆さんおはようございます。

お答えいたします。

○副議長（高橋充徳君）

大きな声でよろしく願います。

○町長（田中龍一君）

はい。昨年11月ごろに三池製錬から処理は難しいとする考えを示されまして、その後改めて処理の方策を検討することとなりましたが、その中で廃棄物の分類について次のとおりの検証というか、行いました。それは本件廃棄物は平成9年に本組合の清掃工場におけるダイオキシン汚染の発

覚により焼却炉が緊急停止し、後に施設を解体したときに発生した廃棄物の一部であり、解体作業の状況から産業廃棄物と思われるものであったが、当時は廃棄物の種別を判断もせず保管をしておりました。その後、汚染物を域内で処理するに当たり、単に発生した場所から理論上類推して一般廃棄物としたが、以降も産業廃棄物に一般廃棄物が混入していたものとして認識をしていたところでございます。その中で昨年8月に福岡県の業者に処理を依頼しましたが、当該業者における処理が困難となり、改めて処理の方策を検討する中で、これまでの内容物の確認状況や採取場所、採取日などの当時の資料と、その作業を実施した担当者から聞き取りなどをもとに検証した結果、施設解体廃棄物である、産業廃棄物が主体であると判断し、全体を産業廃棄物として処理を行ったものでございます。そういったことから、全体を産業廃棄物として判断いたしましたのはことしの1月ごろとなったところでございます。

以上でございます。

○副議長（高橋充徳君）

福岡邦彬議員。

○11番（福岡邦彬君）

そのときのメンバーの名前は。教えてください。

○副議長（高橋充徳君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

正副の管理者、それと事務局長、あとは担当課長、それと当時豊能町の副町長でした中井副町長。

以上でございます。

○副議長（高橋充徳君）

福岡邦彬議員。

○11番（福岡邦彬君）

そのときの記録はありますか。

○副議長（高橋充徳君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

最終的には決裁という形でとっておりますけれども、その間の経過等については特にはとっておりません。ですのでそのときの決裁ということが残っているところでございます。

以上でございます。

○副議長（高橋充徳君）

福岡邦彬議員。

○11番（福岡邦彬君）

町長そんな、なめたことを言うたらあかん。世間に笑われるで。こんな大事なことが記録もなしに決裁だけでおさまるといはったんですか。それからしてもあんたずっと早うから失格続きでっせ。と私はそう思いますわ。私は施設組合の多くの人に聞きました。きちんと記録が残ってますよということでした。ところがあなたになってからなぜそんなずさんなことをしたんですか。本当にずさんじゃないですか。そんな大事なことが。

もう1点。この産廃を、その施設組合の解体に伴ってできたとおっしゃってました。しかしこれはずっと大阪府の指導のもとにやったことという記録はあると思います。いつだって私らが管理者、副管理者が決定したことないですよ。全部府の指導で、4,300本あったドラム缶も全部、産業廃棄物として148本残して焼いたんですよ。コンクリート固化みたいな小手先じゃないですよ。それが何で記録もないんですか。それ一つとって失格ですよ、町長。このことわかりませんか。

○副議長（高橋充徳君）

答弁を求めます。なぜ記録がなかったのかということの質問でございます。

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

この決裁に至る記録という形ではございませんけれども、過去からのそういったものも判断しながらしたものでございまして、その中で過去の担当者、実際ずっと携わってる者もおりますし、そういった者からも聞き取りをし、その当時の資料なんかも検証しながら、今回産業廃棄物といったところで判断させていただいたところでございます。

○副議長（高橋充徳君）

福岡邦彬議員。

○11番（福岡邦彬君）

またうそつく。私は、府から来ておった、あるいは府の環境局からずっと指導してここまで来たんですよ。あなたはだまされたという環境テクノロジー井上さんよりも職員にだまされてますやんか。職員に。そんなこと皆知ってますよ。井上いうやつがどんなやつか皆知ってまんねんで。大阪府からで、府の出入り禁止になった人ですわ。これも皆職員知ってますよ。あなただけ知らなんだんちゃうんか。そんな札つきの人でっせ。何年も前から出入りして。ほれで記録ありませんて、そんなことないですよ。ちゃんと記録ある。あなたが知らないだけや。勉強してないだけや。本当にそんな記録見たことありませんか。

○副議長（高橋充徳君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

それに至ったまでの経緯、そういったものについて、一定の、当然昔の記録、そういったもので判断もし、当時の担当者もいておりましたので、そういったことも判断しましたので、そういった意味ではその当時の記録というものについてはあるというふうに認識しております。

以上でございます。

○副議長（高橋充徳君）

福岡邦彬議員。

○11番（福岡邦彬君）

だからそこはあなた失格と言ってるんですよ。なぜならばそういう人の意見を聞いたり、府に相談したり、あるいは議会に報告すればこんなことにならなかったんですよ。隠して隠して隠しまくった結果これじゃないですか。これはあなたの責任だと思う。未熟というんか、ばかというんか、そういう責任がありますやないか。教えてください。責任についてどう思いますか。

○副議長（高橋充徳君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

今回の一連の問題については、新聞等の報道で大きく取り上げられ、豊能町の住民の皆さんにはこの間多くの御心配、御迷惑をおかけした、このことについては大変申しわけなく思っております。そういった意味からも、早急にこの問題について解決をする、そういったことが私の責任だということで、今現在も努力しているところで、のつもりでございます。

以上でございます。

○副議長（高橋充徳君）

福岡邦彬議員。

○11番（福岡邦彬君）

揚げ足とるやないけど、努力の陰見えへ

んやんか。努力して、口だけ言うておって努力してます、御理解くださいって。新聞に取り上げられてそんなこと言うたらあかんやんか。あなた隠して隠して隠しまくって、うそをついて、うそをついたからこんななったんや。その責任はどうかとやってんねん。しかも僕の第5番目の答えまで言うてくれはった。僕はそういう説明責任、住民に対して、議会に対して説明責任一個も果たしてない。ずっと3月議会、6月議会までうそついておるやないですか、議会に対して。三池製錬で2月、持ち出したにもかかわらず、2月中に神戸へ持ち出してコンクリート固化もやってるのに一言も言わずに、三池でやったような顔ばかりしておったじゃないですか。この責任はどうしてるんですかと言ってるんですわ。責任についてもう一遍お答えください。

○副議長（高橋充徳君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

議会の皆さん、住民の皆様には問題の発生からこの間十分な情報発信ができておらず、そういったことについては非常に申しわけないと思っております。ただ、そんな中で私どもといたしましては処理を最優先にということで考えたところでございまして、非常に申しわけなくとは思っておりますが、結果的にこういった形になったというのは申しわけないと思っております。そのことにつきましては、このことにつきましては、これからもこの問題の収束に向けて努力してまいりたいと思っております。

以上でございます。

○副議長（高橋充徳君）

福岡邦彬議員。

○11番（福岡邦彬君）

結果的にそうなったんですか。結果的にそうなった。ちょっとそこだけひっかかりまん。あなたの責任でこういう結果を生んだん違いますの。本当に結果的にそうなったんですか。無過失でそうなったんですか。先ほど3月末にと、処理したいと、それは方法が違うたんでしょう。もう一度お答えくださいな。結果的にそうなったんですか。あなたが無過失で。違うでしょう。ちょっとの注意、ちょっとの配慮、そして責任があれば、議会に報告するという義務をきちんとやればこんなことにならなかったと言ってるんです。全てあなたやってない。この責任はどうなってるんですか。結果的じゃないでしょう。もう少し分析しなはれ、ここまできてんねんから。

○副議長（高橋充徳君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

皆様には本当に情報提供できてなかったということについては非常に申しわけないと思っております。その中で、これまでなかなか20年間解決がつかなかった中で、それを何とか処理をしたいという思いの中からこういった形でさせていただいたということについて、非常に申しわけなく思っております。

以上でございます。

○副議長（高橋充徳君）

福岡邦彬議員。

○11番（福岡邦彬君）

政治は結果だと思えますよ。結果。結果責任を求めているんです。20年間なぜ放置されたという背景を考えたことありますか。歴代の首長、町長あるいは管理者がどれだけ苦勞したことをあなたは知っておられると思うんですよ。だから昨年7月には戸知山で6億何ぼの処理ができたんと違いま

すか。それも前町長の指導があったでしょう。6億という莫大な金を使ってでもやらないかんという思いでやったん違いまんのかいな。そのことを自覚しなはれや。20年間という重みを。ほんまにあんたの浅はかな知恵で21年目に入りましたんや。いつまで続くかわかりません。あなたのやり方はいつも10日とか2週間単位ですわ。今回の神戸から持ち帰る時間でも、ほんまにその場その場や。何のことも考えてない。情けないと思うよ俺。本当に、ダイオキシンを処理したかったら、一度でもあなたは現場へ足を運んだことありますか。ないでしょう。前町長は三池製錬、失礼、三重中央にどんだけ足を運んで、地元とも話し合っておりますわ。そのことは組合の皆さんも知ってたでしょう。そういうことをあなた一回も行っていないじゃないか。僕は三池製錬で、行ったことあって頭下げてやれば、僕はできたと思いますよ。排出責任者の長が本当に真摯に三池製錬に行って頭を下げれば僕はできたと思います。何もせんと、組合組合と言いながら副町長を使うて。結局副町長は自腹切って2月末でぱっと蒸発しましたやんか。それ以降惨たんたるもんですよ。それで隠そう、隠そう。ずっと豊能町の議会にうそついてきた。皆、三池で処理された、3月末までにされると信じておった人ようけおったじゃないですか。その責任を言ってるんですわ。そなん、努力してるとか、そなん違う。具体的に、今後どうされるんですか。具体的に。どういう構想でもいいですわ。考えでもいいです。お答えください。

○副議長（高橋充徳君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

今現在、きょうも神戸市のほうからそのダイオキシンを、まずは仮置きで持ち帰り、2カ月間ですけれども、今のふたばを中心としたところに入れさせていただいて、その後1年、2年単位で受けていただけたら、そういったところを今模索しながら、最終的には最終処分、郡内等でのいろいろな考え方もあるかと思えますけども、最終処分という形で進めてまいりたいというふうに思っているところでございます。

以上でございます。

○副議長（高橋充徳君）

福岡邦彬議員。

○11番（福岡邦彬君）

これ今おっしゃったのは、漏れ聞くところによると、あなた次もまた町長やられるんですな。

○副議長（高橋充徳君）

次の方をお願いするのかということですか。

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

済みません。構想ということでしたのでお答えしたところでございまして、次期については私は出馬しないということは表明しているところでございます。ですので、構想ということでしたから今私が思っているところについて述べさせていただいたところでございます。

以上でございます。

○副議長（高橋充徳君）

福岡邦彬議員。

○11番（福岡邦彬君）

それは聞きましたけどね。漏れ聞くところによると、仮置き場ができたらずぐに辞表を出すという話やったやなかったですか。

○副議長（高橋充徳君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

私が思っていたのは、議会にお任せをするということで、その中で、私はそこで議会で決めていただいたところでできれば、その中で出た条件が私がやめるという条件でございましたので、そういったことだと私は思っております。ですので、今現在はその案と違う案ということで進めさせていただいて進んでおりますので、その後のことも考えながら、今、続けているといったことというふうに私は理解しているところでございます。

以上でございます。

○副議長（高橋充徳君）

福岡邦彬議員。

○11番（福岡邦彬君）

そこに多くの住民、議員がかんでたということはあなたは知らないわね。自分が案を出してやったから自分の手柄ですか。自分がやったからやめる必要はないということですか。漏れ聞くところによるとえらい違いまん。多くの議員がほんまに真剣になって裏で活動してたの知らんでしょう。そういうことが世の中全体として回ってるんですわ。この問題についても自分一人でこんな浅はかなことを考えた、反省も何もないじゃないですか。多くの人へ、助けられてるのと違うんですか。それがわかってなかったら、あんたはほんまに悪いけど町長やめなはれ、すぐに。ほんまにやめなはれ。そんなことわかってないやろ。私が発案したと思いますわ。それが危なくなったから議員が動きまわったんじゃないですか。いろいろなとこで。これは置いときます。

次に、仲介業者、環境テクノロジーの井上氏に対して金銭の解明が進んでおりませ

ん。金の流れを解明するのが残された町長、管理者の最低限の責務だと考えますが、井上氏を含め処理できなかった三池製錬に対して当然訴訟を起こす債務があると考えますが、残された期間中に行動を起こされませんか。

○副議長（高橋充徳君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

契約の相手方が契約を履行しないことで何らかの損害が発生している場合、損害賠償請求をするということは可能と考えております。その場合、故意もしくは過失による場合など、債務者の帰責事由が必要とされておりまして、債務不履行が不可抗力による場合や債務者が無過失である場合には損害賠償責任は発生しないとされております。

三池製錬で処理できなかったことが業者の意思とは別に不可抗力によるものかどうか改めて弁護士と相談し、判断したいと考えておりますが、これまでに相談したところでは損害賠償請求は生じないのではないかというふうにお聞きしているものでございます。

環境テクノロジーに関しましては、新聞報道等でいろいろな情報が流れており、不透明な部分が多いことから、今後明らかにしていく必要があると考えております。事実関係を明らかにするにはどの程度の期間を要するかわかりませんが、残された期間できる限りのことはしてまいりたいと思っております。

以上でございます。

○副議長（高橋充徳君）

福岡邦彬議員。

○11番（福岡邦彬君）

確認だけします。環境テクノロジー井上

氏については訴訟を検討すると。弁護士にしたら、いわゆる不可抗力でないということですか。やるということによろしいですか。もう時間短いですよ。大分前からこれ、この話が町長に伝わってるはずですよ。訴訟せい、訴訟せいと。ぜひやってくださいよ。そやないと事実が解明できてない。あなたからも全然説明不足やから。だからこれはこれで井上氏に対してはやるということによろしいですか。豊能町長としてか、あるいは豊能町長が管理者に命じてやるか、それはどちらでも結構ですが。どちらですか。豊能町長としてやるんか、施設管理者としてやるんか、どちらですか。

○副議長（高橋充徳君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

今、弁護士と相談をしておるところでございます。これは一義的にはまずは管理者として取り組むべきことではないかというふうに認識をしています。

以上でございます。

○副議長（高橋充徳君）

福岡邦彬議員。

○11番（福岡邦彬君）

検討とかもうそなん、もう大分時間かかってまんねん。いつもそうですやん。検討します、どうのこうのと。この質問条項に入ってますが、稲敷市の問題ももう出ます、出ます。一個も出てないじゃないですか。24日の大阪府のやつも、もっと早くやっとならばもっと早く分析できたはずですよ。ただ右往左往してるだけじゃないですか。情けないと思いますよ、僕は。

次に、今後施設組合、豊能町へ大きな金銭的な負担がのしかかってきます。今後のダイオキシン処理に関して処理費用はどの

ぐらいの費用があると考えておられますか。先ほどは別の場所に移して1年、2年とおっしゃった。その処理についてどのぐらいの金がかかると考えておられますか。

○副議長（高橋充徳君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

今後の費用としましては、廃棄物の撤去費用、仮置きに要する費用、最終処分に要する費用等が考えられますけれども、最終処分をどうするか今後検討していくこともございまして、今現時点では費用ということはまだ明らかにはなっていないとございまして、参考として、これまで、もともと置こうとしていたところでの費用については既に約3,600万円ほどの費用が、今かかっているところでございます。

以上でございます。

○副議長（高橋充徳君）

福岡邦彬議員。

○11番（福岡邦彬君）

これが処理ですか。今ここに、今までずっと神戸からやってきた皆処理の、処理ですか。違うでしょう。それを処理言うたらほんまに皆さん怒りませ。住民の苦渋の決断等々、処理できたら僕は住民納得してもらえますよ。これ処理でっか、3,600何万円いうの。違うでしょう。あなたの判断ミスでこのような金になったんでしょう。そうじゃないですか。その自覚はないの。町長の、管理者のミスで大きな損害を豊能町に与えてますねや。今3,600、違うやろ、もっとやろ。これからまた次の場所へ仮置き2カ月になったらまたもって行く。それは当然、職員何ぼ動員してもあんなもって上がらへん。金かかる。業者に高い値段で請け負ってもらったかどうか知りま

せんが、高いですわ。あの当初の仮置き場は1,600万円とかいうてるけど高い。今度余野の幼稚園跡にも僕は同じ業者が入ってくると高いと思う。そんなことが、これは処理じゃないですよ。単なる仮置きですわ。だから処理の費用はどんくらいかと聞いてるんです。予想でも結構ですよ。僕は恐らく、これまでのドラム缶に入っていたダイオキシンならば1,250度から1,300度で燃えますねん。燃えて灰になりますねん。今度は要らんことしたおかげでコンクリート固化してますから。しかも30何トンもっていったやつが10倍に膨れ上がって帰ってきてんねや。あんたの責任でオーケーしたんや。こんな情けない話ないわ。何ぼおつりがついてもそんなことない。30トン持って行って30トン持って帰るのやったら僕はいいと思う。何ぼでんねん、今。418袋。

(発言する者あり)

○11番(福岡邦彬君)

318か。そんなんでっせ。もしそのときに、これは私らの廃棄物じゃないとわかったら神戸へ返しまんねんな。

○副議長(高橋充徳君)

答弁を求めます。

田中町長。

○町長(田中龍一君)

お答えします。

残念ながら、これまざってしまっておりますので、これは私どものものか神戸のものかというのはわからない状況でございます。そういったところから今現状では、非常にそういったことは難しいというふうに考えております。

以上でございます。

○副議長(高橋充徳君)

福岡邦彬議員。

○11番(福岡邦彬君)

難しいと思うでもうあなたはオーケーしたんでしょ。明らかに違うやつやったら返さなあかんの違いますの。今度はこちらの車で仕立てて、記者会見して、堂々と持って帰らせたらどうですか。それは責務でしょう。こんなことを住民に説明できますか。

そういうことの中で相当豊能町はこれからもお金が要ります。町長の賠償責任についてどのように考えておられますか。町長として。管理者は費用をもらってはりますけどちょっと少ないですわな。ほとんどの主たるは豊能町のお金ですわな。町長として。そのお金もらってる人が、こういうミスをして損害かけたら、大体賠償責任つきますわ。それはあえてまた次の町長が決まったらその人たちに要求していきます、組合として。あなたに対する。明らかに先ほど言った不可抗力じゃない。その賠償責任、先にこれで堪忍しておくんはれというぐらいの賠償責任について町長はどう考えておられますか。

○副議長(高橋充徳君)

答弁を求めます。

田中町長。

○町長(田中龍一君)

お答えいたします。

今回の件では住民の皆さんには多く御心配と御迷惑をおかけしてまことに申しわけないとおわび申し上げるところでございます。また、処理費とは別に先ほど言いましたような新たな費用が発生することについても非常に申しわけないと思っております。残された期間で全てを解決することは難しいですけども、少しでも解決できるように全力で取り組んでいくということで責任は持っていきたいと思っております。

以上でございます。

○副議長(高橋充徳君)

福岡邦彬議員。

○11番（福岡邦彬君）

具体的に何をするか言うてください。ずっとこの間の神戸の話でも、15日完全に持って帰ります言うたけど30日ぐらいまでずっと何もしてなかったじゃないですか。ちよろちよろっとぐらいしか。今回もう残された期間少ないですよ。だから何、具体的に何をするかということをお願いしてください。そして、だから私は賠償責任を負いませんぐらいで結構ですよ、別に。そう言うてくださいよ。負うか負わないかを聞いてるんですよ。お答えください。

○副議長（高橋充徳君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

ですから賠償責任につきましては、私は今残された期間できるだけ、今、仮置きのところは苦渋の御理解いただいて、今、決めさせていただいた、決めていただいた、決めさせてもらったところにも運び込もうとしておりますし、今後1、2年の長期のところについても早期に決めさせていただきたいというふうに思っております。そんな中でできるだけのことを任期中にして、それを責任にしたいと思っております。

以上でございます。

○副議長（高橋充徳君）

福岡邦彬議員。

○11番（福岡邦彬君）

僕はそやからできますかって聞いている。わずか2カ月の間で次の場所ができますかと。これだけ1点でお答えください。できるできないで結構ですよ。恐らく僕は、まあ言いませんわ。田中町長、お答えください。

○副議長（高橋充徳君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

これはなかなか、たくさんの皆さんの御理解等要りますので、明言というか、それはなかなか難しいですけれども、ただ、これできるようにやっぱり努力する、それしかないかと思っております。これまでもいろいろなことでもございましたので、やはり努力するとしか今は言いようがないのかなと思っております。ただ、それはできるように尽くしていきたいというふうに思っております。

以上でございます。

○副議長（高橋充徳君）

福岡邦彬議員。

○11番（福岡邦彬君）

そうしたら答弁は、できなかつたら私は退職金も給与も返上しますというのが普通じゃないですか。その点についてどうですか。

○副議長（高橋充徳君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

私はできるように努力していきます。ただ、これまで、この件はありましたけれども、ほかの件でもいろいろ、いろいろなことはしてきたと思っておりますので、総合的にも判断していただきたいと思っております。ですので私はできる限り今の任期中でできる範囲のことをやりまして、そこでそういった形で責任をとっていきたいというふうに思っております。

以上でございます。

○副議長（高橋充徳君）

福岡邦彬議員。

○11番（福岡邦彬君）

いろいろなことをしたから退職金もらいまんねんな。記憶にとどめておきますわ。おもしろい答弁やから。

次に、戸知山で処理するダイオキシンの処理に伴う契約についてお聞きします。ダイオキシンの処理を巡って昨年7月の戸知山から始まって今回の仮置き場まで第三者の契約の流れを質問します。戸知山にすることも、仲介者環境テクノロジー井上氏ですか。

○副議長（高橋充徳君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

戸知山で処理することについては、組合で現地処理をするという方針で取り組んできましたので、環境テクノロジーとは全く関係はございません。

以上でございます。

○副議長（高橋充徳君）

福岡邦彬議員。

○11番（福岡邦彬君）

そうすると、三池製錬でそのときに1カ月ぐらいで急転直下になりましたね。6億から1億、これは喜びましたがな、ほんま。こうやって眉に唾つけて喜んだ。ほんまやろかと。ただ現実的に三池製錬という大きな会社、そして調べたら調べるほど大きな会社。しかも1市3町のごみ、いわゆるばいじんとかそういうのも焼いてもらってる。そういう会社やから信用しました。しかしその三池製錬で処理する契約は、仲介業者は環境テクノロジー井上氏ですか。だったんですか。

○副議長（高橋充徳君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

三池製錬での処理については、地元の自治体も含め、受け入れの可能性があるということで、紹介いただいたのは環境テクノロジーでございます。業者のほうで適正に処理できるということであれば、地元の自治体も協議に応じてもらえるということになりましたので、業者と協議を進めてきたものでございます。

以上でございます。

○副議長（高橋充徳君）

福岡邦彬議員。

○11番（福岡邦彬君）

そのときに、なぜ井上氏じゃなしに、1市3町、国崎の、いわゆる猪名川広域上流広域ごみ処理センターの事務局長なりに聞かなかったんですか。そこを通せばこんな反対ってなかったんじゃないですか。できレースみたいな形の。なぜ施設組合、いわゆる1市3町に相談しましたか。僕それは筋やと思いまっせ。それを知っておっただけっせ。あなた知らなかったんじゃない。知ってたか知らないかで言うてください。

○副議長（高橋充徳君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

1市3町とは相談はしておりません。この当時では私は知りませんでした。

○副議長（高橋充徳君）

福岡邦彬議員。

○11番（福岡邦彬君）

それは知っておっただけっせ。ということは、施設組合の事務局長も、こちらから行った、特別に教育するといった中井副町長も町長も知らなかったということだと思いますよ。

次に、三池製錬から持ち出しの契約の牧野運輸、仲介者、環境テクノロジー井上氏ですか。仲介業者。つまり牧野運輸を紹介

したんも井上氏ですか。

○副議長（高橋充徳君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

三池製錬から持ち出すときの契約、これは環境テクノロジーでございまして、その中の運送方法、これについても三池製錬での処理が困難となって新たに別の業者で処理するに当たって、運搬方法の検討も行いましたけれども、業者から指示された日に搬入できる業者が思うように見つからず、探しあぐねたところ、環境テクノロジーから紹介を受けてお願いしたものでございます。

以上でございます。

○副議長（高橋充徳君）

福岡邦彬議員。

○11番（福岡邦彬君）

またうそつくやろ。そんなん向こうから指示されたいうて、私も向こうへ行ってきましたよ。三池製錬も大牟田市も。指示なんかしてませんと。したがって2月中ごろって聞きましたよ、僕は。神戸の答弁によって2月16日からになってますけどね。指示しましたって、向こうは指示したんですか。取りにこいいうて。違うでしょう。こっちから取りにいったん違いますのんか。井上氏の指示に従って。またうそついてますやろ、私言うてる。

それからこの一連の流れの中で町長どこまで立ち会われたんですか。管理者として。全て事務局長任せですか。中井副町長任せですか。これについてお答えください。

○副議長（高橋充徳君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

先ほど、その業者の指示された日というのは、これは三池製錬でなくて次の業者等のことでございます。

それと、あとは今、この全て立ち会ったのかといったところでございますけども、これにつきましては組合の事務局及び当時副町長からいろいろ報告を受けて私が判断したところでございまして、それぞれに立ち会ったというわけではございません。

以上でございます。

○副議長（高橋充徳君）

福岡邦彬議員。

○11番（福岡邦彬君）

おもしろいこと言われましたね。いろいろ報告を受けて、立ち会ったわけでないいろいろな報告を受けて私が判断しましたいうて。その判断間違うとんのかな。その自覚を言うてるんや。そやろ。大体は判断するときにはいろいろな情報、ファクターをもって判断するん違いまんの。人の言うことを聞いたんでっか。中井副町長さんの。

次に、稲敷市に持ち込んだ運輸会社と施設組合との契約はありますか。

○副議長（高橋充徳君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

これは、稲敷市にはその申し出のあった、要は実験試料として申し出があったものに対して試料を提供したものでございますので、組合がその運輸会社と契約したということはございません。

以上でございます。

○副議長（高橋充徳君）

福岡邦彬議員。

○11番（福岡邦彬君）

誰が契約したんですかとお聞きしたいんですけど。こんな車勝手に動きまへんやろ、契約せな。それをちょっとお聞きします。

○副議長（高橋充徳君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

ですので、稲敷市への持ち込みにつきましては、これはその実験試料、これの提供を求めてきたところが契約をしたといったところでございます。

以上でございます。

○副議長（高橋充徳君）

福岡邦彬議員。

○11番（福岡邦彬君）

情けないことじゃあないけどいきますわ。稲敷市に随分前から試料の提供という話があったと思うんですが、これは確認されておりますか。コーリン工業です。稲敷市の。水間さん、前の大阪府から来ておった水間さんなんか随分、そんな大量にできまへんと言われたというところでっせ。聞いてはりました。

○副議長（高橋充徳君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

私はこのコーリン工業というところは存じ上げません。

以上でございます。

（発言する者あり）

○副議長（高橋充徳君）

福岡邦彬議員。

○11番（福岡邦彬君）

僕、間違うてんのかな。ここで実験したん違いますの。実証実験。コーリン工業で

してるでしょう。違いますか。違うんやったら違うと言うてくださいよ。

それから処理した実験書、契約書ありますか。

○副議長（高橋充徳君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

この処理、処理ではない。実験をしたところはコーリン工業ではございません。

あとはその、これは実験試料として提供したものですから契約書というものはございません。

○副議長（高橋充徳君）

福岡邦彬議員。

○11番（福岡邦彬君）

ずっと私、これまでずっと同じこと言うてるんですけど、ありませんとか普通は考えられないんですわ。町民の税金、国の税金、そして二元代表制の一方の議会にも何も報告しない。第一義的な組合議会にも報告しない。そして一般質問すればありませんのや。契約書ありませんねんて。実験やから契約って、そんなことないやろ。笑いまっせ皆。実験するから契約書ありませんて。実験するんでも、こんな、いわゆる特別管理一般廃棄物でっせ。

（発言する者あり）

○11番（福岡邦彬君）

そういうことを申し添えて、無所属の会、福岡邦彬、終わります。ありがとうございました。

○副議長（高橋充徳君）

以上で、無所属の会の一般質問を終わります。

この際、暫時休憩をいたします。

（午前10時22分 休憩）

（午前10時35分 再開）

○議長（福岡邦彬君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、イノベーションとよのの一般質問を行います。

持ち時間は、質問及び答弁を合わせて150分とします。

永並啓議員を指名いたします。

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

こんにちは。イノベーションとよのの永並啓です。

それでは、通告していた項目について質問させていただきます。

まずは町政全般、ダイオキシン問題についてです。冷静に質問をしたいと思うんですが、町長には本当、正直顔も見たくない状態なんですよ。先ほどの福岡議員の質問でもありましたけど、もうちょっとはっきりと、もしされるんなら何が何でも解決するんだというぐらいの気力を持って答弁していただきたい。先日のテレビのコメンテーターの方も、ああいうしゃべり方ではなかなか住民の方を説得するのも難しいんじゃないですかねって言われてたとおり、言われてましたよ。先日の臨時会でもお願いしましたよね。そうじゃないと、リーダーたるものは何かを進めるに当たって、どんな困難な状況であってもそのしんどい姿っていうのは見せたらあきませんよ。しんどいんです、しんどいんです。そうしたらやめてくださいってなりますよ。何としても、どんな苦境に立っても解決するんだ、そういう気持ちで答弁していただきたいと思います。そしてこのしんどくなった責任、御自身の招いたことなんですよ。にもかかわらず、前回、先週の全協のときに大声で、一生懸命努力しているんですって、切れはりましたわ。僕あの姿見たら、この人まだ反省してないんやなど。僕反省してたら、

自分がやったことがこれほど重い大きなことやったらそんな言葉出てこうへんのですよ。

これまで、あなたはさっきから長年の懸案事項を処理するためにこうした、こうしたみたいなことを言ってますけど、こうなったのって、それで何かだまされたみたいな、環境テクノロジーにだまされたみたいなことを言うてますけどね。だまされにいつてるんですよ。通常の段取りを踏んでたらだまされることなんてなかったんです。まず1点目。三池がだめになったとき、三池製錬さんがだめになったとき、普通に持ち帰ってたらこんなことにはならなかったんです。一つの契約が終わりました。通常外へ出たものを豊能郡に戻して、またそこで議論をして新たな契約先を探す、これが通常ですよ。そうしたらこんなことにはならなかった。そして一廃を産廃に変えるのも何かいろいろと議論をしたって言うてますが、その中に現物ないでしょう。ここで議論ただけでしょう。現物大牟田にあるじゃないですか。三池製錬の中にあるものを遠く離れたこの大阪の中で豊能郡の中でどうだどうだやってやっただけでしょう。それも間違いですよ。ここの中に持ち帰って、以前から大阪府の指導を受けて一般廃棄物という中でずっと長年きてたわけですよ。そこももし変えるのであれば、もう一度ふたを開けて、大阪府の方も入ってもらって、いやこの部分までは産廃でいけますよねっていう了解のもとにしてたら、またこんなことにはならなかったんですよ。

それでコンクリート固化で処理するっていうときも、覚書に署名してますよね、4者。でも先日の議員総会か全協かの答弁では、その中の知らない、この会社はどういう会社か知りませんみたいなことを平気でおっしゃるんですよ。自分たちが署名し

て判こまで押してるのにどういう会社かわからない。そういったとこと契約してるんですよ。それで通常、もしこのダイオキシンが、豊能町が排出、豊能郡が排出した排出者の責任として責任があると考えたら、渡してからどういうふう処理されたかな、地域の方に迷惑かかってないかな、ちゃんと安全になくなったかな、こういうことを確認してれば、またこんなこともならなかったんですよ。だってあなたこれまで学識経験者も交えて、大阪府も交えて、技術の検証をしてきたんでしょ。それだけ安全に気を配ってたものが、ほかのところに投げるに当たってはもう一切知りませんんですよ。こんな姿勢やったからだまされて当然なんです。だまされにいつてるんです。僕、そこで責任を回避するっていうのは、明らかに、豊能町長も能勢町長もその発言は明らかにおかしいと思いますよ。どうお考えですか。ちょっとお聞かせください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

責任を回避するためにはと。

（発言する者あり）

○町長（田中龍一君）

それにつきましては、私どもも判こが偽造されていたといった事実がわかって、それでこれは非常におかしいことだというふうに、今、認識したとことございまして、そういったことから、まさか判こが偽造されていたということは思いもよらなかったといったところでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

暫時休憩します。

（午前10時42分 休憩）

（午前10時42分 再開）

○議長（福岡邦彬君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

契約については偽造はされておられませんでしたが、契約の中の金額が見積書の額によるといったことになっておまして、その見積書の判こが偽造されていたといったところから、そこから、我々も知らなかったんですけども、7月22日ですか、それから事態がわかったといったところでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

何でそう被害者ぶるんですか。私が言ってるのは、そこに至る経緯が、何なら僕、一緒に詐欺に加担してると思ってるんですよ。だってもともと金額って環境テクノロジーが出した金額じゃなくて、もともと予算で決められてた9,650万円、これに合わせるように見積書出されてるんでしょう。金額、先にあるじゃないですか。それを超えて見積書があるんやったら、当然議会で諮らないといけませんよね。それをしなくていい金額、使っていい金額の中での、なぜか話し込まれた見積書だから、それは一緒に印影も、印影偽造したのも一緒にしたんじゃないかって疑われて当然じゃないですかって聞いてるんです。だって堂々と、本当はもっと高かったけどこの金額になりましたって、この金額しか出せないようなこと言ってましたよね。もともと金額があるんですから。なかったら別ですよ。それに合うようにぴったりの見積書を出してきてるんですよ。それってどう考えても、一緒に話し合っ、ここまでなら出

せませす。じゃあ見積書をお願いします。でも実際のところはそんな金額じゃないからそれまではとれない。じゃあ途中で新たなものをつくらないと対外的に示しがつかないというふうに思われても当然ですよって聞いてるんです。いろいろなとこで踏みとどまるところがあったでしょうと。でもそこを踏みとどまらなかったのに、だまされたってというのは変じゃないですかって言うてるんです。わかりますかね。まだ説明、僕のほうの間違ってますかね。それはどう思いますか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

まず印影の偽造に加担したということは絶対ございませんので、それについては明言いたします。そんなことは全くございません。事実無根です。それについてはもう全くございません。

（発言する者あり）

○議長（福岡邦彬君）

暫時休憩します。

（午前10時44分 休憩）

（午前10時46分 再開）

○議長（福岡邦彬君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

今それぞれの、まずはその三池から断られたときに持って帰るといった選択肢もあったのではないかとあったところでございます。その中で、そういう考え方も確かにありました。ただ、我々としては処理を最優先したいという思いからこういったことにしたとあったところでございます。ですから、そういうタイミングで確かに考え直す

というタイミングはあったのは事実ですけれども、その中で処理を最優先するためにということで、一旦これ持ち帰ったら持ち帰ったで、またそれはそれで非常に長い期間がかかる、また注目を浴びるといったことは思いましたので、私どもは、そのときは処理を優先するというので、今、こういった形で進めてきたところでございます。以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

そうしたら判断ミスですよ。何回も指摘してきましたよ、我々は。処理はしたいけどもひきょうな手を使ってではないと。ちゃんと正攻法でいきなさいと。現に松井知事だって行政の信用失墜につながるということは知事から言われてますやんか。行政がそういう法の抜け穴的なことをしたら終わりですよ。どんだけ苦しくても、どんだけ手間がかかって、今までの町長は手間がかかっても、法にぎりぎりのとこへ行くことはなかったんですよ。契約したとこがだめだったらちゃんと戻ってくると。戻して再度考えると。それが通常のやり方なんです。何か戻したら処理できなくなるからと思って戻さなくてそこで遠くで一廃を産廃に変えて、その結果がどうなんですか。こんな事態招いてるんですよ。あなたの判断一つで。どう思われますか。多分その答えて、先ほど福岡議員の答えと一緒になるのかもしれませんが。でも本当に議員としては正直本当に情けない限りなんですよ。ずっと指摘してきましたから。でもとめれなかったんです。あなたの考えを方向転換させることがなかった。力がなかった。もっと議会が早くから一丸となって、あなたに圧力的に動けてたら、それが二元代表制だと思ってますからね。最低限議員の役割

としてチェックをする。こういったことがもっと早くできていれば変わったのかなという気がして非常に残念でなりません。

それで先日、仮置き場所決まりましたね。でも2カ月なんです。通告ないですよ、これ。先日決まったことですから。ただ、聞きたいのは、そんな答弁を練らないといけないことじゃなくて、2カ月なんです、その後のスケジュールを含めて、その努力するとかじゃなくて、具体的にどこを当たってどうするのか。それとも仮置き、次はどうしていくのかっていうのを、今の段階であることを全部言ってください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

申しわけございません。候補地は幾つかございまして、幾つか話をしているところもありますけれども、今の段階では御報告できる段階ではございませんので、答弁については控えさせていただきます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

これが仮置きの期間が6カ月とか1年あるんだったら別なんです。たった2カ月なんです。それであなたの任期って10月の13日まであるんです。じゃああなたの任期、次には出ないって言われてますからね。それを信じたとして、次の新町長がこの問題に当たられますよね。当たってからたった2週間しかない、期限まで。そうしたら普通、大人の常識として、あなたの任期中に全部めどをつけないといけない。その自信はありますか。努力するとかじゃないですよ。もうこの段階になったら具体的にどこどここって行って、もう自分の

頭の中にこういうものがあるから、これはほぼいけるだろうからこれでいくということがちゃんとありますかって聞いているんです。お答えください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

幾つか候補地もありますし、それはできるだけ、今、努力しているところでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

今回の仮置きのたった2カ月置くのでもここまでかかったんですよ。それでそのあと、今度のは2カ月とかじゃないですよ。ある一定の期間になりますよ。それが、今までのあなたの動きを見てこの1カ月ちょっとの間にはできるとは到底思えないんですけど、できるんだったら、いつも当たってますがとか今は言えませんじゃなくて、この段階にきたらもうみんな話し合っていないと。あなたはやめられて終わりかもしれないけど、我々残ってるんです。職員も。みんな解決せなあかんのですよ。隠されて動かれてもどうしようもないんですよ。だからそれ言うてくださいよ。候補地に、じゃあ候補地はまあ、いろいろ風評もあるから言わなくても結構ですよ。そうしたらその後どうするんですか。そこに何年ぐらい置こうとしているのか。それともそこに最終処分場をつくってまた処理するのか。どっちの方向でいくとか。今、決まってることぐらいは言えるでしょう。それを教えてください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

候補地については言えませんが、次のところについては2年程度置かせていただくといったことで検討しております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

じゃあまた置くということによろしいですか。置いて、だから地元の住民さんを説得するのにも、どうするんだということを示さない。あなたにないのはいつもそこがないんですよ。置いてその後どうするんですか。永久に保管するところをつくるのか。2年でいったらかなり長いですよ。そうしたら永久に保管するようなどこをつくるのか。処分場、また再度施設を、プラントをつくって燃やして無害化、さらなる無害化を図るのか。そこを教えてください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

その2年間というのは、要は最終的に、今は処分できる処理場で処分できる形になっておりますので、その郡内で最終の処分場をつくって、そこで入れるということは一つの大きな考えになるのかなと思っておりますので、そのために2年、その間に最終処分場について話を進めていきたいというふうに思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

郡内で最終処分場って、すごいことをお

っしやりましたよ。そんなん絶対かなりの時間を要しますよ。それあなた本当に1カ月、任期中にできると思いますか。ぜひとももう、すぐ、一応、以前言っていましたやん。仮置きが最後の仕事だって。できましたやん、仮置き。8月31で終わりますやん。お疲れさまでした。やめてくださいよ。次の人は選挙があるまで選べませんが、その後も残る部長さんいますよ。部長さんや我々議会で一緒になって考えていきますよ。でも、あなたみたいに秘密に秘密にとかそういうことをされたら何もできない。やめる気ないですか。もう仮置きできたじゃないですか、最後の仕事。言われてたでしょう。お答えください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えします。

今、職員の皆さんとともに、その中ではこういうところいうことで進めているところでございます。そんなことから、私もはそれで今進めていると。もしその職員の方から、私がいることによって進めるのが難しいとかっていう話であるのであれば、それは甘んじて受けなければいけないと思っておりますけれども、私はそんなことはないと思っておりますので、期限の中ではできるだけことはしてまいりたいというふうに思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

答弁求めます。田中町長以外の理事者の方、どなたか、答弁。

（発言する者あり）

○議長（福岡邦彬君）

いいですか。

じゃあ、永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

よくそういうことを言えますよね。今回の問題に至ったので一番大きなところは、誰にも相談しなかったことですよ。身近にいる職員ですらほとんど、先ほど言っていましたよね。田中さんと能勢の町長の山口さんと中井元副町長と事務局長と課長、この数人で動かしてきたことなんですよ。そこまで、周りにいる自分の周りには職員にすら何の報告もしなくて、それで、さあ問題が起きました。解決するためには皆さんの力必要ですって。貸せます。あんたがここに持ってきてこうしたんやろうってみんな思ってますよ。僕なら思うもん。それであなたは一応、皆さんの職員の上司に当たるから、あなたに向かって何か言うってことはなかなか言えませんで。そしたらそこから辺の空気はリーダーが感じとらないと、肌で。感じとったら、僕はそこにいるのがすごい神経やなと思ってしまいますよ。どう思われますか。それでも任期まで一生懸命やるって言いますか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えします。

やはり先に立って、リーダーが先頭に立っていろいろ交渉、そんなこともありますし、リーダーいないままに進めるというのは私としては非常に難しいのではないのかなと。組織としても難しいのではないのかなという、私は判断をしております。ですので、ここで途中でやめてということは今は考えておりません。ただ、私がいることによって非常に進めづらい、それはやりづらいという話があるのであれば、それはそれで考えなければいけないと思えますけれども、私は今、今回仮置き、そういう、そ

の次の場所も含めて、進めるに当たって努力しておるところでございますので、そういった声については、もしあるのであれば真摯に受けとめさせていただきたいと思えます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

あるに決まってるじゃないですか。今回その数名が起こした事件ですよ。事件によってどんだけの人が土日もなく動いてるんですか。それを、ずっとみんなで相談して決めてきたことやったら一緒に動いてくれますよ。でもその一部の人が決めたこととどんだけの人、振り回されてると思うんですか。その当事者がいるのにはっきりしたことと言えるわけじゃないじゃないですか。それは直接なんて言いませんよ。だから我々議員とかが間接的に言うんです。それはもっとすぐれたリーダーなら、自分でそういったことは肌で感じていただきたいと思いますよ。そこがなかなか感じない方なんだからこういう問題になったのかもしれないけどね。これは本当に、前に進めるということをお考えならすぐにやめる。もう仮置きできたんだから。次は次の人に任せるという形を、本当真剣に考えていただきたいと思います。

引き続き通告の質問なんですけどね。今回、町長がとられたことで豊能町のイメージは地に落ちたわけですね。就任当初からプレスを用いて豊能町をPRするというようなことをおっしゃってましたけどね。今回豊能町が負ったマイナスイメージ、どれくらいのもので想定されてますか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

この間の一連の報道の内容を見る限り、豊能町にとっては決して好ましい内容ではない。マイナスイメージになっているというふうには思っております。非常に申しわけないと思っておりますのでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

何か、ただ報道されただけと思ってるとうぐあい悪いんで。もしあの報道を、これだけマスコミが動いて新聞に連日書かれて、テレビでも何か5分か10分ぐらいの特集を何回も組まれている。これもし買い取ってしたら億じゃすまない、数十億かかる話かもしれませんよ。それぐらいの損失を与えたってということなんです。それでこの発表で、いきなり豊能町から出ていく人は少なかったとしても、入ってくる人って、ただでさえ少ないのに激減すると思うんですね。そうしたらさらに減少して、豊能町の地価下がって、固定資産税もまた下がって、いろいろなとこに長年影響が及ぶわけですよ。わかります。あなたの報酬や退職金じゃ全然賄えない。そこら辺は自覚されてますか。迷惑かけた、申しわけないというんやったら、もうちょっと周りの言うことを聞いて、議会の言うこと、議員の言うことを真摯に受けとめて行動していただきたい。どう思われますか。それぐらいの、金額に換算したらそれぐらいになるんだという意識は頭にありますか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えします。

金額の換算というのはいろいろ、一つの考え方かとは思いますが。ただ、私どもも今、職員の皆さんと一丸となって、そのあたりについては私先頭に立って回復については努めてまいりたいというふうに思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

それは金額に想定しないと。どんなことでもそうですよ。わかりやすい金額出ますやん。報道もされて新聞にも載ってるんだから。あれを普通に自分らでお金払って報道したらどれくらいかかるかって言うのを考えたら容易にわかりますよ。実費だけでそれだけかかるんですよ。電波をそれだけ買い取るということがどれだけ高いか。そして、舛添知事のとときなんかよりひどいですよ。あの問題は舛添さん個人の問題ですから、やめれば一気に何の東京のイメージ悪なれへんのですよ。でも今回は豊能町、能勢町のイメージがすごく悪くなってる。あなた個人だけの問題にとどまれへんのですよ。非常に情けないのが、ここまで、20年たって処理はできなかったけども、20年たったことによってダイオキシシンに対するマスコミの考え方、住民の考え方って大分トーンダウンしてきたんですよ。冷静に処分、普通に処分をしたらちゃんと処理できるし。当初は放射能に次ぐ猛毒扱いでしたよ。それが変わっていった。だから高山から吉川支所の横に置いたときも何も問題起きなかったでしょう。それだけ住民の方も理解していった。それだけ適切に運んでいたら粛々と処分できたものが、今やまた猛毒扱いですよ。猛毒になると普通に置いとくだけでも問題ある。ちゃんと処分せないかん。また要らん費用が余計にかかる

んです。やめたからって責任回避できると  
思ったら大間違いですからね。徹底的にい  
きますよ、僕は。

それで、僕はいつも言ってるけど、情報  
発信の方法。スピード感ない。今までは豊  
能町をPRするための情報発信でしたけど、  
今回のようなことが起こったときでも情報  
発信が非常に遅いんです。何度言っても、  
議会が言っても何も出てこないのに、神戸  
市からこういうマスコミ経由で我々が知る  
とか。それでどうしようもなくなって公開  
するとか。こういった形なんですよ。こ  
ういった記者会見とかそういう、何かあ  
つたらリスクが発生したときにどういふ  
ふうに対応するかっていうのは、町長一丸とな  
ってって言うのであるなら、そこら辺は話  
し合われたんですね。こういうふうな記者  
会見でこうしようと。ちょっとお聞かせく  
ださい。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

記者会見につきましてはその都度違いま  
すからあれですけども、ただ、形式とか、  
どういった形でプレスをする、議員の皆さ  
んにお伝えする、そんなことについては一  
定できてきたのではないのかなと思ってお  
ります。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

しっかり答弁してくださいね。ずれてま  
すからね。

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

できてないんですよ。何も知らされてな  
いから、我々は。今までみんな黙ってたの  
は、ダイオキシンは表に出て騒ぐことで処  
理できなくなったら嫌だからっていうこと

で託してきた。でも処理した後もずっと隠  
し続ける。適正になんて情報、議会になん  
て渡してないですよ。それで3月議会の段  
においてはうそみたいな答弁してるもん。  
それでよく適正なんて言えたと思いますよ。  
今、芸能人の謝罪会見と一緒にですよ。あれ  
ちょっと間違ったらまた騒動大きくなりま  
すよね。ちゃんと、視聴者も見てるし、今  
回の件でも町長の言葉を見てるんですよ。  
真摯に全部を言ってるかな。ちゃんと明ら  
かにしてるかな。でもそこが、あなたの口  
から何か全てが出てこないんですよ。常に  
情報が小出し小出しになってね。何かあ  
つたときは全てを明らかにして、申しわけ  
ない、謝罪するっていうのが一つにあるじゃ  
ないですか。そうしないと解決って、信用  
も得られないんですよ。何で情報を小出し  
にしてるんですか。いまだに隠し続けるん  
ですか。言ってください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えします。

私どもはわかっている範囲のことはお伝え  
しているつもりでございます。これまで確  
かになかなか情報提供できていなかった面  
もあろうかと思えます。それについては申  
しわけないと思っておりますけれども、そ  
れ以後についてはできるだけわかっている  
ことについてはお話ししているつもりでお  
ります。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

そういうふうに誰もとれない。記者会見  
をしても、何か隠してるなって記者さんも  
思われる。だからさらに追及するんです。

そうしたら何か案の定、ぼろぼろ、ぼろぼろ出てきたと。実は最初のほうに言ったりや済むことなのに、ずっと35本はどっかで実験したって隠してるから、一生懸命、後々、後々、茨城のほうで処理したっていうことをぼろぼろ、ぼろぼろ出てくる。そうしたら、一回でだんと出したら、新聞の一面全部使うことなんてないんですよ。そうしたら何日かの報道で、ちゃんと明らかに真実を言ったらですよ、終わったかもしれない。でもあなたは小出しにするんですよ。小出しにしたらちょうどいい記事になるんですよ。このくらいのスペースで。それが連日ずっと、ここ7月からずっと8月、1カ月以上たってもずっと載り続けるんですよ。だから大失敗だと言ってるんです。だから情報の出し方、発信の仕方もあるんですけど、特にこういう問題発生したときの対応方法っていうものはもっと学ぶべきだと思いますよ。部長いかがですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

内田総務部長。

○総務部長（内田 敬君）

このたびの案件につきましては、私も7月7日以降、神戸がプレスでレクをして、それ以降のことについては私もおかかわっておりますので、広報の担当といたしましては適切に広報するべきであったというふうには考えておりますが、ただ、これ、一義的には組合の案件でございます、組合の情報を町が流すというようなことになるわけでございます。組合の案件といいますが、これ組合や町やというおるような、そんなレベルの事件ではございませんでしたので、町も一緒になってやっていこうということでございましたが、情報を把握し切れていないというか、住民の皆様へお知らせするレベルの情報までは持っていなか

ったというようなこともあって、なかなかタイムリーな情報発信と申しますか、広報ができなかったというようなことで非常に残念に思っておりますが、今後につきましては、組合と町が情報を共有いたしまして、適切に広報、情報発信をしてまいりたいというふうに大いに反省をしているところでございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

こんな問題が何度も起こったらぐあい悪いんですけど、これは別にいい情報を発信するときの方法も、悪い情報の発信するときの方法も、情報発信という視点に立てば同じなんです。どういうふうにするかというのは、やっぱりスピード感持ってというのは非常に重要なんです。特にこういう問題が起こったときは、知ったことは全て明らかにしていく。全て情報、何も隠してませんよ、聞かれたことを答えますよということにしておかないと、どんどん疑われるんです。まだ何か隠してるんじゃないかと。僕まだ疑ってるのが、心配してるのが、稲敷市に持ってった35本ですよ。これもともと試験、実施試験ていいんですけど、やっぱり契約書はないということを福岡議員の質問でわかりましたけど、ほんまですか。普通、どういう試験をしたいから。町長言っていましたよね。技術を世界にアピールするって。もうその時点で僕、疑ってますけどね。ダイオキシンなんて今、どこでも処理できるのに、ある程度の設備があれば処理できるのに、それをもって世界に技術を、どんな技術があるのかなっていうふうに思ってしまうんですけど、その試験をしたいというふうに持ってきた依頼書なんかはあるわけでしょう。それはあるって言っていましたよ。それすぐ出してくださいよ。出せる

情報はすぐ出してきたって言うてるんですから。まだ見てませんよ。大分前の全協か議員総会で僕、お願いしましたよ。その試験の概要、どういう試験をしたいからって言うのを。それと試験結果。もう3月に処理をしたと言われてるんだから、当然試験結果は出てないとおかしいし。これだけの問題になってるんだったら行けばいい。現地に行って、くださいと。データだけでも持ってきたらいいじゃないですか。なぜそういうことをしないんですか。ここで待ってたって何も解決せえへんのですよ。それお答えください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

試験結果については、これは当然早急に欲しいということで、今、事業者と直接話をしていてここでございまして、それについては今も要求をしてるところでございます。

以上でございます。

（発言する者あり）

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

答弁してください。試験に、最初にね、結果、試験をする前にこういう試験をしたんだって言うことは持って言われるわけでしょう。それである程度判断するわけでしょう。この施設でこういう設備だったら処理をしても大丈夫だなと。そうじゃないと、何も知らないのに一応特管の廃棄物を渡すわけにいかないでしょう。ある程度排出者の責任として、どういうところでどういう試験をするかっていうのは把握してるでしょう。だからそこを出してくれと言ってらるんです。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

試験概要については、前から申してますようにございます。ですからそこにはそういった話、どういった形で実験をするのか、そういったことについては書かれております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

暫時休憩します。

（午前11時13分 休憩）

（午前11時13分 再開）

○議長（福岡邦彬君）

ここで皆さんにお聞きします。この実験データあるということですので。

（発言する者あり）

○議長（福岡邦彬君）

試験概要についてあるということなんで、それと合わせて試験の結果についてもまだ随分おくられていると思いますので、大阪市のこの間の試験の、どのような試験をしたかされたけど、1カ月もかからんとやっておられるというような事実見ておたらね、本当かなという感じしますので、その二つ合わせて資料請求したいと思っておりますけどいかがですか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

異議なしですか。それでは、田中町長、内田総務部長、7月7日以降責任持ってやられてると思いますので出していただくように、この一般質問の終了までに出していただくようにお願いします。

次に、永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

いろいろなところで、組合とか、百条があるからとか、事件が明らかになってから

でも言うんですよ。それまでは、百条があるからじゃなくて、これは組合のことだから。勘違いされてるかもしれませんが、未来のことを決めるのであれば、当然、未来のこと、方針とか方向性ですよ。それを決めるのであれば別組織だからそこにいくことは、そこに影響を与えるような議論はしたらあきませんよ。でも我々が聞いているのは、もう起こった過去のことを聞いているんです。どういうことをされたか。それは最低限こちら負担金を払ってるわけですよ、組合側に。負担金を払ってる以上、ちゃんと適切に金額が使われたのかというのは、百条とか施設組合関係なくこっちで把握せなあかんのですよ。わかります。だからこんなところでこういう質問に、向こうにも相談してみますとか、そういう発言は理解おかしいと思いますよ。

それともう1点、この現状に至ってはいろいろな場面を使って真実を明らかにするっていう姿勢が大切じゃないですか。そうじゃないとずっとこの問題、次、施設組合で何かあるまで待つんですか。いろいろな場面を通じて謝罪して、こうでした、こうでした、こういうことわかりましたって、積極的に情報を出すっていうことをしていないと、ずっと不審がられますよ。もうぜひとも今の資料、早急に出していただきたいと思います。

それとこの35本ね。町長は3月31日までに処理をしたとおっしゃられましたよね。メールで皆さんに3行ほどで送られました。でも先日、橋本議員が稲敷の議員のブログから、4月2日に搬入、研究所の所長立ち会いのもと搬入されて5月に試験をしたみたいなのが書かれてました。それ臨時会で質問しましたよね。それで期間が何時間かあいたけど、その間にも確認したらどうですかって言われたけどしてません

でした。今はさすがに確認してると思いますんで、その事実関係についてお聞かせいただけますか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

まずはその3月末までにとということでは、一定その実験、実験というか、そこ仲業者から、実験を依頼した業者から終わったというふうな報告は受けておりました。ただ、そんなこともあって、私どもは報告させていただいたとこでございませけれども、その後、直接話を聞いたところ、どうも残念ながら3月末にはできていなかった。ただ、処理については終わっているということはわかったんですけれども、ただ、今、実験のデータと合わせてその詳細については、今、データと合わせて取り寄せようとしているとこでございませ。

以上でございませ。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

それいつわかったんですか。処理できなかった、3月30、それも普通なら、本当に処理できたか、試験、本当にその地域の環境が大丈夫だったか、試験がちゃんと適切に行われたぐらい気になりませんか。もう全部丸投げして、言葉も、処理終わりました、ああそうですか、で終わったんですか。そりゃだまされませうって。みずからだまされに行ってるんですもん。カモがネギしょってやってきたようなもんじゃないですか。それがわかったのはいつですか。その違うというのは、つい先日ですか。お答えください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

済みません。それについては最近ということでございまして。申しわけございません。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

要は、この間の指摘を受けてということですか。それやったら本当、情けないですよ。だって向こうでも、稲敷のほうにも問い合わせをしてたら、その委員会なりで報告をされていることですよ。そうしたら、話をしたら、そこら辺はすぐに把握できること。ということは、今のでわかったことは、3月からこの間の8月の臨時会が行われるまで、稲敷市の自治体とも話してないし、その業者とも一切連絡をとってない。とってなかったということになりますよ。そうでしょう。常にその間、試験は求めてきたんでしょ。試験結果を出してくれて求めてきたけども、そういった話と矛盾することになりませんか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

稲敷とは、それはもう話は、稲敷とか業者とか、そこは直接話はずっとしてきたところでございます。ただ、我々一番やっぱり気にしてましたのは、実験のデータがいつ出るのかといったところで、処理は終わったというのは、それは過去に聞いておりましたしもらっていたので、我々一番注目するのは、今後その実験のデータ、いつ出るのかどうかということに着目して、そちらに意識が向いていたところとところでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

だから今の答弁を見ても、やめなあきませんって、あんた。だってそこで問題が起こったときに全体を見れないんだもん。そのときにそこばかり注目いってこっちのほう忘れてましたって、今おっしゃられましたやん。そういう状況やったら進まないって。だって稲敷のほうに、そこで試験データがこんだけ時間かかっているって何かおかしいと思いませんか。あなた1市3町の国崎の副管理者でもありますよね。ダイオキシン測定してますよね。1カ月で結果出ますよね。それでこの間大阪府に出した廃棄物のも2週間ほどで出ましたよね。それと比較して、いまだに試験結果が出ない。どう思われますか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

過去にも、実験で依頼していたもの、依頼というか実験データを提供して実証のデータをいただいたというものもございまして、それでもそのやはり6カ月とか7カ月とかかかっているものもございましたので、そういった意味では一定時間はかかるものではあるなという認識はしております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

今、そんなん言ってる場合じゃないっていうのはわかりませんか。やっぱりあかんわ。だって、それは普通の、過去っていうのはそれ普通のとときでしょう。過去におい

てこうだったということは。過去においても時間がかかった。でも今そういう状況じゃないでしょう。今、日本全国が、特に近畿の方は注目してますよ。じゃあ残りの高濃度のものはちゃんと処理されたのと。今まで実験において出されてたのはドラム缶1本程度だったのに、今回35本も持ってってそれが試験って。じゃあ稲敷の研究所の話では、ダイオキシンとは知らなかった、豊能町とは知らなかったとかいう答弁もありますしね。そこはきちんと事実を早急に確認せんと。すぐに行けへんのですか、研究所のほうに。行って、資料をくださいと。測定してるんですよと。生データでもいいからくださいと。まとめなくていいじゃないですか。言えませんか。それ言わないと。お聞かせください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

資料提供については、実験データ、それについては今現在求めているところがございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

だから、行ってとりにいくかどうか。ここまで引っ張られたら、そこをずっと言われてるんですよ。嫌でしょう、あなたも。それさえ渡したら皆納得するんだから。試験概要と試験結果を出して、安全に処理できてたって言ったら、多くの方は納得しますよ。でもそれも出したほうがいいじゃないですか。何でそこでまた隠す。また何かあるって思われるんですよ。

そうしたらもう1点。2月16日に三池製錬から関西環境建設に運んだんですよ。

どうして環境の会社ってこんなに名前が似てるのかな。関西環境建設に運びましたよね。そうしたらその足で、実証実験の35本は稲敷の日本環境保全株式会社か。その中にコーリンって入ってますからね。先ほど、ではないって言ってましたけど。そこもまた確認しますけど。そこに持ってったんですよ、2月16日に。そうしたら、なぜか神戸から茨城県に行くのに4月2日に搬入されたということやと1カ月以上ブランクありますよね。それどういうふう把握されてるんですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

私ども、そのあたりは試料提供したところに任せていたといったところでございます。これで実証実験をしたいということでございましたので、我々は試料を渡したところでございます。ただ、どうもその間、後で聴取してみますと、仲介業者の倉庫にしばらくあったというふうなことは聞いております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

それはどこですか。どこにどのくらいの期間置かれてたんですか。それは聞けるでしょう。わかっているでしょう。もうそこに仲介業者に任せてたっていう時点で本当に無責任だと思いますよ。だって一応、あの部分は高濃度のダイオキシンですよ。高濃度と言われる。それを渡したら、ちゃんと届きましたか。ちゃんと届いてますか。宅急便でも一緒ですよ。大事なものはちゃんと届いたかどうかの確認しますよ。そうしたら、届いたかどうかの確認もせず、今、

明らかになったらその仲介業者のところの倉庫にありました。普通の神経じゃないですよ。どのくらいどこに保管されてたかお聞かせください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

これにつきましては、私どもはあくまでも試料提供を求められて試料を提供したといたったところございまして、そのちょっと伝聞でそういう話は聞きましたけれども、一旦は我々、一旦試料提供をし、それを実験試料ということでやられたということで、ちょっと詳しい話については存じ上げません。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

本当何で当事者が詳しい話について知りませんで、それを言えるかどうかという、その感覚が理解できないんですよ。あなたと話していると進まんですよ。僕、言ってることって、普通、ごくごく当たり前のこと。前から言ってますよね。そういうやり方をして明らかになったら絶対大問題になるよって。3月のときも指摘しましたよね。結果どうですか。大問題になりましたよね。どっちが正しかったんですか。私でしょう。こちら側でしょう。だから私たちが言ってることはごくごく普通のことなんです。でもそのことに耳かたむけて動いてくれない。普通のとおり、これから粛々と、真摯に、最終の決着つくまで動いていかないと絶対解決せえへんのですよ。あなたみたいにいまだに、いやこれは手渡し、依頼を受けて渡しただけなのでどうなったか知りませんか、そんなん言ってる場合

じゃないでしょう。どう思われますか。それで本当に、私がいたほうがリーダーシップをすごい発揮できて進めるって思いませんか。お聞かせください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

やはりこれは中心になって進めていきたいというふうに思っておりますので、私は今は最終的に、最終を目指して仮置き、次のところの置き場を目指して今、進めていきたいと思っております。ですから、繰り返しになりますけれども、私は私自身進める必要があると思っておりますし、そういったことについては、もし進めづらいというふうに内部からあるのであれば、それは真摯に受けとめたいと思っております。私はそういった意味では最終的に責任を果たしていきたいというふうに思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

本当、あなたの神経は本当すごいなと思いますよ。本当にどうしてそこまで周りの言うことに耳を傾けないのか。指摘してきたとおりになったのどっちですか。実際になりましたよね。大問題になりましたよね。こんだけの騒ぎになってるんですよ。これから、あなたが行ったことを何でマスコミが追及するか、これだけ報道が減ってきたのに。あなたがグレーなことをするからですよ。法的にまずいと思ってること。ほかの自治体から理解されないことをしてるからこれだけ報道されるんですよ。普通にしたら何の、みんなが飛びつくような内容じゃないんですよ。それをしてるって

う自覚を持ったら、僕は正直その椅子には座ってられないっていうのが普通の感覚かと思えますよ。

それでは続きましての質問にいきます。

ふるさと納税についてです。現状についてお聞かせいただきたい。毎年ふえているかどうかということなんですけども、正直この問題発生してから豊能町、え、そんなところに寄附したくないわっていう人がこれからふえてくるかと思うんですけども、今の現状をまずお聞かせください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

内田部長。

○総務部長（内田 敬君）

ふるさと納税の現状ということでございます。8月17日現在でございますけども、今年度の寄附の総件数は65件となっております。寄附の金額は100万円と、こうなっております。ちなみにこれを昨年度の同時期と比べますと、件数では74件の減、それから金額では110万円の減ということで、昨年度比でほぼ半減ということになってございます。

それから近年の状況でございますが、20年度から始めておるわけでございますが、最初は数十万円程度で推移をしておりましたが、24年度に初めて100万円を超えたわけでございます。それからは25年度に700万円強、26年度に800、およそ900万円弱、27年度が1,250万円程度ということでふえ続けております。ただ、26年度と27年度につきましては、それぞれ右近の記念事業についてのふるさと寄附もございましたので、それを除きますと26年度は700万円程度、27年度は900万円程度というふうになるものでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

減になってる対策ですよ。それをどうとられていくのか。要は大体こういうものって飽きられるんですよ。よっぽど得るとか、マスコミにも取り上げられるような、これでこんだけのものがあるんだみたいなものがない限り、1回とって、ああそうかと。減っているということはそこをすぐ受けとめないといけない。商品に飽きられたっていう側面もあるわけですからね。そうしたらその商品というのはどんどん刷新していかないとはいけませんけども、そこら辺はどうお考えですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

内田総務部長。

○総務部長（内田 敬君）

減ってきている原因、それはもう、今、議員のおっしゃったとおりで、お礼の品に独自性とかそういう特色が余りないのかなというふうには思っております。例えばお肉にしましても、お肉でしたら全国に有名なお肉がたくさんあって、そのグラム数を寄附する方は比べたりする、そういう特集した本なんかもあるというふうには聞いておまして、そういう寄附をするという目的が、要するにお礼の品をもらうということを目的になさっておることからそういう現象が起きていると。そういうところに競り負けているというふうには思っておりまして、これらを解決するためには、さらに特色あるお礼の品を用意すると。また魅力のあるお礼の品を用意するというのも必要でございますし、PRも同時にしていくということも必要であろうということから、今後につきましてはその事業の拡大ということで、9月末をめぐりましてお

りますけども、3月の議会でお認めいただきました、寄附業務を請け負ってくれる業者に委託をいたしまして、それらのこともあわせてやっていきたいというふうに思っております。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

やっぱり多分豊能町のような名産少ないところでは限界がくるんだろうなというのは予測できます。できたと思いますよ。だから以前から、こういうソフト的なことに手を出してはと。もうその、物を返すんじゃないくて、豊能町に来たらこんな体験ができるよとか。例えば豊能町、寄附して、何人かで寄附してくれたら格安で豊能町内のバスツアーを渡してもいいわけですよ。バスも貸し出して。それで運転手を豊能町の運転手で、それを何十万かの寄附で行ってもいいわけですよ。豊能町をバスで回してもらおう。それでいろいろなところで食べてもらおう。そういったプランをつくってもいいと思う。それでもっとそこは自分たちで、ほかにはないものをアイデア絞り出さんと。委託、委託ってしてたら、委託業者って基本的にいろいろなこと同じこと言ってますからね。自分たちのまちの魅力は自分たちが一番よく知ってるんだっていう、それは自信を持ってどんどん出してってもらいたい。物じゃなくてそういうソフトに切りかえていかないとしんどいと思いますよ。

それともう1点は、ユーベルの寄附ですよ。高山で寄附ができたんだから、以前から橋本議員も質問してますけど、ユーベルでの寄附っていうのがなぜできないのか。文化とかありますよ。項目はありますけど、ユーベル単体で応援、ユーベルはこういう状況ですよ。こういう状況だから応援し

てくださいっていう寄附を募るっていうことはできないのかどうかお聞かせください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

内田総務部長。

○総務部長（内田 敬君）

ふるさと寄附のユーベル枠でございます。これにつきましては、私、以前からその枠をつくることそのものは可能でございますということをお答えをしております。やるとしたら高山右近の記念事業と同じようにお礼の品なしで全額を寄附をしていたらと。寄附された方へのお礼はないというような、こんなやり方がいいんじゃないかということもこの場で申し上げてきたところでございます。そういうこともありまして、教育委員会にそういう話もしておるわけでございますけども、まずは教育委員会においてそういうユーベル枠だけで、お礼の品なしでやってみて、いいのかどうかということをまず判断していただいた上で、町全体で政策会議とか部長会で枠をつくるかどうか決めるんですが、そういうところに諮っていききたいと、このように考えております。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

板倉教育次長。

○教育次長（板倉 忠君）

以前この一般質問の中で、その文化スポーツのふるさと納税の項目というのを創設してはどうかという中でそれを実現しました。ただ、今回、ユーベルとなりますと、文化というところにかぶるところがございまして、その中身についてユーベルという限定したふるさと納税になるのかなと思っております。ただ、ユーベルのふるさと納税の活用ということを考えましたときに、その金額によりましてさまざまな活用の仕方

があるのかなということ、今現在検討しております、それにつきまして十分検討して、また町部局と協議してまいりたいと考えております。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

検討ばかりなんです。忘れてはいけないのは6年前かな。ユーベルに廃館の危機があったわけですね。存続させてるのはさしてるわけですから、抜本的に見直さない。別に商品なし、なしじゃなくてもいいと思いますよ。ユーベルの公演のチケットを配ったらいいんですよ。寄附してくれた方には無料で何枚かの講演ただで見れますよみたいなのも十分な、1回の公演3,000円ぐらいするわけですから、お礼の品だと思いますよ。それで見にきてもらって、見にきてもらったらいいいと思いますよ。そういったことは、検討ばかりじゃなくて早急にしないと。

それでこのままユーベルの質問に入りますけど、結局、田中町長がユーベルの存続を言って大規模改修を上げましたけど、実際のところは3分の1だけの改修に終わってますよね。残りは財政健全化推進プランもでき上がったことから、30年ぐらいまで棚上げということになってますけども、どうするんですか。本当に30年たったら残りの8,000万円近い改修の費用というのは出していくんですか。お答えください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

板倉教育次長。

○教育次長（板倉 忠君）

現在、教育委員会がああ現状の財政の中で、今、第一義としておりますのは、住民の方への活動の場の提供ということを考えております。その中で、次にすぐれた芸術

文化、若干ですけども自主事業としてさせていただきたいというところが現状の状況でございます。

今後のことなんですけれども、今後は、先ほど言われましたように、とりあえず大規模改修については財政健全化のもと、とまっているという状況で教育委員会は思っております、もしその、そういう財政健全化プランが終了するとなったときには、教育委員会としましてはユーベルの改修を進めていただきたいというふうに要望してまいりたいと思っております。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

多分現実的に難しいと思いますよ。そのころさらに、健全化どころか今回のダイオキシンの問題も含めるとさらに悪化している可能性のほうが高いですからね。そうしたらそれを、だって総務部長は以前の答弁でも、壊れたところは直すみたいな感じの答弁もされてますからね。その時点で認識違うと思うんですよね。それをじゃあ財政健全化の担当部である内田部長に、金庫の見張り番のような内田部長に納得してもらうためには、ユーベルの効果が、費用対効果、金額だけではこうだけでも、ほかに健康面で文化に触れ合うことでこうですか、モニターの人を見て、そういう文化に触れ合ってる人がこれだけ病気にかかりにくいとかデータをとったりとか、子どもたちに伝統文化に触れ合ってもらおうことがこういうふうにいいことにつながるよとか、そういったいろいろなデータを用意しとかないと、今みたいな次長のように、ただ、とまってると思っておりますんでお願いしていきたいと、そんなんじゃ絶対通りませんよ。そういったことを早急にして、それで抜本的にユーベルの運営の方法も見直してい

ないと。そういうことをしてようやく、僕は、改修なりそれなりの手を入れる予算がついてくるのかなと思いますよ。これも以前言ったことですよ。だからぜひとも、これからっていうのを、いつもこれからこれからって、何かこれからっていうとあしたからするのかなと思ったら、何か月か、1年ぐらいたってもまだこれからって言うから。このことはぜひともいろいろな効果を出して行ってくださいよ。教育委員会だけでなく福祉とも連携して、いろいろな、今言ったことをやってくてくださいよ。どうですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

板倉教育次長。

○教育次長（板倉 忠君）

現状、先ほども申し上げましたように、やはり町民の方々の文化の発表の場であるとか、そういう活動の場であるというふうに教育委員会としては捉えております。ですからそのように十分皆さんに使っていただけるような、修理だけという話ありますけれども、ユーベルの維持管理に努めております。その中でやはり教育委員会として、文化のモチベーションの向上という方向がございまして、そういう部分では予算の中でできる限りのさまざまな自主事業を進めてまいりたいと思っております。

今後につきましても、今言われましたように、財政の状況が急に変わるのかという部分はありますので、今言いました方向性については、教育委員会としては進めてまいりたい。今の方向でというふうに思っております。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

済みません。今の方向でというのは、今、

私が言ったことじゃなくて、今までの従来の方法でということですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

板倉教育次長。

○教育次長（板倉 忠君）

今、住民の方の活動の場の提供というのを第一に考えたいというのが1点と、予算の範囲の中で住民さんに文化の提供が、さまざまな分野においてしていきたいという2点でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

だからそこに、いろいろな面の効果を、数値をもってデータでくっつけていかないと。その、ただ提供してます。満足してますとか、使ってよかったですかって、そんなアンケートじゃ通用せえへんのですよ。年間ほっといたって3,600万円かかるんですよ。自主事業での赤字なんて大したことないですよ。もう開けてるだけで3,600万円かかっていくんですから。そうしたら、これを本当に存続していくのであれば、全庁的に一回話し合って、町民の方も踏まえて、こっだけ健康面でいいですよとか、文化がなくなるというのはこういうことですとか、そういった動きをとらなかつたら、僕は、存続する気ないんやなっていう判断になりますよ。だから、今みたいな同じことを繰り返すんじゃなくて、ちゃんと言われた、いろいろな効果、文化があることによる効果をひねり出していかないと。そういうことはされませんか。そこをお聞かせください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

石塚教育長。

○教育長（石塚謙二君）

ユーベルホール、文化の象徴として本町にあると思ってまして、いろいろな形で年間2万人の方が活用していただいております。それをなくす方向では本町としても教育委員会としても考えてないというのがまずはお答えであります。

それから、その大規模改修については、先送りをするということが町としての方針になっているというふうに理解しております。よって、それについては今、永並議員が大変心配していただきまして、きちんとしたデータを出さなければ予算が出ないんじゃないかという御心配がありましたので、それは丁寧にお聞きしたいと思いますけれども、先送りというような方向で、今、約束事としてあるというふうに考えておりますので、それは前提といたしまして、今、永並議員がおっしゃった、その文化のさらなる盛り上がりといいますか、あるいはその効果でありますとか、それから自主事業のどうするかとか、さまざまなことに関して、当然これは今の御意見も踏まえながら今後検討していくことになるんだろうと思います。先送りという方向ということをお前提にしながら、今後その仕組みだとか全体の構造、取り組み、事業等の構造などについて検討をしていくというような答弁として受けとめてもらえればありがたいと思います。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

よく総数言われるんですよ。公民館でもユーベルでもね。年間何万人って。でも廃館論を言う人は使っていないんですよ。使っている人は何回も通う、使う。使っていない人にとっては、それで、じゃあ自分たちのサービスが減っていくと、じゃあそこをどうにかしたらいいんじゃないかっていう声が

絶対出てくる。そこを危機意識持って。だって30年先送りしたんだからその間に、普通に先送りだから認められるなんて感覚を持ってたらあかんと思いますよ。そうしたらそのためには、絶対その間に何が何でも、教育委員会の立場だったらですよ。ユーベルを住民の中に必要不可欠なものだと、そういう位置づけに押し上げておかないと、それは財政健全化プラン立ててる総務部からしたら、いやこれくらいの、余り変化ないな。そうしたらまたどうしようかなっていうふうな議論になって当然だと思いますよ。もっとそこは必死こいてやらんとあかんと思いますよ。そこはもう、前も言ってますから。ぜひともいろいろな、誰もがわかる効果というのを数値であらわして、いろいろなところを、文化による効果ですよ。それを含めてユーベルの、豊能町全体でユーベルの位置づけというものを確立できるように。僕それできなかつたら廃館論出てきても仕方ないかなっていうふうに考えてますんで、ぜひともそれをつくってください。もう文化の方針というものはもう常に言っていることですから、もう耳が痛くなる話だと思うんで言いませんけども、ぜひともよろしくお願いします。

それで続きまして、6月でも質問しましたけども、野間口スポーツセンターについてですね。現状と、入札なかったときに条件を変えて再入札を図るのかお聞かせください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

板倉教育次長。

○教育次長（板倉 忠君）

現在、それにつきましては手続を進めているところでございますが、説明会を行いました。そこに1カ所の団体の参加がありました。ただ、現状、今から9月になりま

すと応募をしていくわけですが、なかなか難しいかなということは教育委員会としては思っております。

今後なんですけれども、もしなかった場合には、再度、やはりその野間口のスポーツセンターを活用されている方に再度お声がけをして、どういう条件なら、どういうことなら自主運営を御協力いただけるかという話し合いをもう一回持ちたいと思います。それもでも、いつも申し上げてますように、野間口にかかっている経費というのは本当にわずかなものでして、それを財政健全化で削減せよということなので、本当に使っていただける方にとって本当に、なるほどそこまでかというふうな条件の変更というのは難しいかなということを私自身では思っております。ただ、もしなかった場合にはもう一度、再度、使われている団体の方とお話をさせていただけたらと思っております。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

原課の立場だと、存続を、存続ありきで、どうしたら存続できるのか、どうしたら利用者に迷惑をかけないかっていう立場で動いてもらわないとあかんと思いますよ。永寿荘のほうは話し合ってますよね、何回も。本来ならとうに廃止の年度を過ぎてますけれども、何回も老人会といろいろ、どうしたらできるかという話し合いを繰り返してますよね。教育委員会もやっぱりそこは繰り返して、どういう条件であれば、そういうのをぜひともしていただきたい。そして、やはり最初から、軌道に乗るまで全部そちらの負担だというのは、やはり酷だと思いますよ。ある程度、最初はこのくらいだけ何年間のうちに軌道に乗せてくださいね。乗せたら全部みてくださいねみたいなこと

じゃないと。やっぱりそうして、そういうような条件をいろいろ詰めていただかないと、なかなか存続していくことって難しいと思うんで、ぜひともそこはよろしく願います。

それでやっぱり、これ以前質問して、広報に28年度廃止って書いてるのが、教育長はおかしくないと言われたんですよ。僕いろいろな人聞きましたよ。ここに書いてるけどこっちは応募しているよ。やっぱりみんなおかしいって言うんですよ。やっぱりそれをね。例えば応募しようとする人がそれを見たときに、あ、廃止するんだ。どっちが正しいのってなるわけですよ。やはりそこはきちんと情報は整理して、廃止だけでも、の予定があるけれども、教育委員会としては廃止しないように、今いろいろ当たっていますからっていうことを書くとか、そういったように情報の出し方ですよね。これもまた情報発信にかかってくるんですよ。そういったところも気をつけて、僕は修正してもう一度出し直してということが必要だと思いますけども、そこはいかがですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

板倉教育次長。

○教育次長（板倉 忠君）

私としましては、そのときの町報というのは町の財政健全化プランを出された、住民の皆さんにお示しされたというふうに思っております。ただ、教育委員会も同じ条件のもとで野間口の青少年スポーツセンターを捉えておまして、ただ、今、議員のおっしゃられたとおり、住民の方が活用されているという現実ございますので、それをいうたら変更できる方法ということで自主運営というのを考えました。今後、存続できるというか、使っていただける住民の

方の施設になるような取り組みを教育委員会としてしなければならないということで現在進めているところでございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

やっぱり情報の出し方について甘いと思いますよ。そんなん総務が財政健全化の一環から出しましたって、それ見てる人通用しないですよ。出てるんだから。広報っていろんな人が見るんだから。そこに廃止って書いてあったら、あ、廃止なんだと思っちゃいますよ。やっぱりそこは総務、健全化のことを載せてるから関係ないみたいなスタンスは僕はいかがなものかと思いますよ。やはりそこは修正して、再度情報を出し直して、それでそういう説明が要ると思いますよ。それでほかにも、ここを利用している人って町内だけですか。町外の団体っていませんか。そして町外の団体がいたら、そういった方にどういった広報をされているのか。この施設って使ってくださいありがとうございます。でもこれ28年度で閉めるんですよなんてことは言ってないですよ。だからその確認をさせてください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

板倉教育次長。

○教育次長（板倉 忠君）

町外の方で使われている方というのはスポーツグラウンドですかね、を少年野球等で使われているということはございます。ただ、教育委員会として中心に置いているのは町民の方へのサービスでございます。ですからその部分を第一義に置いておりますので、他市町から来られている方で、財政的な効果があるのではないかとかいろいろなことを思われるかもしれませんが、余り

そういう効果は期待できるものではないと思っております、それよりも、財政的な面ではなく町民の方のスポーツの場であるというふうに考えておりますので、そういう部分での検討を進めております。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

もう今の時代に町民の方とか。実際教育委員会が所管してるシートスってどうなってますか。町内だけの方じゃなく町外からも来て必死でお客を集めてますよね。そういう動きしてますよね。それが普通なんですよ。あるから町民の方だけみたいな感じじゃなくて、町外の方も利用してるんなら、そういう団体が定期的に利用してるんだったら、そういうところに正確な情報を伝えないと。間違って広報に載ってるとか、人のうわさで、28年度にあそこ閉めるんやでみたいなことが流れると、団体の場所とりってすごく大変なんですよね。すぐに場所がこう決まるということもないわけですから、何か月も前からこういう場所どうかなって探すわけですよ。それがひとり歩きしていくと、そういった利用者も減る可能性がある。だからもっと情報の出し方というのは、町民、町内外じゃなく利用者全般として考えて発信していくという姿勢を一貫してとらないとあかんと思いますよ。どうお考えですか。シートスで一個やってますからね。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

板倉教育次長。

○教育次長（板倉 忠君）

野間口の青少年グラウンドにつきまして、町外も含めて考えて改善をしていくべきではないかということなんです、教育委員会としましては町民の方が使われてる

ということが一番大きいと思っておりますので、確かにスポーツグラウンド使われておるんですけれども、それほど教育委員会としては重視していませんので、町の方が、団体の方が使える場として進めていけたらなというふうに思っております。なかなか御答弁が難しいとこなんですけども。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

いや、そこはもっと民間を見習ったらいと思えますよ。シートスで指定管理にして、僕は町から東京ドームさんのほうに委託して、利用者もふえ、金額も安くなった。僕はそこだけ、それを見て、そういった東京ドームの運営の仕方を見て、やっぱりそれを町もまねせんと。どうやってふやしたんかな。どうしたらふやせるんかなって。そういった動きが本当見えてこないんですよ。あるから、町の施設のあり方って、あるから使わしたる。それだけなんです。減ったものをどうやって呼んでくるかとか、さらに今以上にふやすとか、どう改善したらいろいろな人に来てもらえるかっていう、そういう視点が非常に欠けてると思えますよ。ぜひともそこは積極的に、正しい情報を流して、町内町外関係ないですよ。利用してくれてる方はありがたいお客さんですよ。そういった意識で取り組まないと、町民だからとかそういったことを言ったら多分時代錯誤だと思いますよ。ほかの町へ行って町外ですからなんて断られたことって、僕、余り聞いたことがないんですよ。町内だろうが利用者にはこういう情報は的確に伝える。別にそんなに手間なことじゃないですよ。今こうなってますっていうことをチラシでも使ってこういう案内を出すでもいいですし、そこで間違った情報が出ないように私は広報のところは修正して、

教育委員会として出すべきじゃないですかって言うてるんで、そこはぜひとも検討してください。

次に、石塚教育長になられて、予算書にもシームレスという言葉が使われるようになったんですよ。それで私としてはその言葉が永遠に豊能町で使われていく、教育委員会の方向性として使っていくということであればいいんですよ。でもそれが違うんであれば、僕はすぐ、その言葉っていうのは来年度からはもう使わないでいただきたいと思ってるんですよ。というのは、私もここで質問しました。質問しないとすぐわからんことばなんですよ。という、我々もわからないということは、予算書を見て、保護者の方とかが、シームレスいうたらシームレスというのはこういう言葉って、一回ワンクッション要るわけですよ、理解してもらうのに。やっぱりそれはね。以前、石塚教育長は私がそのことを指摘したら、やゆしてます、言われてますとか言われてましたけど、やっぱりそこは違うと思うんですよ。豊能町もそれなりに何十年教育をしてきた。そういう言葉なしにちゃんと教育をしてきた。そこをもうちょっと敬意払っていただきたい。それでそういった、突発的に造語みたいな言葉をそこに無理からほうり込むというのはいかがかと思うんですよ。だからぜひとも、来年度に至ってはその言葉っていうのは使わないでいただきたいと思います。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

石塚教育長。

○教育長（石塚謙二君）

本町の教育に敬意を払ってないなんていうことはちっとも思っておりません。いい教育がなされてると思えますし、丁寧でつながった教育がなされていると思えます。

なお、シームレスという言葉を使ったのは、より一層、保幼小中一貫教育、つながった教育がなされていくようにということで象徴的に使っておりました。その言葉がわかりづらい、そして違う概念が感じられるということであれば、それは考えなくちゃいけませんし、こういうような口語の状態、口語っておかしいんですが、この場ではシームレスというようなことを言うておりますが、文章にするときには保幼小中一貫教育を進めるとか、つながった教育を行うとか、それから豊能町の教育大綱がこれらできてくると思いますけれども、恐らくシームレスという意味で違う言葉遣いがなされると思います。これは言いわけではありませんが、シームレスというのは比較的、私とすると使われている用語というふうに判断、考えていたところもありましたもので、容易に使ったのが申しわけなかったなと思いますけれども、今後そのシームレスという本当の中身について文章表現等々、きちっと工夫していくことが必要であるということは思っております。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

やっぱり今まで国から矢加部教育長、小川教育長来ていただいていますけども、そういったことはなかったんですよ。やはり僕、言葉を聞いたのって初めてなんです。やっぱりそこはもっとわかりやすい言葉、ほかにもいろいろな言葉があるわけですから、小中一貫、保幼小中一貫教育という意味で言葉あるわけですから、もっとそこは丁寧にしていただきたいなというふうに思います。

それでそのまま、小中、保幼小中のことが出ましたんで、小中一貫教育のことに入りますけども、これも町政全般と両方の面

に入ってるんですが、まず先日出された小中一貫の冊子ですよ。これが本当に何度見ても非常に残念で仕方ありません。22年度に出されたの、これ30ページにもわたるんですよ。それが今回27年度に出されたのは数ページ。それで中身についてもやっぱり軽い。やっぱり繰り返し、もし同じことをするんだったら、もっと内容を濃くして、これ以上に深めていくということをしてないといけないというのは、僕は一つ、非常に残念で仕方ないんですね。それで、今後教育委員会は、この今回出された、27年度に出された答申の中には配置のパターンまで出しているんですよ、最後のページにね。どこまでのことを決めていかれるのか。例えばどこどこで小中一貫教育をするとか、どこの場所に集めるとか、そういったところまで入っていくのかということをお聞かせください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

板倉教育次長。

○教育次長（板倉 忠君）

教育委員会から26年度に出されました方向性の中では、西東それぞれに1小1中という形が子どもたちの学習する環境としていいのではないかとこのところまで述べさせていただいております。それはなぜかといいますと、小中一貫教育というのは形ではなくて、子どもたちの15年間の教育をつなげて豊能町として全体として方向を持って考えていきたいという、今、言っております保幼小中一貫教育という理念のもとに進めているものでございまして、私たちの範囲の中では、やはりその子どもたちの教育の中身を、今言った町のビジョンをつくって、15年間の子どもの学びの方向性をつくっていきたいなと思っております。その中で、やはり子どもたちが学ぶ環境に

つきましても、このほうがいいのではないかと、この形のほうがより近いほうがいいのではないかということがあれば、それにつきましては町部局等とも協議をしてみたいと考えております。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

では教育委員会が決めるのは小学校1個、中学校1個というところまでですね。具体的に場所とかまでは決めないということではよろしいですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

板倉教育次長。

○教育次長（板倉 忠君）

教育環境といいましたときに、子どものいわゆる全人格的な成長を考えます。その中でいきますと、子どもの通学のこともやはり必要なことかと思えます。また、その中でどういう地域の場所に子どもたちがいるかというのもとても教育的な意味合いでは大切なことというふうに考えておりますので、子どもたちの教育の中身という点については、場所も、もしそういう協議の場があるのであれば教育委員会としてはお考えを示していきたいなと思っております。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

いや、僕はそこまでは、教育委員会の役割はどういった教育が理想的なのか、そういったところを示すのであって、そこから先の、どこの場所でそれを実現するかは僕はまちづくりのほうだと思ってるんですね。それはなぜかという、これは町政全般にも質問してますけども、跡地利用の話に非常に重要にかかわってくるからなんです。単純に考えると吉川中学校に集めるという

発想があるかもしれません。真ん中ですからね。でも吉中の場所というのは西地域の中心でもあるし、前にオアシスがありショッピング街があるし支所もあるしということで、そういった中心の場所にあるんですよ。そこに学校を持っていくほうがいいのか、それとも教育に関していうとどちらかの東ときわ台や光風台の場所に持ってくる方が教育的にはいいんじゃないかと。周りに商業施設がないですから。さらに吉中のところに持ってくることによって、この間、走ったら子どもがぶつかってどうのこの、これからもどんどん起こってきますよ。そこに人が集まるようになってるんですから、学校の生徒だけじゃなくて。それを考えると子どもたちの教育の場と商業施設のところは切り離すという方法もありかと思うんですね。吉中に集めたとしても実際スクールバスというのは必要になってくるはずなんですよね、1校にした場合は。遠いんですから、新光風台の端っこなんかからいうとね。それを考えると、スクールバスを設けるのであればどこかの東ときわ台か光風台という場所にして、吉中という場所であればもうちょっと商業的な利用のほうを考えた方がいいんじゃないかという思いがあるんでこういうことを言わせてもらってます。それで、そういうことがあれば、例えば場所が狭いから硬式を軟式に変えたなんていう発想もなくなるでしょう。広がったら全然問題ないんだから。僕その時点で本当にそのことを考えると頭、腹立ってくるんですけど、何で伸ばすような教育になれへんのかなと。普通なら、もしかしたら先進的なところなら、すごい記録出す子がいるよと。そうしたらその子のための何かつくってもいいじゃないですか。その子が後々オリンピックの選手になって豊能町出身ですって、これだけで経済効果どんだけ

かはかり知れないわけですよ。それをあろうことか、何か硬式は飛び過ぎるから近所に迷惑かけるから硬式やめて軟式にしましたなんていう、僕その発想でもう全く理解できませんのですよ。だからそういったことも、もし端っこに、東ときわ台か光風台の場所に移したらそういうことが解消されるんじゃないかと思ってるんです。そうしたらそこで重要になってくるのが、今現在その跡地利用ということをごまかして考えているのか。以前は教育委員会がそのプランを出したら考えますでしたけど、現在の段階で決まったらちょっと教えていただけますか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

内田総務部長。

○総務部長（内田 敬君）

学校の再配置については、今おっしゃったとおりまだ決まっていないという段階でございますので、その学校の跡地利用については具体的に検討は行っていない段階でございます。おっしゃったとおり、教育委員会のほうで方針を出されたらそれについて検討するとともに、跡地利用についても同時に検討していくということでございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

ぜひともそれは、僕はその再配置、統廃合が決まったときに同時に、僕、示せるようにしていただきたいんですよ。というのが、統廃合進まない一つの原因に地域の方の反対というのがあるんですね。よく言われるのが学校がなくなると地域が寂れるよとか。でもそれを心配、子どもたちが集まらなくなるってすごい懸念が、心配が先に立ってるんですよ。でもそこに、この跡地

はこういうことにして活性化させますよと先にプランがあれば、じゃあそういうことができるんやったらいいよね。そうしたらここ寂れないよねっていうふうになるんで、やはりそこはもうちょっと、教育委員会で考えるのは1中1小のそのプランまで。それでそこからどこでやるかっていうのはもっと積極的にまちづくりのほうがかかわって決めていかないと、僕はなかなか進まないし、豊能町の教育のビジョンというものをなかなかつくっていかない。だからこれがまちづくりのビジョンにつながっていくと思いますんで、ぜひともそこはもっと連携してやっていただきたいと思います、部長いかがですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

内田総務部長。

○総務部長（内田 敬君）

学校の場所につきましては、やっぱり一義的には教育委員会のほうで提案いただくというか検討いただくということになるかと思えます。それについて町としてはハードの整備が町長部局の仕事でございますので、それについて具体的に検討していくと、それとともに跡地利用についても同時に検討を進めると。こういうことで教育委員会とは連携をとりながら進めてまいりたいというふうに思っております。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

僕はここにしか豊能町生きる道ないと思ってるんですよ。豊能町こんな田舎にあるのにまともな土地もないですよ。何かするにしても土地がないから何ともしようがない。唯一あるのが学校という敷地です。それでいずれ統廃合というものは考えなければいけない問題だし、その跡地の利用が、

豊能町をどう生かすも殺すもそのの利用によるのかなと思っているんで、ぜひ、田中町長ではないですけども、次の町長にはそこを真剣に取り組んでいただけたらと思います。

それでその答申の中には保幼小中って書いてますけど、その小中一貫校のことを書いてますけど、小中一貫校のことはすぐできますよね。施設分離型の小中一貫校もいろいろあるわけですから。そういった取り組みというのはすぐにしないんですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

板倉教育次長。

○教育次長（板倉 忠君）

現在、そのすぐにとというのはなかなかできてないんですけども、今年度から昨年度答申受けまして、保幼小中の担当を集めた小中一貫教育推進委員会というのを立ち上げまして、その中では保幼小の連携をより進めるにはどうでしょうか。小小の連携を進めて、町としての子どもの姿というのをやっぱり考えていくということで小小部会をやっっていこうということで進めております。また中中。中中もやはり東西ありますので連携をして、済みません、中学校・中学校の2中学校の連携につきましても中中部会ということで検討して進めたいと。以前からもやっているんですけども、より小中一貫というビジョン、方向を示しましたので進めております。また小中の段差解消という部分での連携というのも進めていきたい。それも委員会を立ち上げて、現在、今年度進めているところでございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

その動きが、僕、本当見えないんですよ。小中一貫校ってもう日本で腐るほど

やっているとあるわけですから、それにもかかわらず答申には、何か豊能町が初めて小中一貫に取り組むような問題点が上がってるんですよね。やっぱりそこは、もう多くのところがやってきたことなんで、もっと積極的にやってみる。施設分離型でやるところがあるわけですから、教師の交流などをもっと積極的にしていくっていうことがすぐできることですから、それをやっていただきたいと思います。

それでこの中で、小中一貫の中で保幼小中って言うてますけども、本当に幼稚園・保育所・こども園は直営でいかれる考えなんですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

板倉教育次長。

○教育次長（板倉 忠君）

現在のところ、議員何人かの方々から、その保幼のかかる財政的な負担というのは質問を受けているところでございます。それも一つ考えるところかなと思っております。もし民営になる、公立のままである、関係なく、豊能町としましては保幼小中一貫教育を進めたいと思っております。例えば民になったとしても、それについての連携を進めるという方向は崩さずにいきたいかなと考えておりますので、民であるとか公であるとかいうのは関係なく進めていきたいと考えております。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

それやと余計ハードル上がると思うんですよ。だって小中はまあ当面誰が見ても町で持ちますよね。でも幼稚園は、どうであろうがしていきたいといっても、その幼稚園を民営化したらその事業者によって方向性って大きく変わりますよね。でもそこで

も、いや組み込むんだみたいなことを言っていると、ますます小中一貫のハードルすら上がっていくと思いますよ。やはりそこはまずは小中一貫をすばっとやってしまう。やってるとこ多いんだから。保幼小中っていうのはなかなかやってるとこも少ないわけですから、その理由は幼稚園を民営化してるところのほうが多いからです。なんで、それをつなげるならよほどの直営じゃないと僕は現実的に無理だと思います。それで直営でやった場合と、6月議会で野村議員が質問してましたね。約2億円ぐらい毎年、2億6,000万円ぐらいか。町の負担がかかってくると。そういった中で本当に現実的に直営があるのか。

それともう1個は直営にする意思が余り感じられないんですよね。人の配置でも人を雇ってませんよね。ほとんど先生までもが高齢化している。そういった中で永遠に続けたら確実に先生退職して行って、まず人材の育成から始めないといけないですよ。そういったことから考えると、何かもう総務のほうはいずれ民営化するっていうような意志がバリバリ伝わってくるんですよ。でもここで一生懸命言ってるけど、言ってることとやってることっていうのが大きく違うんで、そこは本当に真剣に民営化というものを考えて、小中、保幼小中にこだわらなくていいと思うんですよ。それは小中で考えてという方向に進めないと、どんどん何も進まないままでいってしまうと思いますけどいかがですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

石塚教育長。

○教育長（石塚謙二君）

本町の保育園、幼稚園、こども園については、正職員をクラス担任にちゃんときちっとつけようという考え方があって、当た

り前の話なんですけども。それで子どもが減っていったものですから、要するにその今いる正職員でもっててもてたという、大丈夫だったといういきさつがありまして、そこで正職員をとらないで済んでたというのはおかしいんですけども、とらないで運営ができたという事実があって、そこに非常勤の方を入れて運営しているというような状況であります。ですから、そういう意味で、今御指摘のとおり、今後その子どもが減る、減らない、さまざまな要因があると思いますけれども、当然その正職員を補充するのか、補充しないのかということに関してはどっかで判断が必要になるかと思えます。そのときにどの程度、民営化するかしないのかというような議論がなされるものと基本的には思っています。これについては2億何千万円のお金がかかって、民営化すればそれだけのお金が浮くという試算も出てますので、それについて町としてどのように考えていくのかという検討が必要だと思います。

それからもう一つ、保幼小中一貫ということと、その民営化ということは関係がある、ないという、関係があるだけではなくて、子どもがやっぱり本町で育っていく。3歳から入って3、4、5、そして6歳、そのときに不要な苦勞だとか段差があって子どもたちが苦勞するのは大変よくないことでもありますので、町立であろうが私立であろうが、3歳入って、そこで保育を受けて、そしてスムーズに小中学校に入っていくといったようなことは、これは別の次元として検討をきちっとしておかなくちゃいけないことだと思いますので、議論としては別の議論として、先ほど板倉次長も答弁しましたけれども、そういう整理した形でのを進めていく必要があるかと思えます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

それはそうですけど、ぜひともほかのところを見習ってください。小中一貫校と幼稚園というものを、何もそこで小1プロブレムが起こそうと思ってそこを切り離してわけじゃなくて、そこがちゃんとうまくいくように幼稚園というものも考えてますし。でも小中一貫校教育を進める。幼稚園のほうは民営化する。何も保幼小中というふうに、お題目を出してしまうと、これを見た瞬間、じゃあ、園に携わる人とかは、ここはずっとそういう感じでいくんだなというような感じでも、一貫していくんだなというふうにも捉えられるんで、そこは本当に情報の出し方ですよ。今回は全てそこにかかっていますけど、そこは本当に気をつけていただきたいと思います。

それで、残り少なくなりましたけども、学校や園で起こった問題というものは、今までいろいろありましたね。吉中でクラブ中に生徒が亡くなったこともありますし、幼稚園で詰めてけがしたこともありますし、そういった問題というものは新しい先生にも共有されているのか。問題が起こったことは情報で残って、ここではこういったことがありましたというのは共有されているのかということをお聞かせいただけますか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

板倉教育次長。

○教育次長（板倉 忠君）

今、議員御指摘のように、学校では日々いろいろな事案が発生しております。その中で子どもの命にかかわるような事案もございました。そういうことにつきまして、例えば新しく豊能町で教員になった先生に一つ一つの事案を説明しているかといいま

すと、そんなことはできておりません。ただ、それが起きた後ですが、いろいろなことを対応というか改善をしたりとか、学校への報告の求め方であったりとか、さまざまな点で改善を進めてきているので、学校全体の運営としてはそれに対応できるような学校となるような指導は進めてきているかなと思います。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

やっぱりそれはすべきだと思いますよ。こういうことが起こりました。いいこと、悪いこと含めてね。新しく、冊子渡すだけでもいいんですよ。過去に起こった事例みたいな形でね。そういうときにこう対応しましたとか、こうでしたということを知らせるということは非常に重要だと思いますよ。そういったことで。何か行政の方って引き継ぎというものを余り感じないんですよ。過去に起こったこと。それで、でも今も日々起こっているからこれからも対応する。それは当たり前のことなんです。でも過去に起こったことと同じことを繰り返さないために民間企業ではそれを徹底的に学ぶんですよ。二度と繰り返さないために。だからそういった書面にして、常に誰も見られるような形で引き継いでいくことが重要だと思いますんで、そこはそういう形に変えるおつもりはないですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

石塚教育長。

○教育長（石塚謙二君）

いろいろな学校園でいろいろな事案が起きて、そのことについて細かくきめ細かく教員に対してその情報を伝えるべきであるというような御意見で、そのとおりでと思います。それについてそういうケースもあ

りますし、それから基本的には学校園というのはその長がおさめております。その教員の指導監督というのは長がやっております。つまり校長会とかあるいは校長・園長に対して、こういう問題がありました。よって十分に対応することが必要だというようなやり方。さまざまなチャンネルがあると思いますので、その一律にそうではなくて、さまざまなチャンネルを活用して今のおっしゃったようなことについて気をつけていくということが賢明な対応かと思えます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○9番（永並 啓君）

やはりそれはある一定、一律に決めるほうがいいと思いますよ。どういうことが起こったかということは事実ですから。そういったことが発生してその対応。民間企業の危機管理なんて全部そうですよ。過去に起こったの全部書類になってるんですよ。どういったことが、どういう苦情がありました、どう対応しましたということが。それをまず全部目を通すところから始まるんですよ。そういったところがなかったら、自分の判断でこういったことでもいいんじゃないか、こういった行動でいいんじゃないかというふうに自分の判断で動くことになりますんで、ぜひともそこは一律に、書面でみんながわかるように、情報共有できるようにお願いします。

以上で終わります。

○議長（福岡邦彬君）

この際、暫時休憩いたします。

再開は、13時20分、1時20分とします。

（午後0時19分 休憩）

（午後1時20分 再開）

○議長（福岡邦彬君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、橋本謙司議員を指名いたします。  
よろしいですか。

橋本謙司議員。

○4番（橋本謙司君）

4番・イノベーションとよのの橋本です。

今後のことを見据えて質問をいたしますので、部長級の皆さん、教育長にははっきりとわかりやすい、前向きな答弁をお願いしたいと思います。

まず最初に、今回のダイオキシン処理については、神戸市さん、稲敷市さんには多大なる御迷惑をおかけし、また、近隣市の皆様、豊能町の住民の皆さんには御心配と御迷惑を本当におかけしました。心よりおわびを申し上げたいと思います。

振り返ってみると、今回のダイオキシン汚染物の処理については、町長の答弁にも何度もありましたけども、処理に、処理をすることが目的になってしまった。それも2016年の3月末までに処理を完了させるということが目的になってしまったばかりに今回のような結末になってしまったんじゃないかなと思ってます。また、何度も立ちどまることができたはずなのにとまらなかった。これは本当に残念でなりません。また神戸市から撤去をし、持ち帰ると決めた以降についても、住民感情や相手の立場を考えないやり方、これは他市また住民の皆さんの信頼という面においては、もう致命的であったというふうに感じてます。

今後は、まず一つは期限内の豊能郡内での仮置きを早期に完了させること。次には不明瞭な金の流れについて解明し賠償をしてもらうこと。そして早期に最終処分に向けて行政と議会がしっかりとともに協力をしながら、解決していくというようなことしかないかなというふうに感じてます。

田中町長においては、私自身も、やはりもう今はもう意味をなさない。確かにリーダー、リーダーと先ほどからおっしゃってましたが、申しわけないけども、もう議会はあなたのことをリーダーとは認めていない。それが今までの、辞職勧告についてもそうやと思います。きっと住民もそうやと思います。先ほどあなたが最後のつえとして、職員のみんがそう思ってへんというふうにおっしゃった。これはあくまでもあなたがそう思ってるだけ。職員のみんはもうあなたには一日も早く引いてほしいときっと思ってると思います。この場でそういうようなことを部長の皆さんに答弁を求めることはしませんけども、ぜひともそのあたりについてはこの議会終わった後、しっかりと部長の皆さんには一度御意見を聞いていただきたいなと思ってます。そのあたりは町のためにしっかりと、やはり最終的にはリーダーとしてのいきのよさとか、引き際のよさをぜひとも見せていただきたいなというふうに思ってますので、きょうあなたには私は質問しませんので、ぜひともその辺はしっかりと受けとめて、最後ぐらいはそのあたり考えてぜひともやっていただきたいなと思ってます。それを私はなぜ言うかという、私はあなたが立候補するときに応援した一人でもあります。けどもやはり1年間見たときに、とてもやないけど無理やということがわかりました。そこで、もうこれはだめやなというふうに思いましたけども、やはり4年間は仕方ないかなと思ってましたが、もう最後にきてこういう結末ということは非常に残念でなりません。だからなおかつ、もうこれ以上引っ張ることなく、任期満了と言わずに、町長選挙が終われば次の町長にすぐにゆだねられるように、任期を待たずして、一日も早く辞職されることを望んでおります。そ

れだけはよろしくお願ひしたいというふう  
に申し上げておきます。

それでは質問に移ります。

今回のこのダイオキシン処理、田中町長も山口町長もだまされたとか被害に遭ったと、被害者やというふうに発言をされてました。それは印影だけをとってそういうようなことを言われてたかもわかりませんが、どう見てもこれ、今回のこの9,650万円というのは、もうありきの処理というのはというのは誰が見てもわかると思います。なおかつ余りにも不可解なことが多い。金の流れ、今までのずっとの経緯等々見たら、これはもういろいろな疑念を受けても仕方ないなというふうには感じてます。

そこで、この件については豊能郡環境施設組合の管理者である田中さんの失策やったということはもう間違いないと思いますけども、それ以降もこの撤去費用等々も相当かかってます。この不透明かつ無駄な公金利用というふうに言わざるを得ないと思いますけども、負担金を支出している豊能町として、施設組合の管理者に対して損害賠償請求等を求める考えはないのかについてお聞きします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

南建設環境部長。

○建設環境部長（南 正好君）

お答えいたします。

豊能町が豊能郡環境施設組合を訴えるということになると思いますけれども、これにつきましては行政事件訴訟法第6条による機関訴訟になるということになります。この法では、法に定める場合に、法に定める者に限り提訴することができるというふうになっておりまして、豊能町が豊能郡環境施設組合、組合の構成団体である市町村が組合を訴えるということにつきましては

法に定めがございませんので、訴えることはできないと考えております。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○4番（橋本謙司君）

それであれば、これは田中さん個人とすればそれはいけるんですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

南建設環境部長。

○建設環境部長（南 正好君）

私が先ほど述べましたのは機関同士の訴えのことでございますので、個人に賠償責任を求めるとかという提訴につきましてはその行政事件訴訟法には関係ございませんので、民法等の規定により提訴することは可能と考えます。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○4番（橋本謙司君）

今回これ、やっぱりこの9,650万円という金を、そもそもああいうふうな不可解な契約の仕方をして支払っている。なおかつ結果して最終的な仕上がりを見てみると、これは報道によるとですけども、実質300万円で処理ができるものに対してそれだけのことを払ってしまっているというふうなこと。これは一連の、後でまた言いますが、やっぱりこれ行政のそういう検証なり判断をするという材料をそろえるという意味では、もうこれはもうあってならんことかなというふうに個人的には思ってます。これ誰をどういうふうに訴えるかというふうな話で、先ほど環境テクノロジーの井上さんに対して請求するというふうなことを言っていましたけど、それはもう全然筋違いだと思います。そもそもそれはわかってて払うてる金なんやから、それをそんなことを今さら言うというのは、僕は筋が違う

かなと個人的には思ってますけども。これ逆に、今、豊能町としてそのあたりこれどういうふうにおさめようと思ってるんですか、そうしたら。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

南建設環境部長。

○建設環境部長（南 正好君）

まず、町が管理者を訴えるというようなこと、先ほど民法かなと思いましたが、普通は住民訴訟というのが普通されます。住民の方が行政を訴えるということですので、前置主義、いろいろ監査とかございますけれども、そういうのによって住民訴訟を提起されるというのが、普通、住民の方からの提訴になると思います。

それから今、豊能町としてということですので、豊能町とした場合、このような機関争議については、国民の具体的な権利義務に関する訴訟ではございませんので、一般には法律等の訴訟にはなじまないものと考えております。したがって、このような機関争議の解決は裁判所の裁判に委ねるといような必然性がございませんので、むしろ行政的もしくは政治的に解決法を調べていくということになると思います。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○4番（橋本謙司君）

この点については、今、組合議会のほうでも百条委員会を開かれています。その中でこの辺の、特に不明瞭な金の流れという点についてはそちらにゆだねな仕方ないかなというふうに思ってますけども、やはりこれ、一番思うのは、今回こういうようなことが起きて、ほんまに何でこんなことになってもうたんやと。いろいろな意味でのチェックが何で効かんかったんやと。それは我々議会にも責任はあるかもわかりま

せん。けどもやはり、それなりに行政内部でそういうようなことが、なぜ歯どめが効かなかったのかというようなことは、もう本当に今回のこの件もさることながら、ほかの件でもほんまに大丈夫なんかなというの、やっぱりもう心配せざるを得ないというような状況になってしまっているし、その辺はしっかり我々もチェックをしていかなあかんというのは改めて感じているところです。もうこれ以上ここでは質問はしませんけども、やはりこの件をどういうふうに最終おさめるのかというようなことは、当然議会もそうですし行政でもそう、施設組合でもそうやと思いますので、その辺はこれは、何がこのままよくわからん不透明なまま終わらへん、終わるといふことのないようにぜひともお願いをしたいなというふうに思っていますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。もうこれ以上は聞きませんので、次の質問にいきます。

次に、光風台の駅前エスカレーターの改修についてということで、このときに大規模改修の進捗はどうかということで質問を通告には入れてましたけども、ホームページにもう載ってました。9月上旬から来年度の6月末までに基礎、屋根を改修する。29年の7月から30年の2月までエスカレーターの機械を取りかえるというようなこと載ってましたけども、このあたりは最終、ホームページでは確認しましたけども、我々議員は気にしている、私は余り気にしてませんでしたけども、気にしている議員が多い中、我々には何も連絡なくホームページにぼんと載ってましたけども、このあたりどういうふうにお考えですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

南建設環境部長。

○建設環境部長（南 正好君）

エスカレーターの修繕工事につきましては8月の19日に開札がございまして、25日付で契約をし、工期は現在8月の26日から29年の6月30日で、基礎の補強と上屋の修繕の工事を発注したところでございます。これにつきましては、常々前から住民の皆様、事前に工事の概要それからエスカレーターを使えなくなる期間が今の現状でいきますとまず半年以上というような長い期間になるということもございましたので、その辺の御理解を得るために説明をしてきました。それがございましたので、今回、ホームページ上で工程を発表したところでございます。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○4番（橋本謙司君）

これ住民の皆さんには当然、直接影響を与えることなんで事前の周知というのは当然要ると思ひます。いやいや。これは一連のダイオキシンの問題でも一緒やけども、そこら辺は議会にもその辺は親切丁寧に説明をしてもらったという解釈でよろしいですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

南建設環境部長。

○建設環境部長（南 正好君）

これまでも、個々の工事につきましては、その関係される自治会とか集落のところに工程等について回覧板とか直接お話をしにいたりとかして工事の工程については周知してきたところです。それにつきましても議会の皆様、ここの工事はいつからこういう工事に入りますというのはしてこなかったところでございますので、エスカレーターにつきましても、影響範囲が大きいのはありますけれども、その影響範囲が大きいことに鑑みてホームページに載せたと

いうことをごさいますて、議会には直接説明はしておりませんでした。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○4番（橋本謙司君）

やっぱり僕、その辺が行政のセンスやと思うんですよね。やっぱりいろいろな意味で、いろいろな意見が出て、こんだけ長引いた話。それを住民には説明するけども議会には説明せえへん。それはホームページで見てもうたらええやんと。ほんまにそんなんでええんかなというのがね。まあまあ、議会がその程度にしか見られてないというのが今の現状やと思うけど。それに対して言うてもしやあないけど。やっぱりその辺はもうちょっとやっぱり丁寧にすべきやと思いますよ。その辺どうですか、内田部長。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

内田総務部長。

○総務部長（内田 敬君）

今回のエスカレーターのことに限らず、議会に説明すべきものは今後とも事前に説明をするという姿勢で臨んでまいりたいと思います。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○4番（橋本謙司君）

やっぱりこれ、今言うただけちゃうねん、これ。ずっと前から同じこと言うてるんですよ。何回も同じこと言うてる。議会に何で事前に言わへんのやと。教育委員会の問題でも言うた。建設の問題でも言うた。けど直らへん。これ町長変わっても一緒でせ。もう何回も言うてるけど。だからそこは職員の質を僕は問うてるって言ってるんですよ。町長変わったらバラ色の人生が待っていると、バラ色の豊能町、そんなんあり得

ないですよ。それはやっぱりちゃんとしつかりと、職員の皆さんもそうやし、部長の皆さん、部長級、教育長もそう。皆さんがやっぱりそういう意識を持ってもらわないとあかん。それは別に僕ら議会をどうこう言ってるのちやいませ。1回言うたことが何回言うても直らへん。うちの子でも直しまっせ、3回言うたら。やっぱりそこはやっぱりちゃんとその辺、意識持ってほしいし。いや、それ逆に言うたら僕、議会が特別なもんやと思ってないけども、やっぱり議会に対してもそうやということは、僕、住民さんに対してなんかもっと失礼なことしてんちゃうかなというふうに余計思うんですよ。やっぱりその辺は一事が万事やと思うので、やっぱりその辺の意識というのはしっかり持ってほしいし、事前に言うて損することなんかない。事前に言わなかったら余計、うまくいくもんもいかへんということが多々あると思うんやから、その辺はやっぱりしっかりと心しておいてほしいなと思ってます。この件については、僕個人的にはやっぱりあの光風台の駅前のエスカレーターの改修というのは、さまざまな点でもうエレベーターのほうが絶対優位やということを今までも何遍も申し上げてきました。しかしここまで進んでしまったし、残念やなと思ってます。ただやっぱり一番残念なのは、多分、職員の皆さんも総合的に考えたらエレベーターのほうが絶対ええと思ってるはず。何人もの人に話したけどもほとんどの人がそう言うてた。行政内部でエスカレーターがええと言ったのは唯一田中さんだけ。この点については、やっぱりまあまあ議会も責任はあるけど、やっぱりこれについてもやっぱり行政内部でこういうエスカレーターやというふうなことで決めていく過程に僕は大きな問題があったんちゃうかなというふうに思ってます。こ

れも一事が万事で、今回のダイオキシン処理で検証をほとんどせずに進んできた、失敗したという今回の事例を受けて、エスカレーターにも多分同じことが起こると思う。エスカレーター問題も、これエレベーターやったら帰宅のときに3分も待てへんというような、何か抽象的な意見を受けて、評価すらせずに。それは地元の自治会が言うてるからしゃあないかもわからんけど、最終的に、多分、将来、失敗やったなというふうになるのは、僕はこれ間違いないなと思ってます。ただ、これを認めた議会というのはもう大きな責任があるというのは十分わかってるので、今後は普通の行政として仕事をしっかりと進めてほしいということだけは強く望んでおきます。もうこれはこれでいいです。

次に情報発信について。今回の一連の問題、ダイオキシンの問題ね。情報発信の制度とかレスポンス、これはもう著しく悪かったというふうに感じてます。先ほど永並議員の中でも大いに反省してるというふうな言葉であったけども、これ町のスタンスをちょっと聞きたいんやけど、新聞で発表すれば住民には個別で発表する必要はないというふうに考えてますか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

内田総務部長。

○総務部長（内田 敬君）

報道発表とともに町もあらゆる媒体を通じて広報するべきであるというふうには考えてございます。ただ、今御指摘のあったとおり、今回の一連の案件については、先ほども申し上げましたけども、第一義的には組合であるというふうに思っておりまして、その組合の情報を町が得て町民の皆様にお知らせをすると、こういうことが必要でありましたが、そういう町民の皆様にお

知らせをする情報を十分得ることができなかった、記事にすることができなかったということで、今回、広報が後手後手に回り、新聞・テレビの報道ばかりになってしまって、皆様に不安・不満を与えたというふうに思っております。大いに反省しております。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○4番（橋本謙司君）

これ、大いに反省してる。その言葉はどうでもええ。これ、8月配布にしてもうてる町報にダイオキシンのことどんだけ書いてました。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

内田総務部長。

○総務部長（内田 敬君）

広報9月号の発行に当たりまして、もう配布、先週でしたか、先週末でしたか、配布いたしましたけども、ダイオキシンについて記事にしようということはいろいろ考えました。しかしながら、日々状況が変わっていくという中でその記事をしますと、およそ1週間、10日ぐらい前が原稿の締め切りかというふうに思うんですけども、間に合わなかったと。そういうことで、そうしたら広報の同配でチラシをというふうにも考えましたが、その時点で皆様にお知らせできる、決定しているという中身がなかったもので、これまた記事にできなかったということで、確かにおっしゃるとおり後手後手に回っておりますので、速報性のあるホームページ、これを活用してまいりたいと思いますし、速報性がなくてもよいものはチラシとか広報を活用してまいりたいというふうに思っております。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○4番（橋本謙司君）

これやっぱりこの辺の発信。確かに刻々と状況が変わっていく。それは事実ですわ。けども、今はもう既にしてしまったこと、今もう終わってること、ここまでの経過というのは、多分8月の10日ぐらいやったら状況というのはわかってたはず、ある程度。今後は別でっせ。今後はどうなるかわからへんけども、今までの経過、その辺は絶対に言えたはずやけども、それはやっぱりしっかりとされてなかったというのは非常に残念でならん。それは大いに反省してるというのは言葉はそれでええけども、いやほんまにそうなんかな。例えばホームページでも、今、載ってるの2回だけですわ。8月の8日と8月の26日。やっぱりその辺も含めて、今の状況がどういう状況なのかということも含めて住民に知らせることは、やっぱりマスコミに報道するとともに、そこはあわせてやっぱりしっかりとしていく。確かにこれは施設組合の問題やから豊能町としては第一義的には違うんかもわからへんけど、今ここまできたらもう一緒ですわ。豊能町の、いうたら汚名をまき散らした後なんやから、そのけつ拭きというのはやっぱりしっかりと、施設組合がせんでも豊能町としてやっぱりやるべき。その辺はこれから、先もまだこれから刻々と変わっていくけども、やっぱりしっかりと、今、豊能町としてすべきことはあるんやから、そこは能勢町と歩調を合わせる必要は僕はないと思うので、そこはしっかりと豊能町ができるけつ拭きはしっかりともう豊能町でやるというふうなことでやっていただきたいと思いますが、いかがですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。  
内田総務部長。

○総務部長（内田 敬君）

確かにおくれてでも広報できるようなことはあったとっております。これについては今後積極的に情報提供してまいりたいというふうに思っておりますし、今後につきましては組合と情報を共有いたしまして、能勢町とも協力をいたしまして情報提供してまいりたいというふうに思っております。よろしく願いいたします。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○4番（橋本謙司君）

この情報発信はやっぱり町のPR、いいことばかりではなくて、やはり今回のこういうようなこともやっぱりしていかなあかん。これは我々議会も反省すべき点かなと思ってますけど、やはりこの信頼関係の基本いうことが、済みません。情報発信というのは信頼関係の基本やということであることはしっかり認識をいただいて、心新たにしっかりと取り組んでほしいというふうに思いますのでよろしくお願いしていきます。

次に、行政がすべき手続論について質問したいと思います。今回のダイオキシン汚染物の処理にかかわる施設組合の手続は、一言で言うとずさんとしか言いようがないかなというふうに思ってます。本町では同様の事件は発生しないのかという問いに対して、以前、内田部長は、質問した際に、ないと確信しているという発言とともに、調査は今後していきたいというような趣旨で答弁をいただいたと思いますが、そのような調査についていつまでに、どのように調査をするつもりなのかお聞きしたいと思います。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。  
内田総務部長。

○総務部長（内田 敬君）

調査をいたしますということをお答えいたしまして、すぐに部長会を開きまして、口頭ではございますけども、各部長から部内でのそういう、今回の組合と似たようなケース、要するに隠蔽しなければならないような契約とか、仲介業者に丸投げをしているようなそういうようなものがないかどうか一斉に調べてほしいということで口頭でお願いをしまして、各部長からそういうものはないというような、もう報告はいただいております。この間もお答えしましたように、このようなことはないと確信をしておりますけども、それは、本町におきましては全ての契約において一般競争入札とか指名競争入札などなどございますけども、一般競争入札の場合は請負業者審査会を開きまして、入札の参加資格を公の場で審査をするとか、指名競争入札にいたしましても、指名の理由等について審査をすることになっておりますし、随意契約についても、本来入札すべきものを随意契約にするときは審査に付するというようないろいろなことで請負業者審査会でやっております。また、入札等監視委員会という外部組織をこれ持ってございまして、その入札等監視委員会において、年1回でございますけども、全ての契約について御報告をし、その中で幾つかをピックアップをしまして、特に監視委員会のほうで見ていただきたいもの、見たいとおっしゃったようなものについて、個別にそれぞれの報告もし、審査をいただいて、意見の具申、意見等、勧告もいただいているというようなところでございます。本町ではこういうように、以前、官製談合事件というようなものもございましたので、それ以降は入札制度、また監視する制度、透明性に努めているというようなことでございますので、チェック機能は十分働いているというふうに感じてございまして、先日

のような答弁になったというようなことでございます。よろしくお願いたします。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○4番（橋本謙司君）

今の中でちょっと一個、え、と思ったのが、各部長へその辺の話をして、結果ないという判断、報告を受けたというふうにおっしゃったけども、これ普通、民間企業とかやったら、当然こういうようなことがあるかないかということ個人個人に調査をし、もし万が一そこに新たな不正があった場合はもう厳正に処罰するというようなことを当然付してやるんやけども、この辺で今回どないですか。それちゃんと担当者ベースまで全部おりてます。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

内田総務部長。

○総務部長（内田 敬君）

今回の調査が担当者レベルまでおりたかどうか、ちょっとそれは確認はできておりません。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○4番（橋本謙司君）

やっぱりその辺が、スタンスが甘い。まあまあ、橋本議員そう言うのとたからとりあえずまあまあ聞いていってな言うて、で、ありませんでした、ああそうかいう程度でしょ、どうせ。それじゃあかんねんて。今回こういうようなこと起こったと。これは別に豊能町内違いますっせ。施設組合の中で起こったことやけども、そういう同一事象がほんまにないんかというようなことを、今、部長の答弁では真剣にやっただと。全然感じられへんけども、そのあたりどうですか、南部長。ちゃんとやっています。担当者ベースまで。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

南建設環境部長。

○建設環境部長（南 正好君）

私も部長会の前にここでその質問を聞きましたので、その後すぐに部内の課、課長、課長補佐に聞き取りをしました。その中でそのようなことはない。で、廃棄物ありますので、特に環境課には念入りに聞き取りを行いましたけれども、現在そのような、第三者を介するような契約もないし、議会に当然、住民の皆様にもですけれども、公表できないような契約も一切ないということで確認しております。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○4番（橋本謙司君）

これはこれ以上聞いても、当然ないといったことに対してどうこうと言うつもりはないけれども、ただやっぱりそういうようなことが起きた以上はそういう目で再度見直すということはやっぱり最低限やってほしいと思うし、その中で、当然行政の仕事なんて性善説でやってもらうべきことやけども、やっぱりそれでもこういうようなことが起こったということを受けて、その辺のしっかりと確認というのはやっていただく。その際にはほなどういうやり方をするのがいいのかということとはやっぱりしっかりと詰めてやらないと、そんな、ないか、ないかいいうて、ほんな誰にいつ何を聞いてどういうふうに報告があったかと。普通は民間企業やったら絶対そういうような資料って残すんですよ。もしそれに偽りがあった場合はそれはもう処罰されるでということも含めて、今、もし問題があるんやったら出せということもやっぱり本来はさせるべきなんで、そういうような手続の仕方も含めてやっぱりちゃんと見直すべきやというふうに

思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

では、あえて聞くけども、今回何でこんなずさんなことが起こったかというようなことは当然評価されてますか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

内田総務部長。

○総務部長（内田 敬君）

今回の原因でございませうけども、やっぱり隠さなければならぬような契約をしてしまったこと、これに尽きるというふうに思ひます。また、仲介業者を信じ切ってしまったこと、これに尽きると、この2点、これが原因ではないかなというふうに思ひております。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○4番（橋本謙司君）

今おっしゃっていただいたことも大きな原因やというふうに思ひます。その辺も含めてそういう目で、当然そういうようなことがないかというように各部長には聞いていただいたと思ひますので、その辺はこれ以上言うても仕方がないのであれですけど、ただやっぱりその辺は、今回こういうようなことが起きた、これだけにかかわらず、やっぱりいろいろな問題が起きたときにはその問題事象がなぜ起こったのかと、それにかかわるような同事象が起こればどういふところかと、それに対してどういふ対策を打つのかということとはやっぱり常に繰り返しをしていただきたいなというふうに思ひますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

次の質問に移ります。過去の否決議案の現状についてということで、これ行政の悪さかもわからへんけども、議会に議案提出をし否決をされると、その後なかなか何も

しないというようなことが多いのかなというふうには思っています。今回上げてるのは公共施設の使用料の見直し、自転車駐車場の無料化、家庭ごみの有料化と、その三つを上げてます。

その中で一つ目が公共施設の使用料の見直しということで、これ26年の12月に公民館条例の改正の議案が出された。その中で使用料を見直すという予定だったけども、議会からは他の施設の使用料も含めて検討すべきやということで否決になったというふうに思いますが、その後の検討結果についてどうなってますか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

内田総務部長。

○総務部長（内田 敬君）

以前否決されました議案につきまして、あれはあの使用料手数料全体を見直した上で結果的に公民館だけを見直すことになったということでございますので、そこは一つお願いいたします。今後のことでございますけども、使用料手数料の見直しにつきましては消費税の見直しに合わせてやろうということで、あれ以降方針を転換をいたしました。29年4月に消費税が引き上げられるということで、今年度とその作業をする予定でございましたが、6月に国において消費税の改定時期を31年10月に延長するということを決められましたので、本町においても消費税に合わせてその使用料手数料の見直しについても延期をするということといたしております。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○4番（橋本謙司君）

あの分については当然消費税の絡みもあった。ただ、そもそもあれを見直したのは、別に消費税だけやなかったと思うんで

すよね。そもそも中央公民館20%上げて西公民館を10%上げるというふうな話があったけども、そのあたりこれは、あえてほんならその財源の確保も含めてなり、近隣との公平性の、公平化か、何かまあまあ、近隣から見たら安いから上げますとかいう話も含めて、そのあたりはどう整理されて、あえて何でその消費税に合わせる必要があるのかお聞きしたいと思います。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

内田総務部長。

○総務部長（内田 敬君）

本町におきましては、おおよそ4年に1回、消費税に関係なく使用料手数料の見直しをやってきたということでございまして、26年のときもそういうタイミングでございました。しかしながら、その後消費税が上がるといことがわかっておりましたのですぐに見直してもまた消費税のいわゆる転嫁といいますか、消費税の転嫁を住民の皆さんにお願いをしなければならないタイミングがすぐに来るということで、そうしたらもう消費税の見直しに合わせて使用料手数料を見直そうというふうにタイミングを変えたわけでございます。今年度かけて作業して、来年の4月に見直しをということでお願いをしようと思っておりましたけども、この6月にまた国が方針を変えられたために、本町においても消費税に合わせてということでもう一度方針を変えたというような状況に今はございます。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○4番（橋本謙司君）

そうしたら、もともとの使用料改定するという目的、そこは別に達せられなくてももう問題ないというようなことでよろしいですか。ほんまやったら一日も早くそれは、

ももとのその公平性が担保できてない、近隣との比べて安過ぎるというふうなこと等々も含めて、ほんまやったらそれを変え目的というのがあったと思うけども、それを、本来その目的があるにもかかわらずその消費税に合わせてというところが全然理解できへんのやけども、そのあたりどう考えてます。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

内田総務部長。

○総務部長（内田 敬君）

確かに受益者負担の適正化ということが第一の目的でございましたので、消費税に関係なく見直しを行ってきたわけがございますけども、先ほども申し上げましたが、否決をされました後、もう一度提案をし直す方法はあったのはあったんですけども、そうしましても29年の4月に消費税が上がるということがもうわかっていたので、それならば29年4月にタイミングを合わせましょうというふうに切りかえたわけがございます。で、今年度作業しようとしていたところ、また国が延期をなさることがわかったので、再々使用料手数料を引き上げるよりも一度にとすることに思いまして、もう一度方針を変えて、消費税のタイミングに合わせて見直すということにしたということで、おっしゃるとおり、本来の目的の受益者負担の公正・公平さという点からいうとタイミングはずれるかもわかりませんが、再々使用料手数料を見直すよりは1回でという思いでこういうことになったということでございます。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○4番（橋本謙司君）

結果して、もうそんな5年も先延ばしするようなことやったら、もう最初からやら

んかったらええねん。そんなん中途半端やて。そこが目的があるのやったら再々やってもよろしいやん、別に。ほんまにそれが受益者負担を求めるといことの方針に基づいてやるんやったら、別に僕はしてもええと思いますよ。それは住民にとってはそれはせんほうがあえかもわからんけども、ほんまに受益者負担を全体的にやっぱり求めていくんやということであれば、それはそういう方針でも仕方ないじゃないですか。そこが何か中途半端なんちゃうかなと。結果して消費税に合わせますねんって。何かそんなんであえんかなという気はしますけども、裕福な町やったら別やけど。

あともう1点、実際そういうことを言いながらも27年の7月からはあのスポーツ施設の3施設だけは条例の別表だけを改正されて減免が廃止されているというようなこともやっているけども、そのあたりの評価は今どう出てます。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

板倉教育次長。

○教育次長（板倉 忠君）

教育委員会としましては、財政健全化プランを進めるということできさせていただきました。27年度におきまして、若干ちょっと訂正をさせていただきたい。100%減免、全額減免だったのを、育成団体につきましては50%、2分の1の減免に変えたということで、社会教育の推進という意味では減免は2分の1だけですがまだ続けているということで、御認識いただけたらありがたいなと思います。

その使用状況なんですけども、スポーツ広場ですね。これは希望ヶ丘にありますスポーツ広場ですが、使用率はマイナスの1.5%、若干減りました。ただし使用料につきましては減免というものが大きく影響し

まして7倍の入になっております。野間口総合スポーツセンターにつきましては、これはマイナスが大きくて利用率はマイナスで38%。回数でいきますと、230件ほどの回数の使用であったんですが27年度は127件に減少したということです。町財政の効果としましては1.3倍ということでマイナスにはなりませんでした。

その評価なんですけれども、野間口総合スポーツセンターの減になりました団体というのは、減免を受けていた団体の使用が減ったということが影響しているかと思えます。ただ、スポーツ広場につきましてはその影響はなく使用をいただいております。ということで、野間口等につきましては、先ほどの一般質問でもありましたけども、今後の活用ということについては検討していかなければならないかな、もう少し様子を見させていただけたらなと思っております。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○4番（橋本謙司君）

これふれあい広場というか、あそこはなかったんかな。済みません。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

板倉教育次長。

○教育次長（板倉 忠君）

失礼しました。ふれあい広場につきましては減免で使用されている団体がなかったので、今回は御答弁から差し引かせていただきました。申しわけございません。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○4番（橋本謙司君）

やっぱりこれも、もうそうなるやろなと思っただけですけども、実際やっぱりこれどうなってるかということ、野間口を使っただけならは学校を使ってる。学校はただやから。

当然そうなるのわかってたけども。ほんで一方では、野間口をもう閉めよう、閉めようとしている。それで閉めてもええんかもわからへんけども、やっぱりほんまにそれを使っただけという気があんのかなというのがある。もう何を考えてるのかようわからへんと。さっきの話とも一緒ですわ。何がしたいんかなと。もう支離滅裂。一方では金はとらへんわ、一方では金はとるわ。何か消費税に合わせてみるわとか、何かその辺がもう全然、町の運営としてはもう最悪やね。誰が統制とってるのか知らんけども、何か甘い、全てが。ほんまに何をしようとしているのか。使っただけとするんやったら別にわざわざそんな必要もないし。けども金困ってんのやったらもつとらざるを得ん。その辺が何か一貫してないというのがあるんでね。やっぱりその辺はもうちょっとしっかりと、新町長に変わったら即座にその辺の、こういうようなことだけじゃなくてね。やっぱり全てに対して一貫性のある対応をぜひしていただきたいと思えます。

次に、何回も言うてるけども、自転車駐車場の無料化。これについても条例改正の議案が出され、その際も無人化・無料化を検討すべきであるというようなことで22年の6月になったけども、これも5年6年たってもいまだ何も変わってないような状況。確かにもう光風台なんか見る見るうちに、どんどんどん、もうとまってる台数なんかめっちゃ減ってますよね。ああやって見たときに、これも今、財政がしんどいしんどい言うてるのにあれはもうそのまま。そこはどんなロジックでそんなことを考えてんのかなというふうに思うけども、そのあたりどういうふうに考えてますか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

内田総務部長。

○総務部長（内田 敬君）

駐輪場の無料化ということでございますけども、町としては無料化とともに無人化も同時にということで、それも三つの施設ともにというようなことで検討を進めてまいったところでございます。ときわ台については地下ということで、無人化がしんどいということはこれまでも申し上げたところでございますけども、この間、能勢電のほうに、能勢電さんの敷地を使わせていただけませんかというようなこともお願いをしまして、一定よろしい、よい回答を今いただいておりますので、その能勢電さんの敷地も使った中での地上化というようなことを検討してまいるということで、今、具体案を詰めていこうというようなところでございます。

一方、光風台のほうでございますけども、光風台、台数はかなり減っているんですけども、光風台のあの地上の第二駐車場というのがあるんですが、そこにおさまるほど減っていないので、どうしてもその調整池の上のあの駐輪場を使わざるを得ない状況では、今はそういうふうになっております。一方で、そのエスカレーターの監視の関係がございますので、これ無人化は無理だなというような判断をしております。したがって無人化できない限りは無料化もできないかなというふうに思っておりますが、そのエスカレーターの監視を駐輪場の管理人以外の方法でできないかということも考えまして、あちこち幾つか当たってみました。ところがいずれの方法も財政上の効果がないという結論が出るか、もしくは相手さんに断られるというようなケースがございまして、ばかりでございまして、現状ではそのエスカレーターの監視は駐輪

場に管理人を置いてやると、もうこれが一番よい方法ということになってございますので、光風台については無人化・無料化もちょっと無理かなというようなことを思っております。妙見口は、もう今、無人化されておりますので現状のまま可能というようなことでございますけども、いずれにしましても無料化・無人化はやってまいりたいと思っておりますけども、その光風台の問題が解決できるかどうか、ここにかかっているというところで、今、苦慮をしております。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○4番（橋本謙司君）

やっぱりここでもエスカレーターがこれ邪魔になっておるんですよ。監視が。ほんで、もう目に見えてわかってるもんやんこれ。けどこれ考えたら、逆に、今、部長の中ではときわ台借りて地上化できるなど。無人化できるな。吉川いけるなど。光風台だけ無理やなということになったときに、光風台だけ有人の有料でやろうと思っております。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

内田総務部長。

○総務部長（内田 敬君）

駅によって無料の駐車場と有料の駐車場があるというのは、能勢電にも川西市内にもあるのはあるんです。私、まだそこまで検討はしておりませんが、私が今思っておりますのは、無料にするなら全て一緒ということをおもっております。有人か無人かではなくて無料は同時にというふうなことは思っています。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○4番（橋本謙司君）

これエスカレーターの監視の費用も一部

見られてたやつがその分もなくなるから余計財政負担というのはふえるのは目に見えておるんねんけどね。それはそれでええけども、これ今後の見通しとしていつまでにやろうと思っております。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

内田総務部長。

○総務部長（内田 敬君）

まずあのときわ台でございますけども、ときわ台につきましては能勢電さんとの話が進んでおりますけども、来年度当初ぐらにはそういう計画というか、測量設計というようなそういう予算を上げたらなというふうに思っております、うまくいけば来年度設計、再来年度着工というようなことにできたらなというような思いは持っております。光風台につきましては、今あるあの調整池の上の駐輪場を使わないといけない台数となっておりますので、あの調整池の上の駐輪場を使い続けるならば幾つか改良が必要というようなことも思っております、その設計というものも今後必要というふうに思っております。

今、議員がお尋ねになったのは、無料化のタイミングの計画はというようなことかと思っておりますけども、それについては1にも2にもそのエスカレーターの問題、これを駐輪場と切り離して考えるか、駐輪場の管理人がエスカレーターを監視するというふうに見るか、それ二つに一つだというふうに思っています。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○4番（橋本謙司君）

この点も、もう6年も前の話なんやから、早々にその辺は決着つけて、もう早くそういうふうなことを。いうたらこれも有人の有料でやってる以上、どんどん、どんどん

これも赤字になって垂れ流しやから、その辺も早く早くその辺の決断をぜひともしてほしいなというふうに思いますので、新町長になったら即刻その辺の判断をしてほしいと思います。

最後に、家庭ごみの有料化について。これも27年12月に家庭ごみの有料化の議案が提出されたものの、住民に対する理解活動が先やというような趣旨で、そういうような意見が多くて否決ということになりましたけども、そのあたり今現状のその住民に対する理解活動、どのように進めるかお聞きしたいと思います。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

南建設環境部長。

○建設環境部長（南 正好君）

家庭ごみの有料化についてでございますけれども、現在は平成29年度から始まりますごみ処理基本計画を策定中でございます、住民さんを交えた豊能町廃棄物減量等推進審議会で今審議をさせていただいております。その新しい基本計画に基づきまして進めていきたいと考えております。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○4番（橋本謙司君）

やっぱりその計画を立てるとのことと、もう当然大事なんやけども、一方でやっぱりその辺の住民に対する理解活動というのは合わせて並行してやっぱりやっていくべきというふうに思いますので、ぜひともお願いしたいなということと、あともう一個はやっぱり将来の民営化を見据えた上でどういうふうに進めていくか。例えばそのごみのステーション化の話、戸別収集の話等々もあると思うので、その辺はしっかりとバランスをとりながら、一個終わって次じゃなくて、やっぱり並行して進めるもの

についてはしっかりと同時進行でやってほしいなというふうに思っています。これについてはまた次回の議会で質問したいと思います。

あと、公共交通機関について。北大阪ネオポリス線の箕面トンネル経由便がスタートして、今、豊能町内の利用者数はどのように変化しているのかお聞きしたいと思います。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

内田総務部長。

○総務部長（内田 敬君）

北大阪ネオポリス線のトンネル便でございますけれども、現時点ではまだ正確な数は把握しておりませんが、阪急バスによりますと朝は2便目と3便目の利用者が多いと。夕方は2便目、3便目、4便目の利用者が多いというようなことでございます。利用者が定着いたしましたら、改めまして町で調査をしたいと。夏休み中でちょっと学生さんの利用がばらけておりますので、10月ごろに改めて調査を予定しております。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○4番（橋本謙司君）

僕が聞いたかったんは、トンネル便がふえてるのは十分わかってんねん。それに対して逆に全体。千中向いていく、今、彩都経由になってる便も含めてトータルでどうなってるかということが知りたかったの、そのあたりについてはもう次の議会で質問するのでしっかりと調べておいてください。

最後に、千提寺口のところで、やっぱり乗り継ぎの時間が長くなる等々という話をこの間したことあると思いますけれども、そのあたりのそういう、雨風の対策とか照明について、阪急バスとの交渉はされてるのかどうかお聞きしたいと思います。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

内田総務部長。

○総務部長（内田 敬君）

雨風等の対策につきましては、平成26年5月に阪急バスに要望しておりますけれども、物理的に困難というような回答をいただいております。今は議員のお尋ねは、乗りかえの時間が50分ぐらいかかるということで、その不便さをどうするかということもあわせてというふうに思いますけれども、今、我々考えておりますのは、千提寺口で乗り継がずにそのまま余野まで帰ってきていただくということにしまして、その余野まで帰ってきた便を希望ヶ丘を終点にするというようなことを実験的にできませんかということ、今、阪急バスに投げかけているところでございます。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○4番（橋本謙司君）

今、ほんまに豊能町としては大変な時期を迎えています。新町長になったら即刻スタートが切れるように、職員の皆さんはしっかりと今から頭を、知恵を絞って、豊能町のためになることをぜひともすぐに行えるように備えていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

以上で、イノベーションとよのの一般質問を終わります。

この際、暫時休憩いたします。

再開は、14時20分といたします。再開は放送をもってお知らせいたします。

（午後2時10分 休憩）

（午後2時20分 再開）

○議長（福岡邦彬君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、緑豊クラブの一般質問を行います。  
持ち時間は、質問及び答弁を合わせて1  
00分とします。

竹谷勝議員を指名いたします。

竹谷勝議員。

○10番（竹谷 勝君）

10番・竹谷勝。御指名をいただきましたので、一般質問を行います。理事者の皆さんには的確な答弁を求めます。

まず、田中町長には早いもので就任をされて4年間になります。その間、町政運営に御努力をされてこられたことと思いますが、今回、ダイオキシン無害化処理において大変な状況になっていることに対して、一議員といたしまして大変残念に思っております。豊能郡環境施設組合のダイオキシン類を含む廃棄物の仮置き場について混迷をしておりましてけれども、先般、余野自治会の皆さんの苦渋の決断をしていただき仮置き場は決まりました。このことに対して心から感謝を申し上げます。

それでは、通告に従って4点の質問事項について進めてまいります。

まず1点目のダイオキシン騒動について。繰り返しの質問になると思えますけれども、まず1点目、昨年8月、この地から福岡県の大分市の事業所に。

（発言する者あり）

○10番（竹谷 勝君）

大牟田市の事業所へ運び込みました。これがなぜ無害化処理ができなかったのかお聞かせいただきたいと思えます。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

大牟田市に搬入した当時は、すぐにでも処理いただけるものと思っていたんですけ

れども、その後、新聞報道等もございまして、処理が困難となって、最終的には処理ができない理由につきましては、業者から、地元の関係団体との調整がつかなかったといったことの原因で処理ができなかったというふうになっております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

竹谷勝議員。

○10番（竹谷 勝君）

今の答弁は過去に何度かお聞きしている答弁なんですけども。次に、今答弁のありましたように関係団体との調整がつかないということが繰り返し答弁をされておりますけども、それは事実なのか。ほかに理由があったのか。その辺についてお聞かせいただきたいと思えます。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

私どもは、この業者からは地元の関係団体と調整がつかないというふうなことは、もうそれは聞いております。それで残念ながら処理ができないというふうに聞いておりますので、これは事実でございます。以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

ちょっと田中町長、地元の関係団体というのは却下されたん違うの。あなたは前の答弁の中で地元は取り消しますということをおっしゃったんで、もう一遍再度答弁を求めます。

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

済みません。修正させていただきます。地元関係団体と申しましたけれども、関係団体ということで、関係団体と調整がつか

なかったということで修正させていただきます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

竹谷勝議員。

○10番（竹谷 勝君）

この件につきましてはこれ以上求めるのは控えておきたいと思えます。

次に、現在のこの混迷状況の一番のポイントといいますか、なかなか持ち帰りができなかったということに対して、神戸市の最終処分場への搬入について、やはり事前に私はきっちりと報告をしておくべきだったと思えますけども、その辺について田中町長はどのように考えておられたのかお聞かせいただきます。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

当初、産業廃棄物という処理をお願いしていたこともございまして、自治体への事前の連絡は不要ということで判断して進めさせて、進めてきたんですけども、今回の件について、産廃であったとしても事前に自治体のほうに相談しておくこともこうした事態を防げたのではないのかなと、今となっては考えているものでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

竹谷勝議員。

○10番（竹谷 勝君）

やはりそのことについては、やっぱり管理者あるいは町長として、大きな、私は間違いやったんじゃないかなと思います。これが仮に事前通告を、あるいは事前報告を神戸市さんのほうにしておれば、また相手さんの状況も変わっただろうし、万が一そ

れでも搬入はだめだと言われたとしても、コンクリート固化で無害化処理をしていると、それをそのまま豊能郡に持って帰とした場合でも、今よりもはるかに量的に少ない量で保管場所も決められたんじゃないか。非常に私は残念に思っております。その辺の反省について御答弁がありましたらお願いしたいと思います。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

当時、やはりその処理を最優先にしたかったということもございまして、そんなことからこういう形になったと。中間処理をし最終処分場、これが一本の一つの流れということもありましたので、これについてはいろいろな考え方できるかと思えますけれども、今現在こういった形になったということについては非常に残念に思っていると、残念であるというふうに思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

竹谷勝議員。

○10番（竹谷 勝君）

終わってしまったことなんで、今さら何を言っても始まらないんですけども、その辺は非常にトップとして、大きな、抜けたところじゃないかと私は思っています。

そこで、今回の一連の騒動といいますか、この混乱に対して、管理者であります町長としてどのような責任を考えられておるかお聞かせいただきたいと思えます。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

今回の一連の問題については新聞報道等で大きく取り上げられ、豊能町の住民さんの皆さんに多くの御心配、御迷惑をおかけしていることについては大変申しわけなく思っており、おわび申し上げます。今後、責任ということについては速やかにこの問題を終息させることが何よりも重要であると考えておりますので、残された期間内で少しでも問題が解決できるように取り組んでいきたいということで責任をとりたいというふうに思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

竹谷勝議員。

○10番（竹谷 勝君）

しかるべき時期にけじめをつけるということは非常に大事だと思いますので、肝に銘じて、それを念頭に、残された期間頑張っていたきたいと思います。この点につきましてはこれぐらいにしまして次にいかせていただきます。

二つ目の、健康長寿の町を目指してということで質問をさせていただきます。先般の箕面市さんの市長選挙でも、偶然にも候補の方が健康長寿のまちを目指してということを公約に挙げておられたようなんですけれども、健康寿命とは心身ともに充実をし健康的に生活できる期間とされており。2002年にWHO世界保健機関が健康寿命を提唱して以来、寿命を延ばすだけでなく、いかに健康に生活できる期間を延ばすかに関心が高まっております。2013年、日本のデータではこの差は約男性で9.02年、女性が12.4年。今後平均寿命が延びるにつれてこの差が拡大すれば、健康上の問題だけでなく、御本人はもとより家族への負担や医療費、介護費の増加による家計のさらなる影響も懸念をされます。そこで

福祉部長にお聞きしたいんですけども、本町の平均寿命と健康寿命の現状についてまず伺いをいたします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

木田生活福祉部長。

○生活福祉部長（木田正裕君）

お答えいたします。

まず、健康寿命という言葉でございますが、議員御指摘のとおり、命というのは一つの続いておるものでございまして、まずここからここまでが健康寿命、ここからが、それではないというのが非常に難しゅうございます。なので先ほど議員御指摘のとおり、定義というのは非常に難しいという、まずそのところは押さえていただきたいと思えます。その上で、健康寿命の正確な算出というのは非常に困難な上で、大阪府が第二次大阪府健康増進計画で、あくまでも各市町村の健康増進に資する参考値として算出した数値がございまして、それは日常生活に制限のない期間の平均というものを算出されたものでございまして、平成25年、少し古いのですが、豊能町の男性では平均寿命が81.25歳、健康寿命は79.67歳。女性では平均寿命は85.97歳、健康寿命は82.71歳ということで、参考値として算出した数値がございまして。

○議長（福岡邦彬君）

竹谷勝議員。

○10番（竹谷 勝君）

データの的には私が調べたデータとはかなり乖離があるんですけども、日本の平均寿命と健康寿命の差というのは、ある生命保険会社が統計を出されてるんですけども、それを見ますと、これは先ほど言いました2013年のデータですけども、男性で平均寿命が80.21歳、健康寿命が71.19歳、その差が9.0歳ということになってま

す。女性の方で平均寿命が86.61歳、健康寿命が74.21歳、その差が12.4歳の差があると。こういうデータがインターネットで見ましたらありました。これすごい数字やなと私思っています。9年間、男性にすれば9年間も何らかの日常生活を来すという状況になるということは、家族にとってもいろいろなことについてやっぱり大変な時期やと思います。こういったことを、今後やはりこの差を、寿命を延ばして健康寿命を上げていくというのが我々取り組んでいくべきことかなと思っております。そういう観点からいきまして、次に、町としてもいろいろな健康診断、検診をされております。まずその受診率の向上を図ることが私は当面、できることとしては必要じゃないかと思っております。その現状についてお聞かせいただきたいと思っております。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

木田生活福祉部長。

○生活福祉部長（木田正裕君）

議員御指摘のとおり、高齢者の健康づくり、介護予防すなわち自助でございますが、への取り組みがますます重要になると考えております。各種検診の受診率を向上させていくことは住民自身の健康維持・増進、疾病の予防・早期発見、これにつながっていき、健康寿命の延伸が実現とまでは言えないかもしれませんが、そういうふうな力になっていくのではないかと考えております。

○議長（福岡邦彬君）

竹谷勝議員。

○10番（竹谷 勝君）

やはり生活というんですか、受診率をしっかりと上げていただいて、そういう生活習慣病的なことを早期に発見するということは非常に重大なことだと思います。脳梗塞

とか脳溢血とか、肺がんなんかもそうですし、糖尿病なんかもそうですし、やはりそういう兆候を早く見つけるというのが一つ有効な手段になってくるかもわかりません。

次に、私もそうですけども、年齢を重ねてもやはり適度な活動や運動が重要だと思います。行政として、こういった高齢者が取り組みやすい仕掛けをつくっていくことも私は必要であると考えております。現状もいろいろされておりますけども、その辺について部長の考えをお聞かせください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

木田生活福祉部長。

○生活福祉部長（木田正裕君）

議員御指摘のとおりです。ウエルネス・ウォーキングというのを平成26年11月から、いろいろな御指摘もいただきながらも今現在も進めております。そういった意味で、適度な活動や運動、活動といいますのは、自助の面では社会参加、共助の面ではそういった活動の場といいますか、そういう出かける場も必要であると考えておまして、現在豊能町では、ウエルネス・ウォーキングはもちろんのこと今後続けてまいりますけれども、いきいき100歳体操を広めていくためにも、既存のグループ、例えば老人会であるとか自治会であるとか、社協が管轄しております地区福祉委員会などにそういった説明を行い、地域に展開して取り組んでいきたいというふうに考えております。

○議長（福岡邦彬君）

竹谷勝議員。

○10番（竹谷 勝君）

地道な活動なんですけどもね。やはり運動するということは大切なことだと。いろいろな本なんかによりますと、ウォーキン

グは非常にいいんですけども、有酸素運動だけではやっぱり効果は限定的やと言われてますね。やはり下半身の筋力の、筋力を強化するとか、体を使うとか、いろいろなことをやっていく必要があると。やはり高齢者が一番危険なのは、受診をして内面的なその予防するのと、やはり転倒防止とかそういったところが大事だと言われております。そのためには有酸素運動も一つの手段だし、やはり筋力を鍛える運動をできるだけ取り入れていただくように。幸い豊能町にはいろいろな経験者もいらっしゃるし、いろいろなグループ、個人のグループあるいは団体のとかいろいろなところがありますので、できるだけそういうところ辺にみんなが参加できるように、行政のほうとしても取り組んでいただきたいと。同じ人がじゃなしに輪を広げていくということも大事なことだと思っておりますので、高齢になっても健康で自立して生活できるというのが理想やと思っておりますので、取り組んでいただきたいと思います。

もう1点、先ほどは運動あるいは活動と言いましたけども、やはり高齢者を対象にしたいろいろなイベントを企画することも大事やと思っております。そして、家に閉じこもるんじゃなしに、できるだけ外に出るということも必要やと考えております。既にいろいろ取り組んでいただいておりますけども、この辺についても考え方、伺いたしたいと思います。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

木田生活福祉部長。

○生活福祉部長（木田正裕君）

先ほども申し上げましたけれども、生活支援というのはあくまでもその方に対する互助という考え方になりますが、社会参加はその方にとってみたならば自助といいま

すか、自分の意思で出かけられると。そういうふうな関係は裏表の関係だと思っておりますので、議員御指摘の生活支援のイベント等が多ければそれだけ出かける機会が多いので、今現在におきましても、行政自身が行うこともございますが、ボランティア団体であるとか、地区福祉委員会などでふれあいサロンなどが設けられておりまして、そのように出かけていただける、そういう機会を可能な限り住民さんとの連携の中でもふやしていきたいと、それが健康な寿命を延伸していくことにつながっていくのではないかというふうに、議員の言葉をいただきながら進めてまいりたいと思っております。

○議長（福岡邦彬君）

竹谷勝議員。

○10番（竹谷 勝君）

この町は非常に意識の高い人がたくさんおられるということもあると思うんですけども、社会福祉協議会を初めいろいろな取り組みをされてる人が、もう数、数えられないぐらいあるのも事実、私もよく知ってますけども、なかなかそういう機能、会としては機能回ってても、そこに不特定多数の人が参加をして健康維持に努めるというのはなかなか勇気の要ることで、入っていけない部分も多分、多々あると思っておりますね。社協以外にもいろいろなグループ、先般もそういうチラシも入ってましたけども、私も少数ですけども趣味のことでやってるところもあるんですけども、やはりそういうことにできるだけ参加をして、やはりリフレッシュしていただくというのが健康維持の一つかなと思います。先ほど言いましたように生活習慣病というのが一番こういうことに対するネックになってるみたいなので、やはり運動とそういう活動というんですか、その辺をきちっとしていただいて、誰もが健康で健康長寿の町を目指して、

我々も一緒ですけども取り組んでいけたら  
なと思っておりますので、今後ともしっか  
りと取り組んでいただきたいと思います。  
最後に何かありましたら。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

木田生活福祉部長。

○生活福祉部長（木田正裕君）

ちょっとお答えになるかどうかわかりま  
せんけれども、介護保険を利用すれば後  
には保険料にはね返る。後期高齢者医療  
であるならば、医療機関にかかればそれ  
も保険料。国保に関しましても同じよう  
に全て住民の方にはね返ってまいりま  
す。議員御指摘のように、自分の力で  
できるだけ健康な寿命を延ばしていく  
ということは今後ますます豊能町にと  
っても重要なことと考えておりますの  
で、議員御指摘のとおり、その方向  
で進めてまいりたいと考えております。

○議長（福岡邦彬君）

竹谷勝議員。

○10番（竹谷 勝君）

頑張ってくださいと思います。私も  
いろいろな方を見る機会があるんです  
けども、やはり健康でおられる方と、  
同年代でも、あるいはその年齢より  
下の方でももう寝た切りの方も知っ  
てますし、認知症の方なんかも知っ  
てますが、やはりそういうことにな  
れば、これはもう大きな損失ですわ  
。御本人だけじゃなし、家族、地域、  
国を挙げて、やっぱり損失なんで、  
そこはみんな自助も大事ですけど、  
共助も含めて、やっぱりしっかりと  
健康管理をできるように。幸いこう  
いう町ですから、環境的にはもう何  
でもできると思いますから、ぜひそ  
の辺は積極的に取り組んでいただけ  
ますように要望いたしまして、この  
件については終わります。

次に、何回か質問してるんですけども、

少子化の進行に歯どめをとということで、  
改めて少子化というのはどういうこと  
かと。新旧世代の間で一对一の人口  
の置きかえができなくなる低い出生  
率が継続することですという、こう  
いうことが載ってました。まさにこ  
ういうことかなと思います。そこ  
で、この町に若い世代を呼び込む  
施策、これが今求められている重要  
なことかなと思っております。この  
ことについてまずお聞かせいただ  
きたいと思っております。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

内田総務部長。

○総務部長（内田 敬君）

人口減少、少子化、非常に進んで  
おります。ことしの3月に、まち・  
ひと・しごと創生総合戦略、それ  
からアクションプラン、そういう  
国の交付金も活用するというよう  
なことで策定をしたところでござ  
います。この総合戦略におきま  
しては、もう議員も御存じのと  
おり、若い世代を呼び込むとい  
う施策を重視をしております、  
第一の基本目標としましては若  
年層が選びやすい環境をつくる  
というものを掲げておりまして、  
住宅の多様化と流通の促進、効  
果的なシティプロモーションの  
実施、公共交通の利便性の向上、  
これらを挙げております。今年  
度はそのスタートアップの年とい  
うことといたしまして、国の交  
付金を活用しながらでございます  
が、住宅とか住み方の多様化に  
係る計画、この計画の策定、そ  
れからマーケティングに基づいた  
シティプロモーション、この計  
画の策定、そのシティプロモ  
ーション試行の実施、それから  
空き家バンクとか移住相談等の  
そういう住宅流通の促進に係る  
拠点といいますか、チャレンジ  
ショップ、この開設というもの  
を実施することにしてるところ  
でございます。総合戦略にお  
きましてはこれらのみでござ

いませんでした、また住みたくなる子育て環境をつくるでございますとか、地域の資源を仕事とお金にかえると、このような視点でもそれらを目標に取り組みを進めていきまして、若年層の定住促進を図りたいというふうに考えております。

○議長（福岡邦彬君）

竹谷勝議員。

○10番（竹谷 勝君）

まち・ひと・しごと創生総合戦略、しっかり取り組んでいただきたいんですけども、もうこのような、この町は待たなしといいますか、できることから早くやっていく必要があると思います。そんな中で今回の事件、事故は、事象は非常にこれに水を差すような事象で、非常に私自身は残念に思っておりますけども、それはそれとしてしっかりと取り組んでいただきたいと思います。

それで、そういうことでいろいろ計画してもらってるのは私も知ってるし、しっかり取り組んでいってもらえると思うんですけども、もう待たなしの状況にきてると思うんですね、豊能町ね。このまま少子化が進んでいきますと豊能町そのものが衰退してしまうと。そこで前回も私言いましたけども、何とか、大小は別にして企業誘致、若い人が働く場の確保ができないかと。やっぱりここに集中をしていただいて何とか実現できるように、やっぱり取り組む必要があると思っております。そのことについて答弁をお願いします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

内田総務部長。

○総務部長（内田 敬君）

働く場の確保でございますけども、これはやはり議員のおっしゃるとおり、定住促進の上で非常に重要ということでございま

す。このたび総合戦略のアクションプランをつくりましますときにアンケートを行っておりますが、そのアンケートにおきましても地域内での就業と、このニーズは高うございます。ところが本町はニュータウンと市街化調整区域ということでございまして、ある土地は山とか田んぼとかいうことでございまして、大規模な企業誘致というのは困難であるということはこれまでもお答えをしてきたところでございますが、ただその箕面森町におきましては、町内ではございませんけれども企業進出の動きが活発というようなことで、そういう動きはこれから進んでいこうというところでございます。能勢電車と本町が共同でその箕面森町に進出する予定の企業に出向きまして、いわゆる営業活動というようなことをこの間進めているところでございまして、その箕面森町に進出する予定の企業にヒアリング等も行っておりますが、それによりまして、豊能町を初めとしてその近隣地域での人材を確保したいと、このようなことを言っておられまして、この町での雇用のニーズが高まるという可能性は十分あるということから、今後は必要に応じましてその適切な雇用のマッチングといいますか、そのようなものを進めてまいりたいというふうに思っております。

○議長（福岡邦彬君）

竹谷勝議員。

○10番（竹谷 勝君）

今、部長の答弁ありましたように、そういう方法もあるかなと。近隣で企業が設立され、そこで雇用を増していただくということも大切だと思います。そういったことも含めて、いろいろな手、なかなかこれやという答えはないと思うんですけども、できるだけ情報をキャッチして、そういうことにつなげていくように取り組んでいただ

きたいなと思います。この町は非常に環境が、生活環境がいいと。ちょっと不便さはありますけども住環境はいいかなと思っております。もう一つは、やっぱりちょっとおくれてますけども新名神が、うちの町じゃないけども近くにくるということも決まっていますので、少しは以前よりも人の流れはよくなるかなと私は期待しておりますので、その辺は有効に活用していただきたいと思います。

それと、これは前回も私、お願いしたんですけども、豊能町の合計特殊出生率が非常に低いと、全国のワースト3状況やという。豊能町は0.8、全国平均が1.39、大阪府が1.32。それでも昔に比べたらすごく低いんですけど、特に豊能町が低いということで、こういった子どもが少なくなった原因の一つに結婚をしない人がふえていることも一因かと言われております。できたら行政指導、行政が仕掛ける方法でもいいと思うんですけども、こういった若い人たちが出会える場を設けることも私は必要じゃないかなと、そういう時期にきているんじゃないかなと思っております。この辺について御答弁お願いします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

内田総務部長。

○総務部長（内田 敬君）

合計特殊出生率、豊能町非常に低うございます。これは結婚を機に豊能町を出るという方が非常に多いということが一つの理由かと我々は分析をしております、決して豊能町で生まれ育った女性の方が子どもを産んでおられないのではなくて、結婚を機に転出をして転出先で出産なさっておられるということが大きな原因ではないかなというように分析をしておりますが、ただ、その議員がおっしゃるようなそういう出会

いの場というか、そういう結婚をしていただくような努力、これも一つ必要ではないかなということは確かにそうであろうというふうに思うんですけど、全国ではあちこちでそういう婚活を支援するというようなことをしている行政、自治体もございまして、豊能町のこの行政として何ができるかというのはこれから考えていきたいなというふうに思っておりますが、ただ、冒頭申し上げたとおり、結婚を機に転出するという方が多いというのは、要するに住宅の事情で適当にその新婚の方が住まれるというような家がないというのが一つ要因ではないかということも我々分析をしておりますので、その住宅の多様化も同時に進める必要があるのではないかというふうには思っております。

○議長（福岡邦彬君）

竹谷勝議員。

○10番（竹谷 勝君）

合計特殊出生率の低いのはこういうことですということは前回も同じ答弁を聞かせていただきました。確かにそういう面もあるかと思えますけども、極端に低いというのは何らかの問題があるのではないかと。先ほどの婚活の話ですけども、例えば北海道なんかでも、北海道の大地で酪農をしようじゃないかということで本州のほうから花嫁さんを募集したり、これは極端な例ですけどもね。そういう例もあるんで、やっぱりそういう豊能町の町、売り出すのにも非常にいいかと思えますので、そういうことも今後は考えていく必要もあるんじゃないかなと思っておりますのでよろしく御願いします。いずれにしても、子どもが非常に少なくなってきたということが、これはもう事実なんで、そこを何とかするということが大事やと。できることなら何でもやっていくというぐらいのことがなかつ

たらなかなか前に進まないと思いますので、よろしく願いをいたします。

それでは次に、最後ですけども、学校教育の部活動について質問をいたします。まず1点目に中学校における部、我々クラブって言うんですけど、活動の必要について。運動部だけじゃなしに文化系等々も含めてどのように考えられておるのかお聞かせいただきます。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

板倉教育次長。

○教育次長（板倉 忠君）

中学における部活動というのは教育課程外ということで、指導要領にはこうしなさいというのは余り記述はないんですが、学校教育の一環として、中学校教育において大きな意義や役割を果たしていると教育委員会は思っております。生徒にとりまして、議員の御指摘のように必要性のある活動であるというふうに認識しております。

○議長（福岡邦彬君）

竹谷勝議員。

○10番（竹谷 勝君）

今、板倉次長が説明がありましたように、学習指導要領では、小学校とは違っていわゆるとおりでなってますね。そこで、そうであるならば、もとい、そういうことですけども、もう一度その学習指導要領でのクラブ活動についてどのように指導するようになっていくのかということをお聞かせいただきたいと思っております。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

板倉教育次長。

○教育次長（板倉 忠君）

先ほどのちょっと御答弁で議員を惑わせたのかなと思うんですけども、平成20年1月に中央教育審議会が答申を出しまして、

部活動というのが中学校教育において果たしてきた意義や役割を踏まえ、教育課程に関連する事項として学習指導要領に記述することが必要ということで、その後記述されました。ただ、内容ではなく、留意事項という項目の中に、生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動については、スポーツや文化及び科学等に親しませ学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に資するものであり、学校教育の一環として教育課程との関連が図られるよう留意することというふうになっておりまして、その方法としまして、地域や学校の実態に応じ地域の人々の協力、社会教育施設や社会教育関係団体等の各種団体との連携など運営上の工夫を行いなさいということで、授業ではないけれども学校教育において大事にするようにというような記述になっております。

○議長（福岡邦彬君）

竹谷勝議員。

○10番（竹谷 勝君）

そのとおりですね。私もそのことについて少し勉強させてもらったんですけども、今、次長おっしゃったように、そういうことで、教科ではないけれども活動の一環ということで位置づけされております。

そこで、つい先日、新聞に、部活動を考えるっていう、読売新聞、多分見られたと思いますね。その中で非常に私よかったなと思ってるのが、先般、野球の日米大学選手権がありましたね。このときの日本の代表メンバーに東京6大学、東京大学野球部のエースの宮台さんという人が選出された。この人は法学部の3年生なんですね。これは東大から選ばれたのは何十年ぶりか。以前NHKのニュースキャスターされた大越さん以来の快挙みたいらしいですけどね。彼は野球をするときには野球に、勉強のときは勉強に集中しますと。両立にはめり張り

が大切。大学ではふだん、午前中は野球部の練習参加し、午後からは授業やトレーニングに励み打ち込む毎日です。また、彼が学んだ高校というのは、最も困難な道に挑戦せよというスローガンがあったそうです。これが一つです。もう一つ、ベネッセ教育研究所というのが、これは2009年、部活と家庭学習について全国の中学生8,778人から回答を得た調査では、自宅で1時間以上勉強していると答えたのは、部活をしている中学生が45%、部活をしている学生が45%。途中退部した生徒は27%。部活をしていない生徒は34%。ゆえに部活活動も勉強もやっぱり頑張れる生徒は時間の使い方が上手やと、工夫しているというような報告をされております。私も実際そうやと思います。クラブ活動を一生懸命する子はそういったことが私は言えるんじゃないかと思ってます。

そこで次の質問ですけども、今後ますます少子化が進んでまいります。そういった状況の中、今後の部活動をどのように考えられておられるのか。私は部が少なくなるんじゃないかと心配しておりますけども、その辺についてお聞かせください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

板倉教育次長。

○教育次長（板倉 忠君）

今、議員の言われました、部活動をしている子どものほうが自宅で学習をしている時間が多いということは、先ほど言いました部活動の目的の中に、自主的・自発的活動を力をつけるという部分があったかと思えます。学習においても同様で、やはり中学生段階におきましたら自主的に、自発的に何か意義を認めて自分で動くという力がとても大事なかなと。そういう部分ではクラブ活動というのは有効であるというふうに、

私というか教育委員会としては捉えております。

今の部活の数のことなんですけども、現在吉川中学校は319人おまして13クラブあります。ただ、この夏で一つクラブがなくなります予定ですので、12クラブになるかと思えます。東能勢中学校では今現在100人で6クラブということになります。それで私が個人的に平成32年度想定しましてクラブ数の予想というのを考えてみました。それはどうやって出したかといいますと、現在吉川中学校では319人生徒がいるんですけども、46人が部に入っておりません。だから270名程度の子どもが入っているわけですけども、それを13部ということは1クラブ21人になります。それを平成32年度の240の、生徒数の予想は243人としておまして、今の不参加率からいきますと14%の子どもですので、34人ほどが参加しないという前提で考えましたとき10クラブしかできないかなと。つまり32年になると3クラブぐらい減るかなという予想を私は持っております。東能勢中学校では現在6クラブですが、同じようなことを考えますと5クラブ、つまり1クラブぐらいは減らないといけなかなと。東能勢のほうが生徒数の減少は少ないかなと予想しております。となりますと、やはり今、教育委員会として考えなければならないのは、子どもの自主的・自発的な活動の場であるクラブ活動をどのように教育委員会として維持というか活性化できるような施策ができるのかなというのは大きな課題だと思っております。

○議長（福岡邦彬君）

竹谷勝議員。

○10番（竹谷 勝君）

今後かなり減っていくということで、部の数も減っていく、当然かなと思うんです

けどね。やはり子どもたちにとっては中学生に入ってあのクラブに入りたいとか、こういうクラブに入ってやって3年間やってみたいという子どもも結構いらっしゃると思うんで、そういう面からいくとちょっと寂しい話が現実かなと思いますけども、その辺難しいとこで。

そして次に、これ先ほど言われました自主的な部活動を通じて、私は学習意欲の向上はもとより、人間性や協調性を高め、また将来社会へ出たときの社会性、こういったものも育むためには、やはり中学時代の部活動というのは非常に、運動限らず音楽、文化、含めて私は重要なことだと思っております。それを何とか活性化しながらやっていく必要があると思うんですけども、その辺について最後になりますけども答弁をお願いいたします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

石塚教育長。

○教育長（石塚謙二君）

私も中学時代バレーボール三昧で、地区大会で優勝しまして、いいしれない喜びを感じたもんですね。高校に行ってからバレーをやってたんですけど、ほとんどサッカー部の連中とサッカー三昧で、そんなことをやりながら過ごしたので、それが今の自分をつくってるかどうかは別にしまして、中学校時代、高校時代のスポーツ、文化活動に取り組むのはとてもいいことだと思うので、今、議員のおっしゃった提案というのはとても素晴らしいことだと思います。

それで私も含めてですけども、やっぱり部活に入って仲間関係だとかそれから顧問の先生がとてもいい人だったり、好きなスポーツであったりって、やっぱり魅力があったんだと思うんですね。だから非常に漠然とした言い方なんですけど、もし部活

が少なくなったとしても、その一つ一つが魅力的になっていくことが重要だと思うんですね。そのことによって人間性がアップしていってもらいたいと思うわけです。そのために、当然その学校の教員が部活の顧問として頑張るわけですけども、これにはでも先ほどの学習指導要領に書いてあったように、地域の方々、関係団体の方々の協力は欠かせないもんだと思うんですね。だから規模は少なくなったとしても、教育委員会とすると、部活のその質の向上を願うとすれば、地域の方々、専門家の方々を大いに参加していただいて、それで一部アウトソーシングすることもあるかもしれません、場合によってはですよ。そういったことを一つ一つの部活を少なくなったとしても魅力的にしていくという努力を、今後、議員の皆様と相談したり、さまざまな方々と相談してやっていくということが、今後の、子どもが少なくなったとしても、私たちが取り組むべきことではないかというふうに思いますので、どうぞその辺のことについては御協力御支援方いただきたいと存じます。

○議長（福岡邦彬君）

竹谷勝議員。

○10番（竹谷 勝君）

多感な時代、中学生3年間というのは私は大切な時期じゃないかと、人間形成の大きな時期でもあるし、友達づきあいもありますし、物事に熱中するという事は、ひいては勉強にも力が入ることだと思います。我々の時代はそんなに裕福じゃなかったんで、満足な部活動なんかもできなかったんですけど、幸い今の子どもは非常に恵まれてますんで、できるだけそういったことをできるように。ちょっと数が少なくなっていくというのは非常に私は酷かなと。野球したいのに野球できないとか、サ

サッカーしたいのにサッカーできないとか。クラブはあるけど試合に行けないとか、そういうことがあっても私は困ると思うんで、その辺はうまく豊能町の中で考えていただいて、やはり活動するということはそれを披露する場がなかったら力も入らないと思いますんで、まだこれからいろいろあると思いますけども、しっかりと議論していただいて、豊能町の子どもたちが立派に成長するように御尽力いただけますことをお願いいたしまして質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（福岡邦彬君）

次に、西岡義克議員を指名いたします。お席にお着きください。

西岡義克議員。

○13番（西岡義克君）

ただいま御指名を賜りました西岡でございます。

通告書を出しておりますけども、かなりその問題が進展しておりますので、答弁がいただけない部分が大分あるのではないかなと思いますけど、違った観点から質問していきたいと思っております。

まず町長にお聞きしたいんですけども、今回の事件については詐欺事件であると私は感じておりますけども、町長の認識はどうですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

印鑑が偽造であったといったことではその詐欺に近いというふうには考えます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

西岡義克議員。

○13番（西岡義克君）

そうすると、詐欺事件ということになれば告訴の手続をとらないかんわけですけども、新聞では組合を訴えているのは、刑事告発を検討しているということを7月の23日に言っております。どれぐらい段取りしてありますか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

それは、刑事告発といいますか、私が答えましたのは、弁護士等も相談をしながらどういった手が打てるかということについて検討を進めるということでございまして、まだ実は検討している段階でございまして、今、搬入・搬送等、廃棄物のこういったものがあって、それを優先にしているということもございまして進んではおりませんが、弁護士とは相談はしているところでございます。

○議長（福岡邦彬君）

西岡義克議員。

○13番（西岡義克君）

先ほども全ての議員から質問が出てますけども、非常に対応が遅いというか、対応してないんじゃないか。私が今まで言っているように対応じゃなくて適応してるんじゃないかな。適応というのは結果が出たことをその住民に押しつけるというような形ではないかなと思うんです。対応ができていないと。私は今までその質問を聞いていまして、町長はこの問題誰が起こした問題と認識してるかと。先ほども質問ありましたが、全くそういう認識がないと。どんな責任をとるつもりかということに対しても全くその責任を感じていない。それから、有形無形の失墜の意識があるのかなというふうな質問されてある方も議員さんた

くさんおられましたけども、これもないと。今まで何をしてきたのかって。私はいつに、施設組合は隠蔽工作をやってきたなと思っておるんですけども、町長はどう思いますか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

処理を最優先にしてきたところでございまして、その中で情報の提供についてはおくれたといったことについては非常に申しわけないというふうに思っております。

○議長（福岡邦彬君）

西岡義克議員。

○13番（西岡義克君）

いや違うでしょう。隠し回ってきたって言ってるんですよ。何もその情報が遅かったとかそんなことは聞いてないんです。なんで隠し回ってきたのかと聞いてるんです。どうです。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

これはやはり風評被害等、そういったこともありますので、処理を最優先にした結果、情報については非常におくれた、情報提供についてはおくれてしまったということについては、非常に申しわけなかったなというふうに思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

西岡義克議員。

○13番（西岡義克君）

いや、私が聞いているのは、じゃあ聞き方を変えましょう。その詐欺事件とわかったのはいつですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

7月22日の時点で夜にそのファクスが届いて、その中でその会社の印影とは違うといったことがわかりました。その時点で判この偽造があったといったことで、そのときに感じたところでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

西岡義克議員。

○13番（西岡義克君）

いやそれはその印鑑以前の問題で、あそこで処理する、あそこ言うたらいかんのか。その大牟田の三池製錬でやるということが変わったと。先ほどの質問の中でもそれにかかわった人物の中に前副町長が入っておったという話です。じゃあその原因か、詐欺にかかったのがわかったときに、副町長にいろいろその問題についてお聞きしましたか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

副町長とは当初から情報共有はしておりますし、そんな話があったときには電話では話はさせていただきました。

○議長（福岡邦彬君）

西岡義克議員。

○13番（西岡義克君）

おかしいやないですか。じゃあ前副町長は詐欺にかかってその後、何か町長に進言しましたか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えします。

特に進言ということはなかったです。

○議長（福岡邦彬君）

西岡義克議員。

○13番（西岡義克君）

あなたはそのあれでしょう。副町長に聞いたんでしょう、こういうことになったと。そのときにもう副町長はやめておったでしょう。その後、電話して聞きましたか。どういう対応でした。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えします。

要はこれは、その以前から、どういったことであるかというのは必要な事項については情報は共有をしてきたとここでございますので、それについてそれ以上特に話はなかった。そういったことがあったということをお伝え、電話で伝えたといったとここでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

いや町長、聞いたかどうかについて言ってるからね。共有とか違うんです。共有はそれまででしょう。それ以降聞きましたかという質問ですから答えてください。中井さんに聞きましたかと。

（発言する者あり）

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えします。

ですから以前より中井副町長とはこの件について、その以前からもずっと、仕事進めてるときからもずっと共有をしてきたと

ここでございまして、ですからこういった事実があったといったことについて、こんなだったということで話をしたというところでございます。ですから当然、中井副町長も大変驚かれていたといったところでございます。

○議長（福岡邦彬君）

西岡義克議員。

○13番（西岡義克君）

私、今までおかしいなと思ったんやけど、じゃあ中井副町長は施設組合でどういう立場で動いておったんですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えします。

これは非常に、ダイオキシンの処理というのは非常に重要な案件でもあり懸案事項でもございましたので、施設組合の補助といえますか、その応援に行ってもらったといったとここでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

西岡義克議員。

○13番（西岡義克君）

いやいや、応援という形というか、きっちと施設組合に籍を置いて動いたんですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

要はその書類上とか、そういったことで籍を置いてという形ではないですけども、重要な案件ですので、助けて、この業務について助け、その業務について進めることについて中井副町長も一緒にやってもらったといったとここでございます。

○議長（福岡邦彬君）

西岡義克議員。

○13番（西岡義克君）

いや、施設組合の職員として要請して動かしただけですか聞いてる。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

いえ。業務について援助を求めたといったところでございます。ですからその役職があったというわけではないですけども、あの役職としては副町長ですけども、施設組合の中では、そこで施設組合で役職をつけてという話ではございませんでして、業務の援助を求めたといったところでございます。

○議長（福岡邦彬君）

西岡義克議員。

○13番（西岡義克君）

違うがな。今回、職員を施設組合、あれしましたやろ、2人。そういう形できちっと籍を移してやったんですかっていうてんねん。職員で行かしたんか、向こうの職員にしたんか、どっちですっていうことです。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長、実は8月6日に契約に行っておられるでしょう。そういう立場も踏まえて答弁願います。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

ですから、先ほどと答弁一緒になりますけれども、要は施設組合の中で例えば理事とか課長とかそういったものについてもらうというような形でお願いしたわけではなくて、副町長としてこの施設組合の業務、これについて援助していただくということでしていただいたところでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

西岡義克議員。

○13番（西岡義克君）

だから施設組合の職員じゃないですやん。何でそんなことするんですか、あなた。だからあなた、豊能町の町長と施設組合の管理者とすみ分けができてないのよ。変に利用するから、中井副町長がおかしな立場になった。だから新聞では、私は豊能町長の命令を受けてやってますってこう言われた。あんたそんな命令して豊能町がやることですかいな。施設組合がやることでしょうか。責任とらなあかんですよ、あんた。何でそんなことしたんですか。答えてください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えします。

ですので、このダイオキシンの処理というのは非常にこれまでの懸案事項、両町にとっても大事な話でございましたので、施設組合だけで進めるには、より、副町長も入っていただいて進めるほうが必要だというふうに、私は判断いたしましたので、助力を求めたところでございます。

以上でございます。

（発言する者あり）

○議長（福岡邦彬君）

ちょっと、暫時休憩します。

（午後3時22分 休憩）

（午後3時23分 再開）

○議長（福岡邦彬君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

西岡義克議員。

○13番（西岡義克君）

いや、よく町長は前に、私が解決しようと思ってるのに、議員さんがいろいろ邪魔してみたいな言い方してるけども、どの議

員もこの問題の解決を本当一日も早く望んでるんですよ。あなた、非常に失礼な言い方してるけど、少しでも早く解決しよう思うとんですよ。

私も少しは役に立つかなと思って、22日やったかな。7月22日のマスコミの報道の中で、何でそないなったんか知らんけども、豊能町の議員が中井さんに紹介したみたいなことを副町長が答弁してるわけ。

(発言する者あり)

○13番(西岡義克君)

副管理者が。能勢町長が。殊さら何でその豊能の議員言うたんかは知りませんが。後で確認したら、要するに前副町長に電話したら、西岡議員が豊能町に連れてきたと。確かに連れていった。あなた覚えてますか、私が連れていったとき。どうです。

○議長(福岡邦彬君)

答弁を求めます。

田中町長。

○町長(田中龍一君)

お答えします。

西岡議員に紹介いただいたのは覚えております。

○議長(福岡邦彬君)

西岡義克議員。

○13番(西岡義克君)

紹介という言葉は間違いでっせ。あんた知ってましたやろ。紹介じゃないでしょう。それ以前に知りませんでしたか、井上さんを。答えてください。

○議長(福岡邦彬君)

答弁を求めます。

田中町長。

○町長(田中龍一君)

お答えします。

私の記憶の中では初めて会わせていただいたのかなと思っております。

以上でございます。

(発言する者あり)

○町長(田中龍一君)

私は覚えておりません。私の記憶の中では初めて会わせていただきましたと思っております。

○議長(福岡邦彬君)

西岡義克議員。

○13番(西岡義克君)

そうすると、中井副町長と言うことは全く違うわけ。西岡議員が連れてきはったから初めてみたいな顔したけど、顔を立てて、私は組合で何回でも会ってますと。

じゃあ聞きますけど、この井上さんが施設組合にいつごろから営業にいつてるか御存じですか。

○議長(福岡邦彬君)

答弁を求めます。

田中町長。

○町長(田中龍一君)

それについては、今回、質問の中でもありましたので施設組合に確認しましたら、平成23年ごろからというふうに聞いております。

以上でございます。

○議長(福岡邦彬君)

西岡義克議員。

○13番(西岡義克君)

だから、あなたが会ってないわけがない。みんな、全ての人が知ってるんだ、あの人のことは。

で、一つ聞きたいけど、1億円の仕事を渡すときに、相手の会社を調べんと渡しますか。調べましたか。どうです。

○議長(福岡邦彬君)

答弁を求めます。

田中町長。

○町長(田中龍一君)

いえ、特には調べておりません。

○議長(福岡邦彬君)

西岡義克議員。

○13番（西岡義克君）

あんたようそんな簡単に言うね、特に調べてないって。誰のお金や思ってますねん。血税でっせ。だから、ほかの議員も言うてるように、あなたの賠償責任、個人的に出てきますよ、そんなことを言うておったら。ちゃんと考えて物を言わんと、あなた終わってから、議会としてもそうですけども、個人的に賠償責任負いまっせ。さっき建設部長が言ったように。こういう行政間の問題は別として、個人的にはそういう発言しておったら賠償責任負いますよ。もう一回ちょっと言い直してください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。わかりましたか。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

私は、私としてはそれは確認はしておりません。

以上でございます。

（発言する者あり）

○議長（福岡邦彬君）

暫時休憩します。

（午後3時29分 休憩）

（午後3時29分 再開）

○議長（福岡邦彬君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

西岡義克議員。

○13番（西岡義克君）

普通、先ほども橋本議員が言うてますように、一般で考えたら考えられへんことですわ。ただ、その行政でも、行政ならなおさら、1円たりとも無駄な金を使わないと、きちっとするのが本当ですよ。だからこんな、行政が相手の企業調べるのはもう基本中の基本ですよ。それをなぜしなかったのか。ちょっと教えてください、何でしなかったのか。そんなもん、しませんで通りま

せんで。何が原因でしたんや。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

私としては特に、以前からも出入りがあったというふうな、先ほど話ありましたけども、私、御紹介いただきましたし、特に、別にそのときは疑ってはおりませんでしたけれども。

○議長（福岡邦彬君）

西岡義克議員。

○13番（西岡義克君）

あなた、紹介紹介言うてるけど、あのとき何の話やったか覚えてますか。教えてください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えします。

確か、実験の資料の提供といったことで御紹介あったと思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

西岡義克議員。

○13番（西岡義克君）

だから今回の三井製錬のことで紹介したんちゃいまっせ。そうでしょう。だから、新しく事業を三井製錬と結ぶときは、

（発言する者あり）

○13番（西岡義克君）

三池製錬と結ぶときは、相手の会社を調べんというような、そんなあほなことないでしょう。随契にしても何にしても。そんなもん論外でしょう。23年から来てる会社でしょう。それをなぜ調べないんですか。それはもう完全な落ち度ですよ。住民に対する背任行為ですよ。この75%出資して

いる豊能町に対しても背信行為ですよ、それ。そんなむちゃなことを平気で言うような、おかしいんじゃないですか。どないです。わかってないな、この人。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

どうお答えしたらいいんですかね。あの。

（発言する者あり）

○町長（田中龍一君）

本当に、御紹介も、僕、非常に信頼しておりますし、議員さん信頼しておりますし、御紹介いただいたということも。ただ、その、特にそこの、これまでも、初めて会うということもなかったですし、特には調べ。

（発言する者あり）

○議長（福岡邦彬君）

町長、何言うてるかわかっていますか。

（発言する者あり）

○議長（福岡邦彬君）

いやいや、初めてでもなかったというのは、以前会っておったんですか。答弁違うてるんですよ。

西岡義克議員。

○13番（西岡義克君）

部長にちょっとお伺いしますわ。そんなことあります。1億円の仕事渡すのに、相手の会社も調べんと渡しますか。

○議長（福岡邦彬君）

内田総務部長。

○総務部長（内田 敬君）

町の場合は、入札参加資格を得るためにいろいろ経営事項審査とか行いますので、そういう審査を行った上で契約をするというのが基本でございます。

○議長（福岡邦彬君）

西岡義克議員。

○13番（西岡義克君）

見てみなさいや。当たり前でしょう、そんなもん。何を考えてますのや、あんた。長いこと行政マンやってきてますやろ、大阪市でも。契約いうこともわかりませんか。契約する前に相手の会社調べませんか。どんな会社かわかれへんのにやね。これ、あれでっせ。まだ考えてるけど、おかしいんじゃないよ。常識ないよ。常識以前の問題やで、これ。人様の金を預かって、特に税金ですよ。皆さんの金、預かってるわけです。何使ってもええけど、きちっと使わなアカンやん。基本の基本やで、行政マンとしては。違います。今の内田部長の答弁でもそうですやん。だからここに問題があるんですよ。あんたの常識はよその非常識ですわ、ほかの人の。自分が正しい思ってるんですわ。正しくないよ、あんた。即刻やめな、これ大変なことになるよ。これ、どない言うたらええかな。わからんからどうしようもないね、これ。

ほかの質問しますわ。それともう一つ、隠蔽工作いう分では、施設組合の中の組織が全くなってない。意思統一が図られてない。皆ばらばらに言うてる。その原因は、多分豊能町と能勢町の選挙があったことで、あなた方2人とも逃げてる。時期をずらして問題解決しようとか、そういう兆しが見える。なぜかという、私がじゃあ、その、今、私が紹介したという話やったら、なぜ私呼びませんねん。ちょっと教えてくださいとか。知っておったら皆教えてあげる。私はあのとき、22日の質問で勘違いしておった。26年に会うたんを27年って言うてもうた。26年におたくに紹介したでしょう。覚えてますか。覚えてるはずですよ。覚えてなかつてもよろしい。私はちゃんと中井副町長に聞きましたから。26年の10月と11月に連れていってます。それでサンプルをくださいという話。ただ、

あの人は、このマスコミにいろいろ聞きましたら、23年度からサンプルをくださいということで施設組合に直接行ってます。前管理者にも合わせてくれという話もあったらしいですけども、水間さんという人が会わせなかったという話で、今回は町長に会わせてくれって、会わせましたんやない。サンプルの話ですわな。だからそのことであなたが、私が紹介したというのやったら、即刻私にちょっと来てくれと、何で言いまへんのや、わかったときに。逃げてますやんか。私は何かあったら思って、あ、あの人私知ってるわって言うた。それだけでいろいろわきは立ったけど、でも別に悪いことしてないから。でもあなた、逃げたらいかんよ。きちっと問題解決のためにやらなあかん。中井副町長も呼びね。私は終わってから、あの問題が起きてからも井上さんという人に電話したら出ましたよ。情報も聞きました。それ以後は電話、シャットアウトになってますけど。何とか問題解決しようと思って。前向きにやらなあかんですよ。問題は逃げたら追いかけてきませ。だから、そういう隠蔽工作をするから問題がこないなってるわけですわ。

それと、先ほどから皆さん質問してる中で、あなた行政マンにも信頼ない。前も言うたでしょう。はだかの王様になってるわけ。それもわかってない。だから協力体制とらなあかんでしょう。全くできてないよ。町長として動くんやったら、議会にもいろいろ協力体制やったらよろしいやん。それをやらんとやね。とにかく、やることなすこと成り行き任せ。結果出んでもええわ、やってますと。さっきも質問出てましたけどね。今後どうするのちちょっと聞きたいんやけど、まあ先ほどから聞いておったら、どうも自分の責任も感じてないし、賠償責任も感じてないみたいですけども、あなた

私は今までいろいろなことをやってきましたって言いましたけど、差し引きしてもそれは足らんぐらいのマイナスを豊能町に与えてますよ、あんた。それを、これからの後の人につけを回すいうことでっせ。それに対してどう思ってます。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

処理するということが大事だというふうな形で進めさせていただいた結果、こういう形になったというのは非常に残念で申しわけないというふうに思っております。ですので、後にも続くことになろうかと思えますけれども、私のこの任期の間にできるだけこれについてはできることはやってまいりたい。それが最後の責任だと思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

西岡義克議員。

○13番（西岡義克君）

そんなん責任のとり方ちやいませ。後の人どないしますんや。何億の借金抱えて。あなたのために、それ借金負うていきますんやで。我々議会も。一般の人も。これからずっと税金使うんですよ、あなたのおかげで。それに対して、これからやっていきます、そんな話ちやいませ。わかってない。

（発言する者あり）

○13番（西岡義克君）

常識はずれてます、はっきり言うたら。それがわかってないだけにどうしようもないけど。だから皆さんが言うように即刻やめるのが一番やけども、これなかなか、政治家っていうのはなかなか、一度そういう

権力を得たらなかなかその放しがたい。何が何でもやるって、能力がなかってもやる、しがみつくと、そういう傾向があるんですわ。ですから、これからトップの個人的な賠償責任をどうするかいうのを、終わってから考えてください。必ずありますよ。言うておきますわ。弁護士か何か知らんけど雇ってちゃんとせんと。これ、田中個人に対して多分賠償責任を求められると思います。住民さんからもそういう請求もくるんじゃないかなと思いますので、その辺は認識していただきたいと思います。

環境テクノロジーも、さっき言いましたように、早い時期から施設組合へ行ってるから、知らん人はおらんはずですわ。おらんかったら、あなたは、さっき言うたはだかの王様で相手にされなかったと、全く無視されておったということですよ。ほかの人は全てあの人のことを知ってるはずですよ。先ほども議員から質問ありましたように、大阪府で問題を起こしています。そんなことはちょっと調べたらわかることです。まして1億円の仕事を渡すのにね。多分その5億円の仕事が1億円になったいうんで、ほいほいいうて渡したんかどうかは別として、そのときに紹介した議員こそ問題があるわけですよ。だから私は3人の議員がおると聞いてます、本人から。1人は能勢の議員、2人は豊能の議員と言われてます。そんなことここで言うのは別ですけど。じゃああなたは知ってるんやったら、誰にいつに紹介されたって言いなさいや。誰が紹介したんですか、その時点で。そんなこともわからんと、あの22日に何でそんなことを言わすんですか、副管理者に。ほんで副管理者が言うたときに、何であなたが違ってますって否定しまへんねん。豊能の議員全員疑われてることになりませ、3人もおれば。あと2人おるということになりますかな。だ

からそういうことも、結局説明せんなんことを説明せんと言らんことばかり言うて、問題ばかり起こしてるんですわ。あなたが解決、行けば行くほど問題起こしてるわけですよ。それは事前の対応がないから。事後の対応だけやってるから。つけは住民さんに回しておたらええわと。そういう意識もないでしょう。事前の対応しましたか。そういう意識ありますか。教えてください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

（発言する者あり）

○議長（福岡邦彬君）

この際、暫時休憩いたします。

（午後3時44分 休憩）

（午後4時02分 再開）

○議長（福岡邦彬君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

答弁を求めます。

田中町長。

（発言する者あり）

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

先ほど御指摘あったのは、このような事態になったことについて事前の対応が不十分であったのではないかとといった御質疑だったと思います。それにつきましては、確かにこのような事態になりまして、もっと事前に何か対応がとれておればこういった事態にならなかったのかもしれないというのは、今となってはそう思いますけれども、当時といたしましては処理を最優先にし、これが最善であるというふうなことで進めてまいった、そんな中で情報提供等が非常におくれたことについてはおわび申し上げます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

西岡義克議員。

○13番（西岡義克君）

情報がおくれたんやのうて、隠し回ったということですよ。

今、話聞いてますと、ほとんど知らない。言うて悪いけど。だから、その施設組合の中でどんな議論をして、どういう対応をしたのか、もうほんま摩訶不思議ですよ。そのつけが結局住民さんに全部回ってると。今後もう、その莫大な費用が豊能町にかかってくるし、信頼の失墜はこの上ないと思います。行政も、今まで黙って見ていたけど、今後はもっとその性根を入れてやらんと、もう豊能町崩壊寸前です。そういう危機的な状況をやっぱり意識して、やっぱりちゃんとしてほしいと。もう言うてもわからんと思いますからやりませんわ。だから、これから成り行き任せでなくて、やっぱり一つずつ解決することでやってほしいと。個人的な賠償責任については、先ほど話あったようにきちっとやってもらわんと、本当に住民さんからの訴えも出てくるんじゃないかなと思っておりますから、その点は自己責任を認識していただいて、多分町長にこれからの豊能町のいわゆる損害予想額なんか聞いてもわからんでしょうし、個人のことでもわかってないと思いますんで、せめて自分の個人のことだけはきっちりとして自己責任を認識して対応していかなければ大変なことになると思いますので、それだけ言うておきます。

本来ならきちっとしたあれしてほしいんですけど、ただ、一般の方もちまたの声を聞くのは散髪屋さんが一番いいなど。この間、私、散髪屋さん行きました。ほなら、まあそれは議員さんむちゃくちゃ言われますわ。議員は知っていて当たり前ではないのかって言われました。いや、私は神戸からのあの新聞で初めて知りましたって、

信用しない。まあ信用しないですわな。議員は一体何をしておったんかと。長いことかかってこの結果かと。恥ずかしくてこの町に住めないって。どこへ行ってもこの話が出ると。もし私にお金があればよその町へ行くと。不動産価値が下がって、風評被害で売れないと。だからこの町は出ていけない人だけが残る町やと。こんな町に誰がしたって、責任をとってくれと、誰が責任とってくれるんやと、責任者出てこいと、そこまで出てるんですよ。これ、町長どない思います。あなたの采配一つでこんなこと言われますんやで、議員さんも。だから議員さんも、この辺も踏まえて、今後、やっぱりよっぽどの対応をしていかんと大変なことになるんやろうなと思います。

これは置きまして、次の東西交流の定住施策について聞きたいと思います。私もリレー便に乗りましたけども、これ、全く無駄やなと思いました。交通会議というのは町長の諮問機関と思うんですけども、どうですか、部長。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

内田総務部長。

○総務部長（内田 敬君）

地域公共交通会議の位置づけでございますけども、議員のおっしゃるとおり諮問機関であると、そういう位置づけであることは確かでございます。一方では、電車の会社もバスの会社もタクシーの会社もそれぞれ入っておられる、また、地域の代表も入っておられるというようなことから、利害調整機関ということも言えるかというふうに思います。

○議長（福岡邦彬君）

西岡義克議員。

○13番（西岡義克君）

だから、これはやっぱり町の意味も反映

する場であると思います。交通施策ということで、老人に優しい町、地域活性化ということ、第4次総合計画も踏まえて検討していくことやと思います。リレー便に関しては、委員長をされている方がそのリレー便はこれからやと。試験的にやって五、六年やないとその結果が出ないというようなことを言うてますけど、1億5,600万円を5年間も使っても、私はしゃあないと。私が調べた範囲では、1日、東西のために乗ってるのは3人ですわ、東へ行ってる人は。全く意味ない。それやったら東西便に変えて、福祉施策として東西の交流、地域の活性化を図ったほうがいいと思います。部長に言うたときに、交通会議でやっていきますということで、今後それを積極的に議論していただきたいと思うんですけども、どうですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

内田総務部長。

○総務部長（内田 敬君）

もうこれは何回も答弁差し上げてまいりましたので、もう御存じかというふうに思います。このリレー便というのはもう最終形ではなくて暫定的な形ということでやっております、本町の公共交通基本構想、これにおきましては、ときわ台駅のバリアフリー化と駅周辺の整備、また、箕面森町線のときわ台駅への延伸、これらは最終形というふうにしておりまして、それによりまして幹線のバス路線で東西移動もしていただけるし、通勤・通学にも使っていただけるというような最終形を目指しているものでございまして、今はこの基幹路線の確立、これを目指しているというところでございます。

議員は以前から、その東西バスについて福祉の観点でということも言うておられま

す。福祉の観点であろうがなかろうが、その交通体系を変えるということについては、先ほど申し上げております地域公共交通会議、ここに諮る必要がございますので、今後ともその地域公共交通会議を中心としまして交通体系を考えてまいりたいと、この基本姿勢は変わってございません。よろしくお願いいたします。

○議長（福岡邦彬君）

西岡義克議員。

○13番（西岡義克君）

いや、交通会議で諮ってもらうのも結構ですけども、今の状況では無駄の一言です。はっきり言って1億5,600万円、放てるような話です。今やることじゃないです。暫定的にやる前に東西のあの直行便を走らすほうを優先したほうがいいんだと私は思いますけども、これは交通会議の中でやっていただきたいと思いますし、今回、私、交通特別委員会の委員長を賜っておりますので、交通特別委員会の中でも検討してまいりたいと思っております。

きょうはもっと、要するにそのダイオキシンの関係でも、後を大変、引き受けるのが、もうつけを後に回すと大変なことになる。その責任の継承というのか、この辺は大変なことになると思うので、町長がどう感じているのか聞きたかったけどもそれもないということで、非常に残念であります。これまで質問してまいりましたけども、ダイオキシンの関係には行政面における対外信用ですか。財政面においても体力的にも非常に厳しいということで、双方において豊能町の危機的な状況にあるということは明々白々であります。ですから、部長言うように、今回の事件で、やっぱり政治家として覚悟があるのかと私は疑問に思いました。権力の効用を信じないものは政治家にも経営者にもなれない。トップにはなれな

いと。みずから権力を握って、これを自他のために役立てる。しかし、権力ぐらい人を墮落させる者はない。権力支配には名聞利養が伴い、道徳的な腐敗を生じやすいと言われております。ポイズン・オブ・パワー、権力の毒という成語もあるわけである。ですから、ひとたび権力を握ると、人間は驕慢、おごりという毒に冒されると言われております。しかも一旦この毒に冒されると尋常なことでは直らない。死んでも権力を離すまいと執着する。つまり、塩水を飲めば飲むほど口が渴くように、権力を得れば得るほど安らぎが去り、不安と焦燥が後から後から追いかけてくる。これは伊藤肇という評論家が言っておりますけども。だから、これから先のつけの問題でありますけども、町長選があります。今回の、だから選挙は危機感を持って、政治家として覚悟を持って立候補している人を選びたいものであります。町長については、やっぱり行政は継続でありますから、つけを回さないように。継続であります。ということで、町の将来が見えない、今は危機的な状況にあります。トップは町の将来、住民のために真の権力行使をする覚悟があるのか。町の将来が見えるまでトップの歳費を50%ぐらいカットして、職員の給料を5%ぐらいカットするぐらいの覚悟があるのだろうか。議員についてもこれからは大変です。議会と行政は車の両輪ということをよく言われますけども、行政とともに町民の福祉向上のためにまっしぐらに走れるのか。議員の歳費の30%カットぐらいしなければ間に合わんのちゃうかと。トップが方向を間違ったときにチェック機関として最高の権限行使である、6月の議会ではできなかったけども、不信任案を突きつける覚悟はあるのかな、住民さんも真の政治家を選ぶ勇氣と意識と覚悟があるのかな、いろい

ろ考えて、今回の選挙も見たいと思うんですけども、今回の一般質問で、やっぱり行政、それと議会、住民の協働、町長の言う協働がなければ、町を出ることができない人ばかりが残る最悪の町になるのではないかと自覚いたしました。今後、各人が同じ方向で、町の再建に向け邁進することを期待いたしまして、一般質問を終わりたいと思います。町長も頑張ってください。終わります。

○議長（福岡邦彬君）

以上で、緑豊クラブの一般質問を終わります。

次に、豊能第一クラブの一般質問を行います。

持ち時間は、質問及び答弁を合わせて50分とします。

川上勲議員を指名いたします。

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

御指名をいただきましたので、一般質問をさせていただきます。

午前中からずっとダイオキシンの問題ばかりでございます。私も通告は少子化対策、それから農業対策、観光業務について、最後にダイオキシンの処理についてという通告をしておりますけれども、この4番目のダイオキシンの処理について、今後の方向性についてどのように考えているのかということにつきまして、まず質問をさせていただきます。

今回起こりました、この一連の件ですね。世間一般、また我々は不思議なことが起こったなというような感じでございますが、私はこれは不思議でも何でもない、初めから結果がこのようになるであろうというように思っておりました。町長は初めからこの結果についてどのように考えておられたのか、まずお伺いしたいと思います。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

このような結果になるうとは思ってはお  
りませんでした。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

このような結果になるとは思ってません  
でしたというぐあいにも、答弁されたとい  
うことですね。このような結果になるよう  
に思ってなかったということは、もう既に  
トップの器でない、リーダーとして町長に  
とどまる資格はないというふうに思います。

例えば、例を挙げて言いますと、先ほど  
から質問あった、取り上げて言いまんねん  
で、取り上げて。大牟田市の三池製錬で地  
元の関係団体が反対したというふうに初め  
は言っておられますけども、その地元とい  
う言葉を取り除いて関係団体の反対あった  
と。これは初めから反対するもんがおって  
こそ、初めて今の状態がなり立つわけです  
わ。その反対の団体の団体名は、あなたは  
御存じだと思うけど。御存じやったら言  
ってください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

当該会社からは関係団体というふうな形  
で言っております、聞いておりますし、そ  
れについては非常に、関係団体といったこ  
とで私は認識しているところでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

知ってるか知らないか。

（発言する者あり）

○議長（福岡邦彬君）

知ってるか知らないかお答えください。

町長、知ってるか知らないかで答えてくだ  
さい。質問はそうですので。田中町長。知  
ってるか知らないかで答えてください。

（発言する者あり）

○議長（福岡邦彬君）

これまで言われてきたことで結構ですか  
ら答えてください。

（発言する者あり）

○議長（福岡邦彬君）

田中町長。

○町長（田中龍一君）

非常にこれは、企業からもデリケートな  
問題というふうに聞いておりますので、私  
は知っておりますが、この場での発言は控  
えさせていただきます。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

今、まさしく町長がおっしゃったように、  
答えられない点、この問題の一連の起こっ  
たときから今日までたくさんあると思いま  
すわ。だから、新聞報道やマスコミの記者  
が言ってる、あるいは我々も言っているよ  
うに、仮置き地を決まったら即刻やめると  
いうふうに記者の前でもおっしゃってんか  
ら、あと数日間、放り込みが終わったらや  
めてもうたらええわけですわ。それがあな  
たの責任のとり方。どない思われます。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

要は川上議員から御提案があったことに  
つきましては、私、そういうふうに川上議  
員と約束はさせていただきましたので、そ  
れはそういうふうにしようと思っております

したけれども、今は、今回やっぱり最後の最後までできる範囲のことをやるというのが、私は責任ではないのかということで、今、思っておる次第でございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

勘違いされてもうたら困るわけですね。私と田中龍一さんとが2人で話し合いをやっての話ちゃいませ。豊能町の一議員として質問して、あなたが約束したことや。ということは豊能町の議会に約束したことになりまんのやで。その認識は、あなたの認識全く違う。記者にもそういうふうにおっしゃっている。現実、今でも多分残っておるはずやけど、産経の何かコンテンツか何やいうところに、ずっと一連の載っておるところでね。仮置き場所が決まって、そこへ持ってきたらもう町長の職をやめますと言うてはりましたやろ。書いてまんがな。ほんで、あなたが任期まで努力します言うたって、あなたの今までのことをやってきたこと、あなたがうろうろすることによって余計あかんようになりまんねん。それがわかりまへんかな。あなたがおらんことになったほうが、ちょっとでも前へ進みまんねん。それ、社会一般常識ですわ。あの高山の件で、高山で責任持ってやったら、それはできひんかった。結果としてそれはできひんかった、結果。それは余野がやってくれた。例えば余野がやってくれた、その余野に対してあなたはどのように行動されましたか。ちょっと言うてください。3日か4日かの間に。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

どのような行動。当然、職員等を通じていろいろ話はしていったところでございます。そうですね。ですから、いろいろ、職員通じて地元の人との話をしながら、今回、総会も開いていただき、苦渋の決断をしていただいたところでございます。

以上でございます。

（発言する者あり）

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

結局、職員通じて聞かされただけでんがな。初め余野は24日に総会やる言うてましたんや。ほれで我々、我々で副議長が大府まで行って、できるだけ早いことデータ出してくれということで交渉された結果、最短でも24日しかできひんということでしたんや。ほんで25日は高山で説明会をする計画にしましたんや。ほんで余野のある人と連絡をとり合うて、それで24日やったらデータが出てきへんから、もし余野でされるんやったら25日にやったらあのデータが出てきて説明してくれるからね。高山のほうではそれ以後に、もし余野でならなかったら以後にしますから25日にしたらどうでっかとアドバイスしたんですわ。んで25日に変わったんですわ。あなたはそんなこと全然知りませんやろ。

ほんでもう一つ言うたら、25日の晩に木代へ私、行きました。あるところに常会に。門前払いですわ。中に、顔を見たらほとんど知ってる人ばかりや。あなた個人で来られたんでっか、それとも議員として来られたんでっかいうて聞かれたから、議員として来ましたと言うたら門前払いです。個人として来た言うたら中へ入れてくれますわ。私ですら知ってる人ばかりおるとこへ行っても門前払い、議員として行ったら門前払いくらいのに、あなたが責任者、最

高責任者が今後そんなところで話できまっか。あるいは場所変わっても話できまっか。それこそ塩かけられまっせ、ほんまに。だから一日でも早くあなたはやめたほうが、施設組合のため、ひいては豊能町のためですわ。

それからもう1件、今、現にそこでやってまっけど、今どないなってまんねん。ちょっと具体的にお答えください。その双葉保育所の跡、今どないなってまんの。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

内田総務部長。

○総務部長（内田 敬君）

臨時総会の中で、組合は園庭に置くということを提案しましたが、住民の方々からなるべく建屋の中というような御意見が出ましたものですから、建屋の中に入れますということをお約束しました。で、建屋の中に入れるがために、旧園舎の扉を、今、外しまして、外側の扉も中側の扉も外しまして、フォークリフトが入られるような状況にしてございます。きょうは雨のために搬入ができないということで、トラックに積んだまま、5台分ですが、また豊能町内に1晩置いてまたあした作業を開始するという聞いております。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

結局きょうは中止ですわな。あした雨やんだらできまんのか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

内田総務部長。

○総務部長（内田 敬君）

雨の中では作業ができないという判断を、組合も大阪府も神戸市もそれぞれなさったというふうに聞いておまして、雨がやん

だらできるという判断をされたと聞いております。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

原因は雨だけと違いますわな。下がぬかるんで思うように車が入らないということも一つの原因やというて聞いてまんねんな。ほんで、きょうできなかつたらあと2日間ですな。2日間運び込もうと思ったら、トラックの台数ふやしたらいけまんねん。ところが台数ふやしてここ運び込める状況になりまっか。ほなら日が延びる。9月1日になる。約束は8月31日や。ほな1日延びて、神戸市許してくれまんのんか。あんだけきついことを言うて。その辺どないでんの。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

今回その非常に風雨強いということですので、そんな中でやった場合にマイナスになるということもあるんで、その辺についてはこういった状況の中では一定配慮はいただけるというふうには聞いております。

以上でございます。

（発言する者あり）

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

マイクが入ってなかった。

○14番（川上 勲君）

いやいや、絶対間違いおまへんか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

○14番（川上 勲君）

1日になってもかまへんということですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

私が聞いたのは、これ台風とか来ておりますから、その中ですることによって危険なことを伴うのであれば、それよりは、そういったことについては配慮はするというふうに聞いております。ですから、ちょっと済みません、きちっとそこまでは聞いておりませんが、ただ、こういう危険な中で作業をするということを進めるよりは、やはり安全ということが最優先にしたほうが良いというふうには私は聞いておる次第でございます。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

だからね、そういうことを事前に、昼休みでも時間あるんで、町長みずから、今は本会議中だから行かれへんけども、1日2日延びるかもわからへんけどもよろしくお願ひしますということと言わなあかんのですわ。思いますではあきまへんねん。そのええ例が、25日の晩に余野決まった。26日の朝に、この双葉保育所は川尻も木代もひつついてまんねん。普通やったら早速、町長の指示で行くか、それとも町長みずから木代とあの余野の自治会長に、こういう結果になってよろしくお願ひしますと言いにいかなあかんのですわ。それされましたか。

○議長（福岡邦彬君）

川尻。

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

それについては、局長一定意識はしておったんですけれども、なかなか、いろいろ

ばたばたしておりましたできておりませんでした。で、おくれればせながらということで説明にはおくれた形で行かせていただいた、施設組合から行かせていただいたところでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

いやいや、局長がばたばたしておったら、あなたがみずから行かなあかんのちゃいまんの。現に明る日、木代の自治会長に、局長が電話でこうなりました言うて、1日遅いわ言われて、その後あなた一緒に行ったん違いまんの。そういうことが全部つながってまんねん。このきょうのことも一緒ですわ。そういうことをぱっと判じて指示出すとか、みずから動くとか、それがトップの役割や。リーダーや。全く欠落しておる。だから任期いっぱいできるだけ努力する言うたってできひんねん。返ってマイナスになりまんねん。即刻やめたほうがよろしまんねん。やめるところで宣言してください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

先ほど来から話ししておるとおりでございます、私は、これ仕事進めるに当たって、本当にこの職員のほうから、そういった形で進めづらという話であれば、それはもう当然ながらそれはもう真摯に受けとめたいと思っておりますけれども、私は残って続けるということのほうが、より進むのではないかというふうに思っておりますので、今はそういうふうに最後まで仕事をするということが最後の責任のとり方だというふうに思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

町長がおったらね、田中龍一さんという町長がおったら、この仕事は進めづらいという職員が言えまっか。それを感じて判じるのがトップですわ。トップの判断、戦国時代でトップの判断が誤ったら、その家はもうお取りつぶしで、全く一族郎党影も形もおまへんようになるわけですわ。あなたがおることによって豊能町全部が消滅してしまいまっせ。そういう可能性おまんねんで。だから即刻、一般社会の常識では、即刻あなたがやめた、後のもんが責任とってやるわけですわ。あなたが責任とってやる問題ちゃいまんねん。それがわかりませんか。ちょっと答えてください。わかっているかわかってないかだけ。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

例えば民間の企業でしたら、そのすぐまた社長とかまた選んでということになるろうかと思えますけれども、これタイムラグもございますし、その間、トップがいないというよりは、やはりいろいろな交渉も、どこか説明会なんかについても、やはりトップがいたほうが私は進めやすいというふうに思っている次第でございます。ですから今はやめるつもりはございません。ただ、いやそうじゃないと、実務的にそうじゃないという話であれば、それは真摯に受けとめさせていただきたいと思えます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

いや、実務的にそうじゃありまへんねや。わかりまへんかな。町長いう職がなかったも、副町長がおったら職務代理者になりまんねん。今、現実、副町長いてまへんので、副町長おれへんかったら総務部長が職務代理者になりまんねん。何もおらんかったも何の影響もないし。おることによって影響がごつつふえまんねや。そのことをあなただけがわかってないねん。議会の皆さんも即刻やめたほうがええって皆思ってたせ。一遍聞いてみなはれ。

（発言する者あり）

○14番（川上 勲君）

あなたが残って何のプラスにもならん。マイナスになりこそすれ。

んでもう一つ。とにかくもう、私はここで、そこの仮置き場のところへ運び込んで終わったらやめていただきたい。やめなさい。もっと言うたら、今、総務部長筆頭や。無記名で、やめるという賛成の人、反対の人いうて書きなはれいうたら、ほとんどが、やめていただくのが全部やと思いますわ。だからこうなる前に、こういう問題が起こったときに、職員全部集めて、全部の職員集めて、こういうことを私は起こしましたと、職員の皆さんごめんなさいと、これをできるだけ解決しますんで、ええ方向にもっていきますんで、協力してくれということ言われましたか。言うてはりまへんやんな。そうすることがあなたの役目ですわ。トップの値打ち全然おまへんや。私、そやから、あなたが就任した当時、リーダーでっか、トップの器でっか言いましたやろ。あなたは、私は豊能町のリーダーとしてって大見え切られましたやんかやな。全く違いますわ。即刻やめてくれと言いたい。言う。この31日に終わるかわからんけど、まあ1日、2日に終わりますわな。そのときにやめていただきたい。

それともう1点。この前施設組合で分担金のあれしはりましたわな。提案しはりましたやん。その前に、3月31日に、ダイオキシン問題は全て終了しましたと言われましたな。ちょっと、言うた言わんかちょっと答えてください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

問題は終結したという表現ではなくて、一旦、処理についてはコンクリート固化、あとは実証実験という意味では、一旦は終了はしたという表現はさせてもらいました。ただ、その後。

（発言する者あり）

○町長（田中龍一君）

ただ、その後。

（発言する者あり）

○議長（福岡邦彬君）

いや、答弁聞いてからにしてください。

（発言する者あり）

○議長（福岡邦彬君）

暫時休憩します。

（午後4時40分 休憩）

（午後4時42分 再開）

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えします。

あの時点では、私は処理は終わったと思っておりましたので、処理が終わったというメールは皆さんに打ちました。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

いやいや、思っておりましたやなしに、

処理したということであらう、そのときに。もう一遍確認したい。処理したということであらう。ちょっともう一遍答弁してください。思うちゃうねん。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

その時点では処理したということ判断しておりました。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

ということは、ダイオキシンのこの問題は全て解決して終わったと。で、能勢と豊能の負担割合の分担金は75対25ですわ。そのときまでは。で、終わりましたんや。今回の件は新たに浮上してきた問題ですわ。引き続いてちやいまんねん。新たに浮上した問題やから、豊能町のためにも、新たな問題に対して負担割合を話し合うのが当然ちやいまんのんか。それが何で75対25になりまんの。答えてください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

一旦は終わったと思っておりましたけれども。

（発言する者あり）

○町長（田中龍一君）

ただ、その後、こういった問題が発生し、これダイオキシンに関することについては、これまでの取り決めではその割合があるので、そういった割合というふうに理解しております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

ダイオキシンの問題やから、これ75対25でっか。違いますやんな。人口割とごみの量で75対25でっせ。それをダイオキシンの問題に引き継いできてるだけでっせ。ほんだらあの灰も全部、75対25の割合で灰ついてまんのんか。能勢町のもん燃やしたときの灰ついて、豊能町の燃やした灰つかん場合もあるかもわかりまへんがな。そうでっしゃろ。そういうことになるから、あの分担金を出すときには今度は町長としての交渉を能勢の町長とせなあきまへんのや。引き続いてまへんのやで。3月31日で一旦切れてまんねんで。それすら豊能町に損害を与えるようなことになってまんのや。これ、1,000万円や2,000万円の金額やったら知れておるわ、75対25。億になってきたらごっつい金額違いまんねんで。50%違うてきまんねんで。豊能町が負担するの。半分、豊能町はもたなあきまへんねんで、普通に考えて。それにプラス25ですわ。そんなこと考えてみたことおまっか。ないからすぐやめなさい、解決する前に。あんた楽でっせ。ほな後の者が全部やりまんのや。やりやすい。どんなことを考えても、あなたがおることによってマイナス、マイナス、マイナスになっていきまんねん。この話も、起こった、ダイオキシンのこの今回の分でも、初めからしまいまでもう筋書きどおりになってまんがな。環境テクノロジーの井上さんが誰かと一緒に話し合うて、こういう結末にしよと。そうせんことにはあの人手取り浮いてこんわけや。1,000万円か2,000万円使ったって。そこだけでも、三池製錬で処理してもうたらあの人取り分ないようになってしまいまっしゃろ。んなことしまっかいな、あのブローカーが。自分の取り

分ちゃんと確保してますわ。こっちで予算何ぼおまんねん、約1億円おまんねん、ほな9,650万円ぐらいやったら出せまんなって、出せます、ほな出してください、で、出せますって。それ詐欺ちやいまっせ。約束で出してんねんから。それぐらいブローカーは全部承知の上ですわ。せやから告訴できまへんねや。弁護士も一服しまんねや。警察も動きまへんのや。当たり前の話や。こっちは承知で金出してんねやから。1万の土地でも、1万の売ったら土地でも、この土地10万で買いませんかと言うたら買いまっせって。1万でブローカー買って、9万上げて10万もらいまんがな。これはブローカーの、これは商売のやり方や。当たり前の話や。そんなことすらもわかってない。それは即刻あなたやめな、やめたほうがよろしまんねん。もうやめなさい、もう。後のことは後の者が全部する。もっと例挙げたら、7月の14日に箕面の市長選に応援に行つてまんがな。自衛隊協力会の総会に行つてまんがな。大事なときに。

（発言する者あり）

○14番（川上 勲君）

8月の14日や。ごめんなさいね。そうでっしゃろ。そんなひまがあつたら情報を得にあちこち動き回つて情報を得ることも大事やねん。自分がそれせんかつたら情報を集める人を配置して情報を集めなあかんわけや。今、余野はどういうことで動いておるか、高山はどういうことで動いておるか、あるいは木代はどういうことで動いておるか。情報を得なあきまへんのや。それがトップの役目ですわ。今、NHKで真田丸やつてまんがな。あれも忍者使うて情報を全部駆けずり回つて走り回つてやつてまっしゃろ。だからああいう弱小の大名でも残つていきまんねん。そういうことをできひん、あなたは。だから即刻やめなさい、

やめたほうが豊能町のため、施設組合のためでっせ言うてまんねん。私の話、理解できませんか。そんで今あなた知ってることでも答えられないやつがようけおまっしゃろ。もうやめたら答えんでもよろしいおまんねや。とりあえずは。百条は知りまへんで、俺。だからちょっと、もうこの一連の仮置きのがれが終わった段階でここでやめますとあなたは楽になりますさかい、言うておくなはれ。頼みますわ。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

先ほどと同じ答えです。

以上でございます。

（発言する者あり）

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

負けてまうわ。何ぼ言うたってわかりまへんかな。さっきから例挙げて言うてもわかりまへんか。

ほんなら、追及しまっせ。関係団体の名前ここで言いなはれ。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

先ほどと同じ答えでございます。

○議長（福岡邦彬君）

暫時休憩します。

（午後4時50分 休憩）

（午後4時51分 再開）

○議長（福岡邦彬君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

これは非常にデリケートな問題でもございまして、この答えについては、発言については控えさせていただきます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

デリケートな問題であろうがなかろうが、ここは豊能町の本会議や。知ってることなら全部答えてもらわなあきまへんのや。それが豊能町の町長としての役目。デリケートやから何で答えまへんねんな。それを答えてこそこの一連の件が解決する可能性が十分おまんねや。何を頭かいてまんねんな。そうでっしゃろ。

（発言する者あり）

○14番（川上 勲君）

何で答えられませんの。議員は誰も知れへん。施設組合のは知ってまんのやろ。同じ、知ってることを共有せんと問題解決できまへんのや。それがありましたやんな。神戸市から、議会も同席して議会も責任持たされましたやんな。ということは同じことを知ってなあかんわけや、議員も。知らんで済む話ちゃいまっせ。名前答えなさい。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

これは非常に企業にとってもデリケートな問題というふうに聞いておりますし、これについては、申しわけございませんけれども、今については発言については控えさせていただきます。

（発言する者あり）

○議長（福岡邦彬君）

暫時休憩いたします。

（午後4時53分 休憩）

(午後5時15分 再開)

○議長 (福岡邦彬君)

休憩前に引き続き会議を開きます。

答弁を求めます。

田中町長。

○町長 (田中龍一君)

お答えいたします。

要は関係団体の氏名でございますけれども、これについては、申しわけございませんけれども発言については差し控えさせていただきます。

以上でございます。

(発言する者あり)

○町長 (田中龍一君)

進退については、今、進退については、当然ながら先ほどと同じ回答でございます、最後まで責任を持って進めていきたいというふうに思っております。

以上でございます。

(発言する者あり)

○町長 (田中龍一君)

責任を持って進めてまいりたいと思っております。

以上でございます。

○議長 (福岡邦彬君)

川上勲議員。

○14番 (川上 勲君)

町長、企業なら重役の反対ややめざるを得ん場合も出てくるわけですわ、企業なら。町長も政治家ですわ。我々も政治家。政治家の進退を決めるのはみずから決めまんねん。町の部長級を集めてやっても、誰もあんたやめなはれとは言えまんわ。みずから決めるのが政治家の責任ですわ、それも。それを続けはるのやったら、もうしゃあない。私の負けや。

1点だけ、今後のために言うておきますわ。今、東田商店に積んで置いてまんわ。東田商店は産業廃棄物の許可は持っておる

けども、特定特別一般廃棄物とか特別産業廃棄物の許可は持ってまんねん。あれ道路走ったら違反ちやいまんのか。ちょっと答えてください。

○議長 (福岡邦彬君)

答弁を求めます。

田中町長。

○町長 (田中龍一君)

お答えいたします。

特管というのはもう既にとれておりますので、そういった意味では、特管ではございません。ですから資格については問題ないというふうに思っております。

以上でございます。

○議長 (福岡邦彬君)

川上勲議員。

○14番 (川上 勲君)

いやいや、一般廃棄物の運搬もでっせ。産業廃棄物だけですやん、あの東田商店持ってるのは。ほだら産業廃棄物の許可だけで運搬できるのやったら、わざわざここから三池製錬持っていくとき、三池製錬からこち持って行ってとか関係ないけども、今度の場合、1台15万円もかけて持ってきまんのやろ。向こうへ、大牟田へ持っていくときは1台45万円ですわ。3台で。産業廃棄物だけの許可だけやったら、もっともっと安ういけまっせ。ちやいまっか。町が指定すんねんから、施設組合が指定すんねんから。今度神戸市から持ってくる費用は1台当たり何ぼで、どれぐらいかかってまんの。

○議長 (福岡邦彬君)

答弁を求めます。

田中町長。

○町長 (田中龍一君)

お答えいたします。

1台当たり15万円です。

○議長 (福岡邦彬君)

暫時休憩します。

(午後5時20分 休憩)

(午後5時21分 再開)

○議長(福岡邦彬君)

休憩前に引き続き会議を開きます。

答弁を求めます。

暫時休憩します。

(午後5時22分 休憩)

(午後5時28分 再開)

○議長(福岡邦彬君)

休憩前に引き続き会議を開きます。

川上勲議員。

○14番(川上 勲君)

東田商店の産業廃棄物だけで運搬できるのは問題ないということは、1台15万円も払うて運搬せんでもええわけですわ。一般の産業廃棄物の許可を持っている業者であれば5万円か6万円で十分いけまんのや。これも大事な住民の税金を使うてやってまんねん。ましてやあの光風台の豊能町の玄関口のあの場所や、1,500万円全部とは言わんけど、全く無駄な金なんです、あの使うた金は。おまけにまだ1台15万円もとめ置いて、5日間、1日81万円、2万円の金をね、無駄な金が必要ってまんねん。これもあなたの責任ですわ。しかし、この件について責任を全うするというぐあいに断言しておられる。反対団体の名前も言えない。そんでよろしいがな。ならばもう一回、9月25日、選挙に立候補して、最後まで責任、どんだけ税金使うかわからんけど、これを処理して完了するのがあなたの責任やったら立候補しはったらよろしまんがな。とめない。もうやめいうのも言わない。あなたの責任で、この新たに起こったダイオキシン問題、新たに起こった問題でっせ。もう過去のもんは全部済んだから25対75でよろしいけど、新たに起こった問題は、豊能町と能勢町の割合も含めてあ

なたの責任で全て処理しなさい。そういうことを言って私の質問を終わります。

○議長(福岡邦彬君)

以上で、豊能第一クラブの一般質問を終わります。

以上をもって本日の日程は全部終了いたしました。

本日はこれをもって散会いたします。

次回はあす、8月30日午前9時30分より会議を開きます。

どうも長い間お疲れさまでした。

散会 午後5時33分

本日の会議に付された事件は次のとおりである。

一般質問

以上、会議の次第を記し、これを証するためここに署名する。

平成 年 月 日署名

豊能町議会 議 長

副議長

署名議員 1 2 番

同 1 3 番